

au

ASUS MeMO Pad™ 8

AST21

取扱説明書 詳細版



ごあいさつ

このたびは、ASUS MeMO Pad™ 8 AST21(以下、「AST21」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前に本製品に付属する『設定ガイド』『取扱説明書』、またはauホームページより『取扱説明書 詳細版』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。本製品に付属する『設定ガイド』『取扱説明書』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■『設定ガイド』／『取扱説明書』(付属品)

主な機能の主な操作のみ説明しています。

さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』やauホームページより『取扱説明書 詳細版』(本書)をご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

- ・本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■『取扱説明書アプリケーション』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』を利用できます。

1 ホーム画面で[?]→[取扱説明書]

- ・初めてご利用になる場合は、画面の指示に従って最新の『取扱説明書アプリケーション』をダウンロードしてください。

■For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website.

『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています。

Download URL:

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

安全上のご注意

- 本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」(▶P.5)をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客様サポートで症状をご確認ください。
<http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair>

本製品をご利用いただくにあたって

- 通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。
- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE／CDMA／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えています。)
- 本製品は国際ローミングサービス対応の端末ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のために提供いただく場合がございます。
- 「本製品の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている本製品のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないよう注意ください。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『設定ガイド』『取扱説明書』または『取扱説明書 詳細版』(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 本製品はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の本製品の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本製品に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。

マナーを守ろう

こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内の電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

使う場所に気をつけて！

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、通知音などで周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての操作は控えましょう。
- カメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■周りの人への配慮も大切！

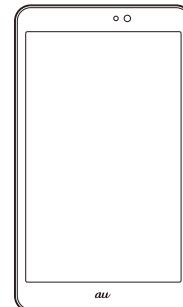
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

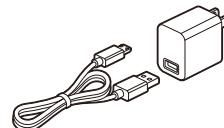
■本体

- AST21



■付属品

- USB ACアダプタセット



- SIMイジェクトピン(試供品)



- 取扱説明書
- 設定ガイド
- 保証書(タブレット 本体／USB ACアダプタセット)

以下のものは同梱されていません。

- microSDカード
- イヤホン

memo

◎USB ACアダプタセット(付属品)は本製品専用となります。

◎本文中に使用しているイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

目次

ごあいさつ	ii
操作説明について	ii
安全上のご注意	1
本製品をご利用いただくにあたって	1
マナーを守ろう	1
同梱品一覧	1
目次	2
安全上のご注意	5
本書の表記方法について	6
免責事項について	6
安全上のご注意（必ずお守りください）	6
取り扱い上のお願い	9
Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について	11
パケット通信料についてのご注意	12
アプリについて	12
ご利用の準備	13
各部の名称と機能	14
au Micro IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す	14
microSDカードを取り付ける／取り外す	15
充電する	16
電源を入れる／切る	17
初期設定を行う	17
ディスプレイの表示が消えたり、ロック画面が表示されたら	18
省電力の設定を行う	18
基本操作	19
基本操作	20
タッチパネルの使いかた	20
システムバーを利用する	20
縦／横画面表示を切り替える	20
ホーム画面を利用する	20
ホーム画面をカスタマイズする	21
ホーム画面やロック画面の壁紙を変更する	21
ロック画面ウェイプについて	21
本製品の状態を知る	22
すべてのアプリ画面を利用する	23
メニューを表示する	24
アプリやWebページの情報を検索する	24
最近使用したアプリを起動／終了する	25
デュアル画面を使用する	25
スクリーンショットを撮る	26
通信機能をオフにする（機内モード）	26
マナーモードを設定する	26
文字入力	27
キーボードの入力方法を切り替える	27
FSKARENで文字を入力する	27
Googleキーボードで文字を入力する	28
メール	29
メールを送受信する	30
メールについて	30
Eメールを利用する	30
Eメールの表示モードを切り替える	30
Eメールを送信する	33
Eメールを受信する	35
新着メールを問い合わせて受信する	36
Eメールを検索する	36
Eメールを会話モードで確認する	36
Eメールをフォルダモードで確認する	37
Eメールを設定する	40
Eメールをバックアップ／復元する	43
迷惑メールフィルターを設定する	44
SMSを利用する	45
SMSを送信する	45
SMSを受信する	46
SMSを検索する	46
SMSを削除する	46
SMSを設定する	47
SMS安心ブロック機能を設定する	47
PCメールを利用する	47
PCメールのアカウントを設定する	47
PCメールを送る	48
PCメールを受け取る	48
PCメールに返信／転送する	48
PCメールを削除する	48
PCメールアプリ全般の設定を行う	48
ファイル管理	79
ストレージについて	80
メモリの使用量を確認する	80
本製品をパソコンと接続して操作する	80
USBホスト機能を利用する	80
デジタルメディアサーバーを設定する	81
PlayToで外部機器に表示する	81

Gmailを利用する	49
受信トレイを表示する	49
Gmailを更新する（新着メールを問い合わせる）	49
Gmailを確認する	49
Gmailを送る	49
Gmailを受信する	49
Gmailに返信／転送する	49
スレッドを操作する	49
メール受信時の動作を設定する	50

インターネット 51

インターネットに接続する	52
パケット通信を利用する	52
ブラウザを利用する	52
Webページを表示する	52
ブラウザでの基本操作	52
新しいタブを開く	52
ブックマーク／履歴を利用する	52
Webページをリーダーファイルとして保存する	53
ホームページを設定する	53
ブラウザを設定する	53
プライバシーとセキュリティを設定する	53

ツール・アプリケーション 55

アブリーキ	56
連絡帳を利用する	57
連絡先を登録する	57
連絡先を編集する	57
グループを設定する	57
連絡先の内容を確認する	58
連絡先をインポート／エクスポートする	58
Friends Noteを利用する	58
Facebookを利用する	58
ファイルマネージャーを利用する	59
カメラを利用する	59
カメラをご利用になる前に	59
カメラを起動する	60
静止画を撮影する	60
動画を撮影する	60
カメラを切り替える	60
撮影モードを変更する	61
撮影した静止画をParty Linkで共有する	62
カメラの設定をする	62
静止画や動画を楽しむ	64
静止画や動画を再生する	64
静止画を選択してマイクロフィルム／コレージュ／Storyを作成する	64
静止画を壁紙や連絡先の顔写真に設定する	64
静止画や動画を共有する	64
音楽を楽しむ	65
音楽アプリを利用する	65
LISMOを利用する	65
YouTubeを利用する	65
AudioWizardを利用する	65
Splendidを利用する	65
Share Linkを利用する	66
Remote Linkを利用する	66
PC Linkを利用する	67
NFCを利用する	68
Androidアプリを利用する	69
Google Playを利用する	69
auスマートパスを利用する	70
ハングアウトを利用する	70
カレンダーで予定を管理する	70
What's Nextを利用する	71
やることリストを利用する	71
スクリーンショットシェアを利用する	72
ドライブを利用する	73
Googleマップを利用する	73
音声レコーダーを利用する	74
電卓を使う	74
auお客さまサポートを利用する	74
安心セキュリティパックを利用する	74
auスマートサポートを利用する	75
スマートフォン自動診断を利用する	75
au災害対策アプリを利用する	76
災害用伝言板を利用する	76
緊急速報メールを利用する	76
災害用音声お届けサービスを利用する	77
災害情報／義援金サイトを利用する	77
安心アクセス for Android™を利用する	77

ファイル管理 79

ストレージについて	80
メモリの使用量を確認する	80
本製品をパソコンと接続して操作する	80
USBホスト機能を利用する	80
デジタルメディアサーバーを設定する	81
PlayToで外部機器に表示する	81

データ通信	83
無線LAN (Wi-Fi®) 機能を利用する	84
無線LAN (Wi-Fi®) 機能をオンにする	84
Wi-Fi® ネットワークに接続する	84
Wi-Fi® ネットワークを簡単に設定する	84
Wi-Fi® の詳細設定をする	85
Wi-Fi Directで他の機器と接続する	85
Bluetooth® 機能を利用する	85
Bluetooth® 機能をオンにする	85
Bluetooth® 機器を登録する	86
Bluetooth® 通信でデータを送受信する	86
Bluetooth® 通信の詳細を設定する	86
テザリング機能を利用する	87
USBテザリング機能を利用する	87
Wi-Fi® テザリング機能を利用する	87
Bluetooth® テザリング機能を利用する	87
VPN (仮想プライベートネットワーク) に接続する	88
機能設定	89
設定メニューを表示する	90
データ使用の設定をする	90
モバイルネットワークの設定をする	90
音の設定をする	91
ディスプレイの設定をする	91
電池使用量を表示する	91
省電力設定の設定をする	91
アプリの設定をする	92
位置情報の設定をする	92
セキュリティの設定をする	93
ロック画面の設定をする	93
言語と文字入力の設定をする	94
バックアップとリセットの設定をする	94
アカウントと同期の設定をする	95
日付と時刻の設定をする	95
ユーザー補助の設定をする	95
印刷の設定をする	96
端末情報やバージョン情報を確認する	96
海外利用	97
GLOBAL PASSPORT (グローバルパスポート) について	98
海外でご利用になるときは	98
海外で安心してご利用いただくために	98
海外利用に関する設定を行う	98
お問い合わせ方法	99
パケットサービス・メッセージサービスの通信料	100
国際アクセス番号＆国番号一覧	100
グローバルパスポートに関するご利用上のご注意	100
付録／索引	101
付録	102
周辺機器の紹介	102
故障とお考えになる前に	102
再起動する	102
ソフトウェアを更新する	103
アフターサービスについて	103
利用できるデータの種類	104
主な仕様	104
データ通信端末の比吸収率 (SAR) について	104
FCC Notice	105
FCC RF Exposure Information	105
EC Declaration of Conformity	105
CE Mark Warning	105
CE RF Exposure Information	105
輸出管理規制	105
電波障害自主規制について	105
知的財産権について	105
『au Wi-Fi SPOT』利用規約	106
索引	108

安全上のご注意

本書の表記方法について	6
免責事項について	6
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
取り扱い上のお願い	9
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について	11
パケット通信料についてのご注意	12
アプリについて	12

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です(▶P.20)。

表記例	意味
ホーム画面で[Wi-Fi]→[Wi-Fi]	ホーム画面で[Wi-Fi]をタップし、表示されるメニューから[Wi-Fi]をタップします。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラストおよび画面は、実際の製品および画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。



memo

◎本書で明記していない場合は、縦画面表示からの操作を基準に説明しています。
横画面表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

◎本書では本体カラー「メタリックブルー」の表示を例に説明しています。
◎本書では「microSD™メモリカード(市販品)」「microSDHC™メモリカード(市販品)」「microSDXC™メモリカード(市販品)」の名称を「microSDカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎本書の表記の金額は特に記載のある場合を除き全て税抜です。
◎本書では「アプリケーション」のことを「アプリ」と省略しています。

免責事項について

- ◎地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎本製品の使用または使用不能から生ずる附隨的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中止など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎『取扱説明書 詳細版』(本書)の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

- ◎当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがあります。これらデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておこことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

輸入元:ASUS JAPAN株式会社

製造元:ASUSTeK Computer Inc.

memo

◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

◎本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。
◎乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

- ・この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- ・各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

	危険	この表示は「人が死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が差し迫つて生じることが想定される内容」を示しています。
	警告	この表示は「人が死亡または重傷 ^{※1} を負うことが想定される内容」を示しています。
	注意	この表示は「人が軽傷 ^{※2} を負うことが想定される内容や物的損害 ^{※3} の発生が想定される内容」を示しています。

※1重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2軽傷:治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3物的損害:家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を指します。

■図記号の説明

	禁示(してはいけないこと)を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■本体、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

△危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご利用ください。

指示 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

禁止 高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

指示 ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。ガスに引火するおそれがあります。

禁止 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

禁止 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。



接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。発熱による火災・故障・やけどの原因となります。



金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。



カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。



お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。



必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。



屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。



接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。



本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部だけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。



水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート・腐食による故障の原因となります。万一、液体がかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器の電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。



自動車や原動機付自転車・自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。



乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落とせたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。



必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形・故障の原因となる場合があります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。



外部から電源が供給されている状態の本体、ACアダプタ（付属品）および指定の充電用機器（別売）に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。



本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。



コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。



使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器をコンセントまたはソケットから抜き、熱くなことを確認してから電源を切り、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。



イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。



イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。



充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差してください。正しい方向で抜き差しないと、破損・故障の原因となります。

■ 本体について



必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



くぎをさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。



ペットが本製品に噛みつかないようご注意ください。内蔵電池の漏液・発熱・発火・火災・傷害などの原因となります。



必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



自動車・原動機付自転車・自転車運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります。



航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内の電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。



高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響をあたえる場合があります。影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ベースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売元に電波による影響についてご確認ください。



植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

- 植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
- 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の【機内モード】へ切り替える、もしくは電源を切ってください。

3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。

- 手術室・集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
- 医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

4. 医療機関の外で、植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。



メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、音楽を聴くときは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。



ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。



必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがあるので、その場合は使用しないでください。



皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
ディスプレイ	ガラス	AFコート

使用箇所	使用材料	表面処理
ディスプレイ周り	PC+ABS樹脂	塗装(本体カラーが「パールホワイト」の場合)／不連続蒸着(本体カラーが「パウダーピンク」「メタリックブルー」の場合)
背面カバー	PC+GF10%樹脂	塗装
カメラレンズ	PC+PMMA樹脂	ハードコート、ARコート、撥水防汚コート
カメラレンズ周り	アルミニウム	陽極酸化処理
イヤホン端子	SUS	電着塗装
音量キー	PC+GF10%樹脂	塗装
電源キー	PC+GF10%樹脂	塗装
au Micro IC Card (LTE) トレイ(金属部)	SUS316	PVD
au Micro IC Card (LTE) トレイ(樹脂部)	PC+GF10%樹脂	塗装

-  キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。
-  イヤホン端子・外部接続端子・au Micro IC Card(LTE)スロット・microSDカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。
-  本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないか必ず確かめてください。
-  砂浜などの上に直に置かないでください。スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
-  通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。

■ 内蔵電池について

(本製品の内蔵電池は、リチウムポリマー電池です。)
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。



Li-ion 00

△ 危険

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

-  液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。
-  内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は寿命ですので使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

■ 充電用機器について

△ 警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

-  指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
- ACアダプタ(付属品): AC100~240V
 - ACアダプタ(別売): AC100~240V
 - DCアダプタ(別売): DC12V・24V(マイナスアース車専用)
-  指定の充電用機器の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電・発熱・発火・火災・傷害の原因となります。指定の充電用機器が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

-  共通DCアダプタO3(別売)のヒューズが切れたときは、指定(定格250V, 1A)のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。(ヒューズの交換は、共通DCアダプタO3(別売)の取扱説明書をよくご確認ください。)

-  指定の充電用機器のケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだんケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災・傷害の原因となります。

-  接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
-  雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。
-  お手入れをするとときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。
-  電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。
-  車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。
-  長時間使用しない場合は指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いておいてください。火災・故障の原因となります。
-  水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障・傷害の原因となります。万一、液体がかかつてしまつた場合には直ちに電源プラグを抜いてください。

△ 注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

-  風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器を抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。
-  水ぬれ禁止
-  ぬれ手禁止

-  充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。

-  指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

-  共通DCアダプタO3(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

-  皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体质・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。USB ACアダプタセット(付属品)で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
ACアダプタ	ケース	PC+ABS樹脂、PB樹脂 シボ加工
	ACインレット(金属部)	黄銅 ニッケルメッキ
	コネクタ(樹脂部)	PBT+GF30%、PBT シボ加工
	コネクタ(金属シェル)	SUS、黄銅 ニッケルメッキ
	コネクタ(金属端子)	リン青銅、黄銅 金フラッシュメッキ
microUSB ケーブル	ケーブル部	PVC なし
	USBプラグ(樹脂部)	PVC なし
	USBプラグ(金属部)	SPCC ニッケルメッキ
	USB端子(樹脂部)	PBT なし
	USB端子(金属部)	リン青銅 金フラッシュメッキ
	microUSBプラグ(樹脂部)	PVC なし
	microUSBプラグ(金属部)	SUS なし
	microUSB端子(樹脂部)	PBT なし
	microUSB端子(金属部)	リン青銅 金フラッシュメッキ

■ au Micro IC Card (LTE)について

△ 警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

-  電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。



au Micro IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。

指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。



au Micro IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたたりしないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。

水濡れ禁止



au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を傷付けないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。



指摘

■ SIMイジェクトピン(試供品)について

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。SIMイジェクトピン(試供品)で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
SIMイジェクトピン	SUS304	なし

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体・充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

● 本製品に無理な力がかかるないように使用してください。多くのものが詰まつた荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座つたりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。

また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

● 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度5°C~35°C、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)

● ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

● 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。

● お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどを付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

● 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

● 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。

● お子様がお使いになるときは、保護者の方が『設定ガイド』『取扱説明書』または『取扱説明書 詳細版』(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■ 本体について

● 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。

● ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。

以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたまでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたまでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で濡った指での操作

● 本製品の背面下部に刻印されているIMEIは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したことを証明するものですので、確認できる状態を維持してください。

● 改造されたauの端末は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。

本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」がauの端末本体内で確認できるようになっております。

確認方法

ホームページで【?】→[端末情報]→[認証]

本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となつた状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

● 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。

● 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。

● 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。

● 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

● 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。

● 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。

● 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。

強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

● 本製品は、盗難・紛失時の不正利用防止のため、お客様のau Micro IC Card (LTE)以外ではご利用できないようロックがかけられております。ご利用になる方が変更になる場合には、新しくご利用になる方がこのau Micro IC Card (LTE)をご持参のうえ、auショップ・PiPitにご来店ください。なお、変更処理は有償となります。

● ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。

● 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。

- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子に外部機器を接続するときは、外部接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差してください。
- 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- 本製品のmicroSDカードスロットには、microSDカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 明るさセンサーを指でふさいだり、明るさセンサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に明るさセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなどを貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります)。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などが原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命です。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムポリマー電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライターソケットから外してください。
- 指定の充電用機器の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。
- 指定の充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

- au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるauの端末への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカーダーライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(ぬがね拭きなど)などで拭いてください。
- au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card (LTE)を挿入しないでください。故障の原因になります。

■ SIMイジェクトピン(試供品)について

- SIMイジェクトピン(試供品)を乳幼児の手が届く場所には置かないでください。誤飲したり、目をつけてけがをしたりする場合があります。
- SIMイジェクトピン(試供品)は非常に小さい部品ですので、なくさないようにご注意ください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- カメラのレンズ部分に強い力を加えないでください。レンズが破損するおそれがあります。

■ 音楽／動画機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

<本製品の記録内容の控え作成のお願い>

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
※ 控え作成の手段:連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

■ 暗証番号

使用例	auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ ロック解除用暗証番号

使用例	画面ロックなどの設定／解除をする場合
初期値	なし(スライド)

■ PINコード

使用例	第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- ・お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4~8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- ・PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号でお買い上げ時にはすでに決められています。
- ・PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- ・PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショッピングモールもしくはお客様センターまでお問い合わせください。
- ・「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- ・本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・航空機内での使用はできません。無線LAN(Wi-Fi®)対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」ととの間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショッピングモールもしくはお客様センターまでご連絡ください。

memo

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありませんでしたが、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。

◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行なうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切斷される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。



・Bluetooth®機能:2.4FH/XX8

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS方式およびその他の方式を採用しています。与干渉距離は約80m以下です。

・無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS4/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。



全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- ・W52(5.2GHz帯／36, 40, 44, 48ch)
- ・W53(5.3GHz帯／52, 56, 60, 64ch)
- ・W56(5.6GHz帯／100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

パケット通信料についてのご注意

- ・本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ・本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどのダウンロード、アプリによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。

※無線LAN(Wi-Fi®)の場合はパケット通信料はかかりません。

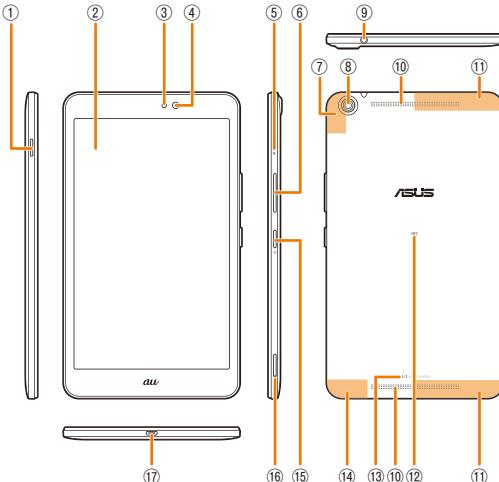
アプリについて

- ・アプリのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、本製品内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ・万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・お客様がインストールを行ったアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・アプリによっては、microSDカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- ・アプリの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- ・本製品に搭載されているアプリやインストールしたアプリは、アプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

各部の名称と機能	14
au Micro IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す	14
microSDカードを取り付ける／取り外す	15
充電する	16
電源を入れる／切る	17
初期設定を行う	17
ディスプレイの表示が消えたり、ロック画面が表示されたら	18
省電力の設定を行う	18

各部の名称と機能



au Micro IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す

au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。本製品にau Micro IC Card (LTE)が正しく取り付けられていないと、メールの送受信などの操作が行えません。また、お客様の電話番号などが必要なその他の機能がご利用できない場合があります。

au Micro IC Card (LTE)



本製品はau Micro IC Card (LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau ICカードやmicro au ICカード、au Nano IC Card (LTE)を差し替えてのご利用はできません。

memo

- au Micro IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことご注意ください。
 - ・ au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分や、本体のICカード用端子にはできるだけ触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
 - ・ 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card (LTE)を挿入しないでください。故障の原因となります。
- au Micro IC Card (LTE)を正しく取り付けていない場合やau Micro IC Card (LTE)に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- 取り外したau Micro IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。

■ au Micro IC Card (LTE)が挿入されていないと…

au Micro IC Card (LTE)以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。

au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、ステータスバーに[]が表示されます。

- ・ パケット通信
- ・ SMSの送受信
- ・ Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
- ・ SIMカードロックの設定
- ・ au ID設定

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

■ PINコードによる制限設定

au Micro IC Card (LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードロックにより他人の使用を制限できます。(▶P.93「SIMカードロックを設定する」)

- ① microSDカードスロット: microSDカードを取り付けます(▶P.15)。
- ② ディスプレイ(タッチパネル): 指で直接触れて操作します(▶P.20)。
- ③ 明るさセンサー: 周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節します。
- ④ インカメラ: 自分を撮影するときなどに使用します(▶P.59)。
- ⑤ マイク: 音声を録音するときなどに使用します。
- ⑥ 音量キー[+/-]: 音楽や動画の再生音や通知音などの音量を調節します。
- ⑦ 内蔵GPSアンテナ部
- ⑧ メインカメラ: 静止画や動画を撮影します(▶P.59)。
- ⑨ イヤホン端子: イヤホンやヘッドホンを接続します。
- ⑩ スピーカー: 音楽や動画の再生音や通知音などが聞こえます。
- ⑪ 内蔵LTEアンテナ部
- ⑫ NFCマーク: NFC機能利用時にこのマークをNFCタグやNFC対応端末のNFCマークにかざしてください(▶P.68)。
- ⑬ IMEI
- ⑭ 内蔵Bluetooth®/Wi-Fi®アンテナ部
- ⑮ 電源キー[△]: 2秒以上押して電源を入れます(▶P.17)。電源が入っているときに1秒以上押して、タブレットオプションメニューを表示すると、マナーモードや機内モードを設定/解除したり、電源を切ったりできます。短く押してスリープモードを設定/解除します(▶P.18)。
- ⑯ au Micro IC Card (LTE) スロット: au Micro IC Card (LTE)を取り付けます(▶P.14)。
- ⑰ 外部接続端子: USB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルや指定の充電用機器(別売)、microUSBケーブルO1(別売)などを接続します。

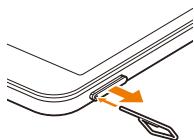
memo

- 明るさセンサーの上にシート類(覗き見防止シートなど)やデコレーション用のシールなどを貼らないでください。明るさセンサーをふさぐと、周囲の明るさが正しく検知されない場合があります。
- 内蔵アンテナ部附近を手でおおったり、シールなどを貼ったりしないでください。通信品質に影響を及ぼす場合があります。
- 本製品の背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。

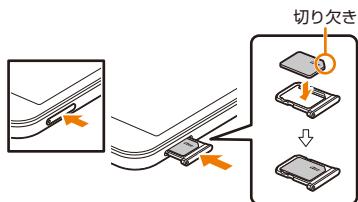
au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

au Micro IC Card (LTE)の取り付けは、本製品の電源を切ってから行います。

- 1 au Micro IC Card (LTE) トレイの穴にSIMイジェクトピン(試供品)を差し込み、トレイが少し飛び出したらゆっくりとまっすぐに引き抜く



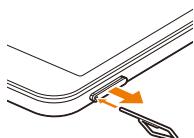
- 2 au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を下にしてトレイに載せ、トレイをスロットに差して押し込む
切り欠きの位置にご注意ください。



au Micro IC Card (LTE)を取り外す

au Micro IC Card (LTE)の取り外しは、本製品の電源を切ってから行います。

- 1 au Micro IC Card (LTE) トレイの穴にSIMイジェクトピン(試供品)を差し込み、トレイが少し飛び出したらゆっくりとまっすぐに引き抜く



- 2 au Micro IC Card (LTE)をトレイから取り外し、トレイをスロットに差して押し込む



microSDカードを取り付ける／取り外す

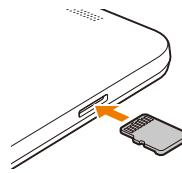
本製品は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、64GBまでのmicroSDXCカードに対応しています。

■ 取扱上のご注意

- ・ microSDカードのデータにアクセスしているときに、microSDカードを取り外したり、電源を切ったり衝撃を与えるとデータが壊れることがあります。
- ・ 対応のmicroSDカード／microSDHCカード／microSDXCカードにつきましては、各microSDカード発売元へお問い合わせいただけます。auホームページをご参考ください。

microSDカードを取り付ける

- 1 本製品のディスプレイ面を下に向か、microSDカードの金属端子面を上にして、カチッと音がするまでゆっくりとまっすぐに差し込む



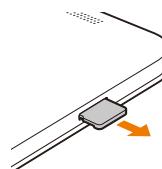
memo

- ◎ microSDカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
- ◎ microSDカードの端子部には触れないでください。

microSDカードを取り外す

microSDカードを取り外す前に、microSDカードのマウントを解除してください。

- 1 ホーム画面で[?]→[ストレージ]→[外付けストレージのアンマウント]→確認画面で[OK]
- 2 本製品の電源を切る(▶P.17)
- 3 microSDカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む
- 4 microSDカードが少し飛び出したら、ゆっくりとまっすぐに引き抜く



memo

- ◎ microSDカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- ◎ microSDカードにインストールされたアプリは、microSDカードを取り外すと利用できません。
- ◎ 取り外したmicroSDカードは紛失・破損しないようにご注意ください。

充電する

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

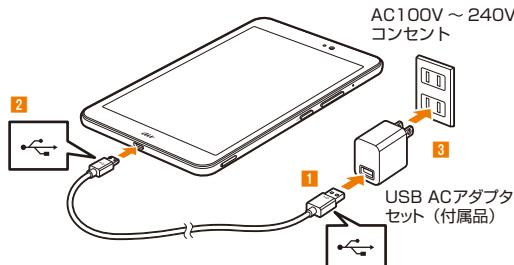
充電にはUSB ACアダプタセット(付属品)、または指定の充電用機器(別売)をお使いください(▶P.102「周辺機器のご紹介」)。

memo

- ◎ご利用可能時間(連続待受時間)や充電時間については、「主な仕様」(▶P.104)をご参照ください。
- ◎USB ACアダプタセット(付属品)および指定の充電用機器(別売)はAC100VからAC240Vまで対応しています。
- ◎本製品を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかることがあります。また、データ通信など消費電流の大きい機能を連続して使用すると、充電中でも電池が減り続け、ご使用できる時間が短くなる場合があります。
- ◎充電中は本製品や指定の充電用機器が温かくなることがあります、故障ではありません。
- ◎充電開始後、充電中アイコン(■)が表示されるまでしばらくお待ちください。しばらく待っても表示されないときは接触不良が考えられます。指定の充電用機器が確実に接続されているかご確認ください。それでも表示されない場合は、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- ◎本製品とパソコンをUSB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブルO1(別売)で接続しても充電ができます。本製品の電源が切れているときまたは本製品がスリープモードのときに充電されます。パソコン上にソフトウェアのインストール画面や新しいバードウェアの検索画面が表示された場合は、スキップするかキャンセルしてください。
- ◎パソコンと接続して充電を行った場合、USB ACアダプタセット(付属品)または指定の充電用機器(別売)での充電と比べて時間が長くかかる場合があります。

USB ACアダプタセット(付属品)を使って充電する

USB ACアダプタセット(付属品)を使って充電する方法を説明します。



1 microUSBケーブルのUSBプラグをACアダプタに差し込む

USBプラグには向きがありますので、プラグのUSBマーク(←→)を上にして、ACアダプタのUSBコネクタにまっすぐに差し込んでください。

2 microUSBプラグを本製品の外部接続端子に差し込む

microUSBプラグには向きがありますので、プラグのUSBマーク(←→)を上にして、外部接続端子にまっすぐに差し込んでください。microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本製品の外部接続端子が破損する原因となります。

3 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

充電中は充電中アイコン(■)がステータスバーに表示されます。充電が完了すると、フル充電アイコン(□)が表示されます。

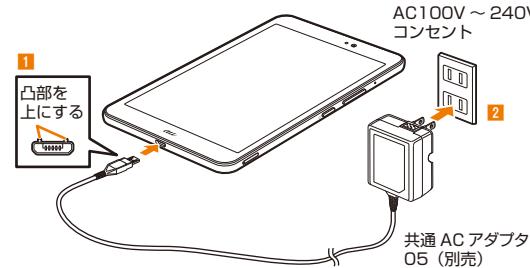
・本製品の電源を切っている場合は、充電中に□を短く押すと充電状況を表すアイコンが表示されます。

4 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

5 microUSBプラグを持ち、本製品の外部接続端子からまっすぐ引き抜く

ACアダプタ(別売)を使って充電する

共通ACアダプタO5(別売)を使って充電する方法を説明します。



・お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。ご了承ください。

1 ACアダプタのmicroUSBプラグを本製品の外部接続端子に差し込む

microUSBプラグには向きがありますので、プラグ端子の凸部を上に向けて、外部接続端子にまっすぐに差し込んでください。microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本製品の外部接続端子が破損する原因となります。

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

充電中は充電中アイコン(■)がステータスバーに表示されます。充電が完了すると、フル充電アイコン(□)が表示されます。

・本製品の電源を切っている場合は、充電中に□を短く押すと充電状況を表すアイコンが表示されます。

3 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

4 ACアダプタのmicroUSBプラグを持ち、本製品の外部接続端子からまっすぐ引き抜く

DCアダプタ(別売)を使って充電する

共通DCアダプタO3(別売)を利用して、自動車のシガーライタソケットから充電することができます。詳しくは、共通DCアダプタO3(別売)の取扱説明書をご覧ください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

① [電源]を2秒以上押す

起動画面が表示され、しばらくするとロック画面(▶P.18)が表示されます。

memo

◎初めて電源を入れたときは、[auへようこそ]画面が表示されます(▶P.17)。

電源を切る

① [電源]を1秒以上押す

タブレットオプションメニューが表示されます。



《タブレットオプションメニュー》

② [電源を切る]→[OK]

強制的に電源を切る

① [電源]を11秒以上押す

強制的に電源を切ることができます。

memo

◎タブレットオプションメニュー画面で「電源を切る」をロングタッチ→[OK]をタップすると、セーフモードで起動することができます。ご購入後にインストールしたアプリにより端末が不安定になっている場合などは、セーフモードで起動すると症状が改善する場合があります。セーフモードを解除するには再起動します。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、[auへようこそ]画面が表示されます。auかんたん設定が終了すると、続けてセットアップウィザードが表示されます。画面の指示に従って、各設定を行ってください。

初期設定について詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。

① [auへようこそ]画面で[次へ]

② [au IDを設定する]→[次へ]

③ [au IDの設定・保存]→画面の指示に従ってau IDを設定

④ [アップデートする]→[次へ]

⑤ それぞれのサービスの利用規約とサービス概要を確認→[同意する]→[次へ]→[同意する]

- ・[データの復元]画面が表示された場合は画面の指示に従って操作してください。

⑥ バックアップするデータにチェックを付ける→[次へ]

- ・[アプリの復元]画面が表示された場合は画面の指示に従って操作してください。

⑦ インストールするアプリにチェックを付ける→[次へ]

⑧ [終了する]

auかんたん設定が終了します。

続けてセットアップウィザードが表示されます。

- ・[次回電源ON時にauかんたん設定を自動起動しない]にチェックを付けると次回からは表示されなくなります。

⑨ [日本語(日本)]→[日本語]／[English]→[□]

⑩ インターネット接続方法を選択→[□]

⑪ Wi-Fi®ネットワークに接続→[□]

Wi-Fiかんたん接続を利用したり、検出されたアクセスポイントから選択したり、手動でアクセスポイントを追加したりできます。

・セキュリティが設定されているネットワークを選択した場合は、セキュリティ情報を入力する画面が表示されます。

・ここでは接続しない場合は、[□]をタップして次に進みます。

⑫ Googleアカウントを設定

⑬ ASUSアカウントを設定

⑭ データの自動同期と同期するアカウントを設定→[□]

⑮ 日時を設定→[□]

⑯ Inspire ASUSに参加して利用データ送信を許可するかを選択→[□]

⑰ [✓]

セットアップウィザードが終了します。

memo

◎ホーム画面で[□]→[auかんたん設定]をタップすると、auかんたん設定をやり直すことができます。

◎ホーム画面で[□]→[セットアップウィザード]をタップすると、ウィザードが起動し、初期設定をやり直すことができます。ただしこの場合、Googleアカウント、ASUSアカウント、Inspire ASUSの設定画面は表示されません。個別に設定する必要があります。

- ・[Googleアカウントを設定する](▶P.17)
- ・ASUSアカウントは、ホーム画面で[□]→[アカウントを追加]→[ASUS]をタップし、画面の指示に従って設定します。
- ・Inspire ASUSは、ホーム画面で[□]→[端末情報]→[法的情報]→[Inspire ASUS]をタップし、設定します。

◎安心セキュリティパックをお申込みいただいた場合、初期設定完了後、「ウイルスバスター™ for au」のセットアップも行ってください。(▶P.75「ウイルスバスター™ for auを利用する」)

Googleアカウントを設定する

本製品にGoogleアカウントを設定すると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。

Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリを初めて起動したときなどに表示されます。

Googleアカウントの設定について詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。

① Googleアカウントのセットアップ画面で[既存のアカウント]／[新しいアカウント]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は[既存のアカウント]をタップし、メールアドレスとパスワードを入力して[□]をタップし、画面の指示に従ってログインしてください。

Googleアカウントをお持ちでない場合は[新しいアカウント]をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

◎Googleアカウントは、ホーム画面で[□]→[アカウントを追加]→[Google]をタップしても設定できます。

◎Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれます。Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれます。

◎ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

Googleパスワードを再設定する

① ホーム画面で[□]→URL表示欄をタップ→[http://www.google.co.jp]を入力→[実行]

② [ログイン]→[お困りの場合]→画面の指示に従って操作

au IDの設定をする

本製品にau IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になります。au IDの設定について詳しくは、「設定ガイド」をご参考ください。

1 ホーム画面で[■]→[au ID 設定]

2 [au IDの設定・保存]→画面の指示に従って操作し、au IDを設定

au IDをすでにお持ちの場合は、お持ちのau IDを設定します。

au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

memo

◎au ID設定後は、ホーム画面で[■]→[au ID 設定]をタップすると、「[au ID設定メニュー]」が表示され、au IDの登録情報の確認や変更などができます。

Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定を行う

Eメール(@ezweb.ne.jp)のご利用には、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップもしくはお客様センターまでお問い合わせください。

初期設定を行うと自動的にEメールアドレスが決まります。

Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定について詳しくは、「設定ガイド」をご参考ください。

1 ホーム画面で[■]

初めて起動したときは、Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定が始まります。

2 内容を確認→[接続する]

3 Eメールアドレスを確認→[閉じる]

memo

◎Eメールの送受信は無線LAN(Wi-Fi[®])通信で利用できますが、初期設定はLTEデータ通信にて行ってください。

◎時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のままでお待ちください。

◎初期設定時に決まったEメールアドレスを変更する操作については、「アドレスの変更やその他の設定をする」(▶P.43)の「Eメールアドレスの変更へ」をご参照ください。

ディスプレイの表示が消えたり、ロック画面が表示されたら

スリープモードを解除する

本製品を一定時間操作しなかったときは、「スリープ」(▶P.91)の設定に従って自動的にディスプレイの表示が消えます。

1 スリープモード中に

スリープモードが解除され、ロック画面(▶P.18)が表示されます。
・操作中に[]を押すと、スリープモードになります。

画面ロックを解除する

1 ロック画面を任意の方向にスライド(スワイプ)

画面ロックが解除されます。



memo

◎ロック画面上のアイコンを任意の方向にドラッグすると、そのアプリが起動します。

◎画面下部中央のGoogleアイコンをロングタッチし、表示される検索アイコンまでドラッグすると、Googleまたはauスマートパスを起動できます。

◎画面ロック(▶P.93)の設定によっては、認証操作を行うとロックが解除されます。

省電力の設定を行う

以下の設定を変更すると、電池の消費を抑え、より長時間使用することができます。

省電力設定*	使用電力を抑えたモードに設定できます。さらに、スリープ中にネットワーク接続を切断するモードに設定することもできます。省電力を設定する項目をカスタマイズすることもできます。 ▶P.91「省電力設定の設定をする」
画面の明るさ*	画面の明るさを抑えたり、自動的に調節したりできます。 ▶P.91「ディスプレイの設定をする」
画面の自動回転*	画面の自動回転機能のオン／オフを設定できます。 ▶P.91「ディスプレイの設定をする」
スリープ	ディスプレイの表示を消すまでの時間を設定できます。 ▶P.91「ディスプレイの設定をする」
Bluetooth [®] *	使用しないときはオフにします。 ▶P.85「Bluetooth [®] 機能をオンにする」
Wi-Fi [®] *	使用しないときはオフにします。 ▶P.84「無線LAN(Wi-Fi [®])機能をオンにする」
Wi-Fi [®] ホットスポット*	使用しないときはオフにします。 ▶P.87「Wi-Fi [®] テザリング機能を利用する」
NFC*	使用しないときはオフにします。 ▶P.69「NFC機能を有効にする」
GPS*	使用しないときはオフにします。 ▶P.92「位置情報の設定をする」
ライブ壁紙	ライブ壁紙を停止し、標準の壁紙を使用します。 ▶P.21「ホーム画面やロック画面の壁紙を変更する」
バックグラウンドデータを制限する	バックグラウンドのデータ通信を制限できます。 ▶P.90「バックグラウンドのデータ通信を制限する」
電力使用状況	バックグラウンドで動作し続けて電力を消費しているアプリを表示して、利用状況を確認できます。 ▶P.91「電池使用量を表示する」
自動同期*	使用しないときは、アカウントと同期をオフにします。 ▶P.95「自動同期するGoogleアプリを設定する」

*[クイック設定]パネル(▶P.23)上のスイッチを使用することで設定のオン／オフが簡単にできます。

基本操作

基本操作	20
タッチパネルの使いかた	20
システムバーを利用する	20
縦／横画面表示を切り替える	20
ホーム画面を利用する	20
ホーム画面をカスタマイズする	21
ホーム画面やロック画面の壁紙を変更する	21
ロック画面ウィジェットについて	21
本製品の状態を知る	22
すべてのアプリ画面を利用する	23
メニューを表示する	24
アプリやWebページの情報を検索する	24
最近使用したアプリを起動／終了する	25
デュアル画面を使用する	25
スクリーンショットを撮る	26
通信機能をオフにする(機内モード)	26
マナーモードを設定する	26
文字入力	27
キーボードの入力方法を切り替える	27
FSKARENで文字を入力する	27
Googleキーボードで文字を入力する	28

基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- ・タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- ・以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼っての操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作

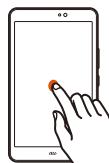
■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



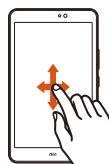
■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。ポップアップメニューなどを表示する場合に使います。



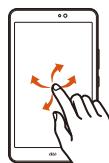
■ スライド(スクロール)

画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。ロック画面の解除や、画面内で表示しきれないものをスクロールして見るとときなどに使用します。



■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



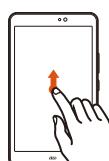
■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。



■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



システムバーを利用する

操作中は、画面下部に常にシステムバーが表示されます。



① 戻る:前の画面に戻ります。

② ホーム:ホーム画面に戻ります。

③ 最近のアプリ:最近使用したアプリの一覧を表示します。

memo

◎ [家]をロングタッチし、表示される検索アイコンまでドラッグすると、Googleまたはauスマートパスを起動できます。

縦／横画面表示を切り替える

本製品を縦または横に持ち替えると、その向きに合わせて自動的に画面表示が切り替わります。

memo

◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると向きや動きの変化を正しく検知できず、画面表示が切り替わらない場合があります。

◎ [画面の自動回転] (▶P.91) がオフの時は画面表示が切り替わりません。なお、オンのときでも、画面によっては画面表示が切り替わらない場合があります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面からすべての操作が始まります。

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にフリックすると切り替えることができます。[家]をタップするといつでも表示することができます。



① カスタマイズエリア: アプリのショートカットやウィジェットを自由に配置できます。

② 画面表示位置: 複数の画面からなるホーム画面のうち、どの画面を表示しているかを示します。

③ ドック: アイコンをタップすると、アプリや機能を起動できます。ドック上のアイコンは、ホーム画面の表示画面を切り替えても常に表示されます。

④ すべてのアプリ: すべてのアプリ画面を表示します。本製品にインストールされているアプリやウィジェットを一覧表示します。お買い上げ時にインストールされているアプリについては、「アプリ一覧」(▶P.56)をご参照ください。

ホーム画面からアプリや機能を起動する

ホーム画面のドックやカスタマイズエリアから、アプリやウィジェットなどを起動できます。

1 ホーム画面で起動するアイテムをタップ

・ アプリアイコンやウィジェットをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

・ Webページへのブックマーク選択時など、利用できるアプリが複数存在する場合は、アプリ選択画面が表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従ってアプリを選択してください。

ホーム画面をカスタマイズする

ホーム画面をロングタッチすると、ホーム画面にアプリのショートカットやウィジェットを追加したり、ホーム画面の編集を行うことができます。

ショートカットやウィジェットを追加する

1 ホーム画面のカスタマイズエリアの何もない場所をロングタッチ

[ホーム画面の管理]画面が表示されます。

2 ホーム画面に追加するアイテムの種類をタップ

アプリ:すべてのアプリ画面の[アプリ]タブを表示します。よく使うアプリのショートカットをホーム画面に追加できます。

ウィジェット:すべてのアプリ画面の[ウィジェット]タブを表示します。カレンダー、音楽、連絡先など、大切な情報やさまざまなコンテンツを確認できます。

3 ホーム画面に追加するアイテムをロングタッチし、ホーム画面が表示されたら配置したい場所までドラッグ

- 端に見えている次の画面上にドラッグすると表示画面が切り替わります。

memo

◎ホーム画面で[■]をタップしてすべてのアプリ画面を表示しても、操作③を行うことができます。

ショートカットやウィジェットを移動する

1 移動するアイテムをロングタッチ→新しい位置までドラッグ

memo

◎サイズを変更できるウィジェットの場合は、ロングタッチして指を離すとサイズ調節の枠が表示されます。枠をドラッグしてサイズを変更することができます。

フォルダを作成する

ショートカットを整理するためのフォルダを追加できます。

1 フォルダに入るショートカットをロングタッチ→同じフォルダに入るショートカットの上に、透明の枠が表示されるまでドラッグ

memo

◎フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ→[名前のないフォルダ]→フォルダ名を入力します。

◎ショートカットをフォルダから出す場合は、対象のフォルダをタップ→フォルダから出すショートカットをロングタッチ→フォルダの外のホーム画面上にドラッグします。残りのショートカットが1つになると、フォルダは削除されます。

ショートカット、フォルダ、ウィジェットを削除する

1 削除するアイテムをロングタッチ→画面上部の[削除]までドラッグ

ドックに表示するアプリを変更する

お好みのアプリのショートカットを最大6つまでドックに表示できます。

1 ホーム画面でドックから外すアプリのアイコンをロングタッチ→画面上部の[削除]までドラッグ

2 ホーム画面のカスタマイズエリアの何もない場所をロングタッチ

[ホーム画面の管理]画面が表示されます。

3 [アプリ]→ドックへ入れるアプリのアイコンをロングタッチ

4 移動する位置(ドック内)までドラッグ

memo

◎他のアプリのショートカットをドックへドラッグして重ねると、ドック内にフォルダが作成されます。

ホーム画面を編集する

複数からなるホーム画面のメイン画面を設定したり、並べ替え、追加、削除ができます。

1 ホーム画面のカスタマイズエリアの何もない場所をロングタッチ

[ホーム画面の管理]画面が表示されます。

2 [ホーム画面の編集]

ホーム画面をサムネイル表示します。

3 設定を行う

- メイン画面を切り替える場合は、メイン画面に設定したい画面の右下の[②]をタップしてオレンジ色に変更します。メイン画面とは、[■]を押すと表示される画面です。
- 並べ替える場合は、移動するホーム画面をロングタッチ→移動する位置までドラッグします。
- 追加する場合は、[+]をタップします。
- 削除する場合は、削除するホーム画面をロングタッチ→画面上部の[削除]までドラッグします。

memo

◎ホーム画面をピンチインしても、ホーム画面の編集画面を表示できます。

ホーム画面やロック画面の壁紙を変更する

1 ホーム画面のカスタマイズエリアの何もない場所をロングタッチ

[ホーム画面の管理]画面が表示されます。

2 [壁紙]→壁紙を設定する画面を選択

3 壁紙に設定する画像を選択→[適用]

- [画像を選択]を選択した場合は、本製品内に保存されている画像データの一覧から設定したい画像をタップ→[適用]をタップします。
- ライブ壁紙を選択した場合は、[壁紙に設定]をタップします。
- 静止画像を選択した場合は、[背景の色合い]にチェックを付けると、色とその透明度を指定して画像に色合いを付けることができます。

memo

◎壁紙をお買い上げ時の設定に戻すには、ホーム画面で[②]→[ディスプレイ]→[既定のテーマを使用する]→[OK]と操作します。

ロック画面ウィジェットについて

ロック画面にウィジェットを追加し、左右にフリックして表示を切り替えることができます。Gmailの受信トレイやカレンダーの予定などをロックを解除せずに確認できます。ウィジェットは最大5つまで表示できます。

ロック画面でウィジェットを有効化する

1 ホーム画面で[②]→[ロックスクリーン]

2 [ウィジェットの有効化]にチェックを付ける

■ ロック画面にウィジェットを追加する

1 ロック画面の左端上部で右にフリック

- すでにウィジェットが追加されている場合は、[+]画面が表示されるまで、右にフリックします。



《ロック画面》



《ウィジェット追加画面》

2 [+]→ウィジェットを選択

ロック画面にウィジェットが追加されます。

■ ロック画面ウィジェットを並べ替える

1 移動するロック画面ウィジェットをロングタッチ→移動する位置にドラッグ

■ ロック画面ウィジェットを削除する

1 削除するロック画面ウィジェットをロングタッチ→画面 上部の[削除]までドラッグ

■ 本製品の状態を知る

■ アイコンの見かた

画面上部のステータスバーには本製品の状態を示すアイコンが表示されます。



■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
E	新着Eメール(@ezweb.ne.jp)あり
EF	サーバに新着Eメール(@ezweb.ne.jp)あり
SMS	新着SMSあり
PC	新着PCメールあり
Gmail	新着Gmailあり
緊急速報	緊急速報メールあり
アプリ	アプリのアップデートあり
インストール	アプリのインストール完了
入力	文字入力中
カレンダー	カレンダーの予定の通知あり
ウイルスバスター	ウイルスバスター™ for auの通知あり
Wi-Fi	無線LAN(Wi-Fi®)のオープンネットワークが利用可能
USB	USBテザリング機能オン
Bluetooth	Bluetooth®テザリング機能オン
2つ以上のテザリング	2つ以上のテザリング機能オン
Bluetooth機器	Bluetooth®機器からのデータ着信あり
VPN	VPN接続中
データ受信	データ受信／ダウンロード
データ送信	データ送信／アップロード

アイコン	概要
スクリーンショットあり	スクリーンショットあり
スクリーンショットシェア有効	スクリーンショットシェア有効
Playミュージックアプリで音楽再生中	Playミュージックアプリで音楽再生中
音楽アプリで音楽再生中	音楽アプリで音楽再生中
アラーム鳴動中／スヌーズ中	アラーム鳴動中／スヌーズ中
ストップウォッチ計測中	ストップウォッチ計測中
タイマー使用中	タイマー使用中
デジタルメディアサーバー機能オン	デジタルメディアサーバー機能オン
外付けストレージに関する通知あり	外付けストレージに関する通知あり
注意メッセージあり	注意メッセージあり
・ソフトウェア更新が必要な場合にはこのアイコンで通知されます。	・ソフトウェア更新が必要な場合にはこのアイコンで通知されます。
本製品のメモリの空き容量低下	本製品のメモリの空き容量低下
読書モード設定中	読書モード設定中
What's Nextからのお知らせあり	What's Nextからのお知らせあり
やることリストからのリマインダーあり	やることリストからのリマインダーあり
イヤホン端子接続済み	イヤホン端子接続済み
表示しきれていない通知あり	表示しきれていない通知あり

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
電波状態	電波状態
圏外	圏外
機内モード設定中	機内モード設定中
パケット通信(LTE)状態	パケット通信(LTE)状態
・海外ローミング中に3G回線に接続した場合は、アイコンの表示が「3G」となります。	・海外ローミング中に3G回線に接続した場合は、アイコンの表示が「3G」となります。
ローミング中	ローミング中
無線LAN(Wi-Fi®)の電波状態	無線LAN(Wi-Fi®)の電波状態
Bluetooth®機能オン	Bluetooth®機能オン
Bluetooth®機器と接続中	Bluetooth®機器と接続中
NFC機能オン	NFC機能オン
GPS測位中	GPS測位中
電池レベル	電池レベル
・ホーム画面で[電池]→[電池残量をパーセントで表示する]にチェックを付けると、電池アイコンの左に電池残量をパーセント表示できます。	・ホーム画面で[電池]→[電池残量をパーセントで表示する]にチェックを付けると、電池アイコンの左に電池残量をパーセント表示できます。
要充電	要充電
充電中	充電中
マナーモード設定中	マナーモード設定中
アラーム設定あり	アラーム設定あり
au Micro IC Card (LTE)未挿入	au Micro IC Card (LTE)未挿入

■ システム通知パネルを開く

ステータスバーに通知アイコンが表示されたときは、通知アイコン表示エリアを下方向にスライドすると、[システム通知]パネルが表示されます。通知の概要を確認できます。



- ① 設定: [設定]メニューを表示します(▶P.90)。
- ② パネル表示切り替え: [クイック設定]パネルに切り替えます(▶P.23)。
- ③ すべて消去: 通知を消去します。ただし、通知内容によっては消去できない場合があります。
- ④ 通知項目: タップすると、通知の詳細を確認したり、必要な設定を行ったりできます。左右どちらかにスライドすると消去できます。ただし、通知内容によっては消去できない場合があります。

- ⑤ **閉じる**: 上方向にスライドするとパネルを閉じます。[]をタップするか、パネル以外の場所をタップしてもパネルを閉じることができます。

memo

- 画面ロックを[スライド]に設定している場合は、画面ロックを解除しなくても[システム通知]パネルを表示することができます。
- 通知項目を長タッチ→[アプリ情報]をタップすると、アプリの情報を確認できます。

クイック設定パネルを開く

ステータスバーのステータスアイコン表示エリアを下方向にスライドすると、[クイック設定]パネルが表示されます。各機能の起動やオン／オフの切り替えを簡単に行うことができます。



- ① **クイック設定オプション**: [クイック設定]パネルに表示する項目を選択したり、順番を入れ替えたりできます。
- ② **設定**: [設定]メニューを表示します(▶P.90)。
- ③ **パネル表示切り替え**: [システム通知]パネルに切り替えます(▶P.22)。
- ④ **画面の明るさ**: 画面の明るさを調整できます。
- ⑤ **メモリ解放**: タップすると、不必要に予約されているメモリ領域を解放します。使用できるメモリ領域が増えます。
- ⑥ **アプリ起動スイッチ**: タップするとそのアプリが起動します。
- ⑦ **機能オン／オフスイッチ**: タップするとその機能のオン／オフを切り替えることができます。
機能によっては、長タッチすると詳細設定画面を表示します。クイック設定オプション(①)をタップすると表示する項目を選択したり順番を入れ替えたりできます。
- ⑧ **閉じる**: 上方向にスライドするとパネルを閉じます。[]をタップするか、パネル以外の場所をタップしてもパネルを閉じることができます。

memo

- [クイック設定]パネルは、ステータスバーを2本の指で下方向にスライドしても表示できます。
- [クイック設定]パネルの表示をお買い上げ時の設定に戻すには、ホーム画面で[]→[ASUSカスタマイズ設定]→[クイック設定をリセット]→[OK]と操作します。
- 画面ロックを[スライド]以外に設定している場合、ロック画面で表示する[クイック設定]パネルでは、画面の明るさ、メモリ解放、アプリ起動スイッチのみ利用できます。

すべてのアプリ画面を利用する

本製品にインストールしたアプリアイコンの一覧、ウィジェット一覧が表示されます。アプリアイコンをタップするとアプリを起動できます。特定のアプリをロックしたり非表示にしたりすることもできます。

すべてのアプリ画面からアプリを起動する

1 ホーム画面で[]

すべてのアプリ画面が表示されます。

- ・ 左右にフリックして表示を切り替えることができます。
- ・ [アプリ]／[ウィジェット]タブをタップすると、アプリ一覧表示／ウィジェット一覧表示を切り替えることができます。
- ・ []→検索キーワードを入力すると、名称にそのキーワードを含むアイテムのみが表示されます。
- ・ [すべて]／[ダウンロード]／[最近使ったアプリ]をタップして表示するアイテムを切り替えることができます。
- ・ [アプリ]タブで[すべて]または[ダウンロード]表示のときに[]→[並び替え]と操作すると、アプリ名称の昇順か降順で並べ替えることができます。[ダウンロード]表示のときは[更新時間]も選択できます。

2 起動するアプリのアイコンをタップ

- ・ アプリアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ・ アプリアイコンやウィジェットを長タッチすると、ホーム画面にショートカットを追加したり、アプリ情報を確認したりすることができます。

アプリにロックを設定する

App Lock機能を使って、特定のアプリにロックをかけて他のユーザーからのアクセスを制限できます。

1 ホーム画面で[]→[]→[Lock apps]

パスワード設定画面が表示されます。

- ・ 一度パスワードを設定すると、次回からはパスワード入力画面が表示されます。

2 App Lock用のパスワードを入力→確認用にパスワードを再入力→[OK]

[Lock apps]画面が表示されます。

3 ロックを設定するアプリアイコンをタップ

タップしたアイコンの[]が[]に変わります。

- ・ ロックを設定するすべてのアプリに対して同じ操作を行います。

4 [OK]

ロックを設定したアプリは、ホーム画面やすべてのアプリ画面で[]付きのアイコンで表示されます。

ロックしたアプリを起動する際は、毎回パスワードの入力が必要になります。

■ App Lockの設定を変更する

パスワードの変更や、ロックを設定したアプリの通知やウィジェットに関する設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[]→[]→[Lock appsの設定]

パスワード入力画面が表示されます。

2 現在のパスワードを入力→[OK]

3 必要な項目を設定

通知を表示しない	チェックを付けると、ロックを設定したアプリの通知を表示しません。
ウィジェットの削除	チェックを付けると、ロックを設定したアプリのウィジェットを、ホーム画面、ロック画面、すべてのアプリ画面から削除します。
パスワードの変更	[パスワードの変更]画面が表示されます。現在のパスワードを入力→新しいパスワードを入力→確認用に新しいパスワードを再入力→[OK]で変更できます。
バージョン情報等	App Lockのバージョンを確認できます。

■ アプリのロックを解除する

1 ホーム画面で[]→[]→[Lock apps]

パスワード入力画面が表示されます。

2 パスワードを入力→[OK]

[Lock apps]画面が表示されます。

3 ロックを解除するアプリアイコンをタップ

タップしたアイコンの[]が[]に変わります。

- ・ロックを解除するすべてのアプリに対して同じ操作を行います。

4 [OK]

■ アプリを非表示にする

特定のアプリを、ホーム画面やすべてのアプリ画面上で表示しないように設定できます。

1 ホーム画面で[]→[]→[アプリ非表示]

[非表示 apps]画面が表示されます。

2 非表示にするアプリアイコンにチェックを付ける

- ・非表示にするすべてのアプリに対して同じ操作を行います。

3 [OK]

■ アプリを再表示する

1 ホーム画面で[]→[]→[アプリ非表示]

[非表示 apps]画面が表示されます。

2 画面表示位置の[]

非表示に設定しているアプリが一覧表示されます。

3 表示するアプリアイコンのチェックを外す

- ・表示するすべてのアプリに対して同じ操作を行います。

4 [OK]

ホーム画面にショートカットのあったアプリを非表示にすると、再表示してもホーム画面の元の位置には表示されません。手動で追加し直す必要があります(▶P.21)。

■ アプリを無効化／アンインストールする

お買い上げ時にインストールされているアプリの無効化、およびダウンロードしたアプリのアンインストールを行うことができます。

1 ホーム画面で[]→[]→[アンインストール／無効]

[アンインストール／無効]画面が表示されます。

2 無効化／アンインストールするアプリアイコンをタップ →内容を確認→[OK]

- ・無効化／アンインストールするすべてのアプリに対して同じ操作を行います。

3 [OK]

memo

◎ Google Playからインストールしたアプリは、Google Play画面から削除してください(▶P.69)。

◎ アプリを無効化すると、他のアプリに影響を与えて正常に動作しなくなる場合があります。正常に動作しない場合は、有効にします。

◎ ホーム画面で[]→[アプリ]と操作して表示されるアプリの管理画面でも無効化／アンインストールを行うことができます(▶P.92)。

■ アプリを有効化する

無効化したアプリを有効化できます。

1 ホーム画面で[]→[]→[アプリの管理]

アプリの管理画面が表示されます。

2 左右にフリックして[無効]のアプリ一覧を表示→有効化するアプリをタップ

選択したアプリの[アプリ情報]画面が表示されます。

3 [有効にする]

有効化したアプリはすべてのアプリ画面に表示されます。

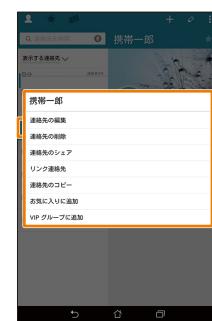
メニューを表示する

本製品は、[]／[]をタップして表示するオプションメニューと、入力欄や項目をタップまたはロングタッチして表示するポップアップメニューの2種類のメニューがあります。

なお、アプリによっては画面下部のシステムバーに[]が表示される場合があります。



《連絡帳の連絡先一覧画面で[]をタップする場合》



《連絡帳の連絡先一覧画面で名前をロングタッチする場合》

■ アプリやWebページの情報を検索する

1 ホーム画面で[]→[]→[Google]

Google検索画面が表示されます。

- ・初めて起動したときはGoogle Nowの説明画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 検索ボックスをタップ→キーワードを入力

文字の入力に従って、検索候補が表示されます。

3 検索候補をタップ／[Q]

選択した検索候補が本製品のアプリの場合は、該当するアプリが起動します。

memo

◎ お買い上げ時にはホーム画面にGoogle検索ウィジェットが表示されています。ウィジェットをタップして検索を開始できます。

■ 音声検索を利用する

マイクに向かって話すだけで、Webページの情報を検索できます。文字入力は必要ありません。

1 Google検索画面で[]

2 マイクに向かってキーワードを話す

検索結果が表示されます。

Google検索の設定を変更する

Google検索で検索するときの動作や、検索対象を設定できます。

1 Google検索画面で[::]→[設定]

2 必要な項目を設定

Google Now	Google Nowのオン／オフを切り替えることができます。Google Nowを利用するには、本製品にGoogleアカウントを追加する必要があります。
タブレット内検索	検索対象にする本製品内のデータを選択します。
音声	音声検索時の言語や設定を変更できます。
アカウントとプライバシー	Googleアカウントの利用や、現在地情報の設定、検索履歴の消去など、検索時の動作に関する設定をします。
通知	Google Nowをオンにしている場合に表示されます。Google Nowからの通知に関する設定をします。
ヘルプとフィードバック	Google検索のヘルプを確認したり、フィードバックを送信したりできます。

最近使用したアプリを起動／終了する

最近使用したアプリを起動する

1 [■]

- 初めて[■]をタップしたときは、デュアル画面(▶P.25)のチュートリアルが表示されます。表示される画面に従って操作してください。

2 起動するアプリの画面をタップ

アプリを終了する

実行中のアプリが多くなるとメモリ不足となり、本製品の動作が遅くなります。また、電池を消費し、連続待受時間が短くなる場合があります。使っていないアプリは終了させてください。

1 [■]

2 終了するアプリの画面を左右どちらかにフリック

- [全てのアプリを終了する]をタップすると、表示されているすべてのアプリを終了します。

デュアル画面を使用する

本製品では、画面を2分割して、2つのアプリを同時に表示して操作できます。

ただし、アプリによってはデュアル画面に対応していないものがあります。



デュアル画面を起動する

■ クイック設定パネルから起動する

1 ステータスバーのステータスアイコン表示エリアを下方に向にスライド

[クイック設定]パネルが表示されます。

2 [デュアル画面]

デュアル画面表示になり、それぞれのウィンドウにアプリメニュー(デュアル画面に対応しているアプリの一覧)が表示されます。

- アプリメニューは左右にフリックしたり、[すべて]/[ペア]をタップしたりして表示を切り替えることができます。

3 それぞれのウィンドウで、起動するアプリのアイコンをタップ

アプリが起動し、それぞれのウィンドウ内で操作できます。

- ペアをタップした場合は、ペアに設定された2つのアプリが同時に起動します。

最近のアプリから起動する

1 [■]

2 デュアル画面で表示するアプリの画面をロングタッチ→どちらかのウィンドウ位置にドラッグ

デュアル画面表示になり、ドラッグした先のウィンドウにアプリが表示されます。反対側のウィンドウにはアプリメニューが表示されます。

- デュアル画面に対応しているアプリの画面の右上には[●]が表示されます。

3 反対側のウィンドウで、起動するアプリのアイコンをタップ

アプリが起動し、それぞれのウィンドウ内で操作できます。

memo

◎操作中のウィンドウはフレームが青くなります。システムバーの[■]は操作中のウィンドウに対して有効です。

デュアル画面のメニューを表示する

1 設定するウィンドウのフレームをタップ

フレームが青くなり、操作中の状態を示します。

2 []

メニューが表示されます。



- ① アプリメニュー：デュアル画面に対応しているアプリの一覧が表示されます。アイコンをタップするとそのアプリが起動します。
- ② ウィンドウ位置入れ替え：ウィンドウ位置を入れ替えます。アイコンの矢印の向きは設定中のウィンドウの位置によって変わります。
- ③ 閉じる：設定中のウィンドウを閉じ、反対側のウィンドウを全画面表示します。
- ④ 全画面表示：設定中のウィンドウを全画面表示し、反対側のウィンドウを閉じます。
- ⑤ オプションメニュー

ペアになったアプリ：それぞれのウィンドウにアプリが表示された状態でこのメニューをタップすると、ペアが作成されます。作成されたペアは、アプリメニューの「ペア」で選択できるようになります。

設定：現在表示しているアプリから新しいアプリを起動する操作を行ったときに、現在のウィンドウと反対側のウィンドウのどちらで開くかを選択できます。

memo

- ◎オプションメニュー→[設定]の項目は、ホーム画面で[]→[ASUSカスタマイズ設定]→[デュアル画面の設定]をタップしても表示できます。[デュアル画面の設定]では、デュアル画面の使用方法についてのチュートリアルを確認することができます。

スクリーンショットを撮る

表示されている画面を撮影して画像として保存できます。

撮影したスクリーンショットは、内部ストレージ(/sdcard/Screenshots)に保存され、「ギャラリー」で確認できます。

1 スクリーンショットを撮影する画面で [] と [] を同時に長押し

シャッター音が鳴ってスクリーンショットが撮影されます。ステータスバーに[]が表示されます。

memo

- ◎ホーム画面で[]→[ASUSカスタマイズ設定]→[スクリーンショット]にチェックを付けると、[]をロングタッチしてもスクリーンショットを撮影できます。
- ◎スクリーンショットシェア(▶P.72)を利用して撮影することもできます。撮影したスクリーンショットを編集したり、他のアプリと共有することができます。

通信機能をオフにする(機内モード)

機内モードを設定すると、パケット通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能、NFC機能などの通信機能がすべてオフになります。

1 ホーム画面で[]→[無線とネットワーク]の[その他...]

2 [機内モード]にチェックを付ける

ステータスバーに[]が表示されます。

- ・ []を1秒以上押して表示されるタブレットオプションメニューで[機内モード]をタップしても、オン／オフを切り替えることができます。

memo

- ◎無線LAN(Wi-Fi®)機能(▶P.84)、Bluetooth®機能(▶P.85)、NFC機能(▶P.69)は、機内モード中に個別にオンにすることができます。
- ◎医療機関、航空機内、電車の優先席付近など、電波の使用を禁止された区域では、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能、NFC機能をオンにしないでください。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定すると、公共の場所で周囲の迷惑とならないように、音楽、動画、ゲームなどの再生音や、メールやカレンダーの通知音をスピーカーから出さないようにすることができます。

1 [] を1秒以上押す

タブレットオプションメニューが表示されます。

2 [マナーモード]

ステータスバーに[]が表示されます。

- ・ []を次の画面が表示されるまで押しても、マナーモードを設定できます。



memo

- ◎マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音、録画開始／終了音、スクリーンショットのキャプチャ音は鳴ります。
- ◎マナーモードを設定しても、アラーム音はオフになりません。ホーム画面で[]→[音量]から設定してください。

スクリーンショットのファイル形式を変更する

スクリーンショットのファイル形式は、JPEGかPNGから選択できます。お買い上げ時の設定はJPEGです。

1 ホーム画面で[]→[ASUSカスタマイズ設定]→[スクリーンショットのファイルフォーマット]

2 ファイル形式を選択

文字入力

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。

ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

[■]をタップすると非表示になります。

キーボードの入力方法を切り替える

キーボードの入力方法は、日本語入力のFSKARENとGoogleキーボードから選択できます。お買い上げ時は、FSKARENが選択されています。

1 ホーム画面で[■]→[言語と入力]→[デフォルト]

2 入力方法をタップ

memo

- Googleキーボードは主に英数字を入力できます。日本語は入力できません。
- 本書では、FSKARENで文字を入力する場合を例に説明しています。

FSKARENで文字を入力する

FSKARENでは、4種類のキーボードと音声入力を使用して文字を入力できます。

■ 10キー キーボード



一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです(▶P.28)。

■ QWERTY キーボード



一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです(▶P.28)。

■ 手書き キーボード



手書きで文字を入力できます(▶P.28)。

■ 50音 キーボード



50音順、アルファベット順に文字が並んだキーボードです(▶P.28)。

■ 音声入力



マイクに向かって話した音声を文字に変換して入力します(▶P.28)。

キーボードを切り替える

1 キーボード上の[Menu]→[入力方法]で使用するキーボードをタップ

- 10キー キーボードとQWERTY キーボード間の切り替えは、キーボード上の[■]/[■]をタップしても行えます。

2 キーボードの見たかた



《10キー キーボードの場合》



《カーソル キーボード》

- ① 文字種タブ: 各タブをタップして表示する文字種を切り替えます。
- ② カーソルキーボード表示ボタン: カーソルキーボードを表示します。
- ③ カーソル移動ボタン(左): カーソルを左に移動します。
- ④ 10キー/QWERTYキー切替ボタン: 10キー キーボードが表示されているときは[■]をタップするとQWERTY キーボードに切り替わります。
QWERTY キーボードが表示されているときは[■]をタップすると10キー キーボードに切り替わります。
- ⑤ Menuボタン: FSKARENの設定メニューを表示します。入力方法の選択、10キー キーボードの入力方式の選択、定型文表示、機能のオン/オフ、辞書設定、リセットなどが行えます。
また、[あかさ]タブでの文字入力中は[カナ英数]と表示され、タップしてカタカナや英数字に変換したり、変換候補エリアにカタカナや英数字の変換候補を表示できます。
- ⑥ 変換候補エリア: 文字を入力すると変換候補や予測候補が表示されます。タップして入力できます。
- ⑦ 絵文字/顔文字/記号タブ: 絵文字(入力できる場合のみ)、顔文字、記号の一覧を表示します。
- ⑧ 閉じるボタン: キーボードを閉じます。
- ⑨ バックスペースボタン: カーソルの左側の文字を削除します。
- ⑩ カーソル移動ボタン(右): カーソルを右に移動します。
- ⑪ スペースボタン: スペースを入力します。[あかさ]タブでの文字入力中は[変換]と表示され、入力している文字の変換を行います。
- ⑫ Enter(確定)ボタン: 画面や操作によって表示が変わります。改行の入力、次の入力欄への移動、検索などの機能の実行ができます。また、文字入力中、変換中の場合は、入力文字を確定します。
- ⑬ 文字入力ボタン: 文字を入力します。
- ⑭ カーソル移動ボタン: カーソルを上下左右に移動します。
- ⑮ 範囲選択: 範囲選択を開始します。選択開始位置にカーソルを移動→[範囲選択]→カーソルを移動して範囲を指定します。
- ⑯ 全選択: 入力されているすべての文字を選択します。
- ⑰ コピー: 選択している文字をコピーします。
- ⑱ 切り取り: 選択している文字を切り取ります。
- ⑲ 貼り付け: コピーした/切り取った文字を貼り付けます。

10キーキーボードで入力する

例:「携帯」と入力する場合

1 10キーキーボードの【あかさ】タブをタップ

ひらがな漢字入力モードの文字入力ボタンが表示されます。

2 文字入力ボタンをタップして「けいたい」と入力

[か] (4回) [あ] (2回) [た] (1回) [あ] (2回)
け い た い

変換候補エリアに変換候補が表示されます。

- 変換候補エリアに変換候補を表示しきれない場合は、変換候補エリア右の[▼]/[▲]をタップして変換候補エリアの最大化/最小化することができます。
- 【変換】をタップすると、入力した文字の変換候補が表示されます。
- カーソル移動ボタンをタップして変換する文字の範囲を変更することもできます。

3 変換候補エリアの【携帯】をタップ

memo

◎お買い上げ時は10キーキーボードの入力方式が【フリック+トグル入力】に設定されており、上記の操作(トグル入力)の代わりにフリック入力で文字を入力することもできます。文字入力ボタンをロングタッチして、表示されるガイドをもとに上下左右にフリックすると、そのボタンに割り当てられた文字を選択して入力できます。10キーキーボードの入力方式は、[Menu]→[10キー入力方式]で変更できます。【フリック+トグル入力】、【フリック入力】、【トグル入力】、【2タッチ入力】から選択できます。

QWERTYキーボードで入力する

例:「携帯」と入力する場合

1 QWERTYキーボードの【あかさ】タブをタップ

ひらがな漢字入力モードの文字入力ボタンが表示されます。

2 文字入力ボタンをタップして「けいたい」と入力

[K] [E] [I] [T] [A] [I]
け い た い

3 変換候補エリアの【携帯】をタップ

手書きキーボードで入力する

例:「携帯」と入力する場合

1 手書きキーボードの【あかさ】タブをタップ

ひらがな漢字入力モードに切り替わります。

2 手書き入力画面に「けいたい」と手書き



文字入力欄に認識された文字が表示されます。

- 左右の入力画面に交互に文字を書くことで、連続してスムーズに入力できます。[Menu]→[手書き画面タイプ]で【シングル】/【ダブル】を切り替えることもできます。
- 【手書き候補】をタップすると、文字入力欄に表示された文字以外の候補を表示して選択できます。
- 漢字で「携帯」と手書きしても認識されます。

3 変換候補エリアの【携帯】をタップ

50音キーボードで入力する

例:「携帯」と入力する場合

1 50音キーボードの【あかさ】タブをタップ

ひらがな漢字入力モードの文字入力ボタンが表示されます。

2 文字入力ボタンをタップして「けいたい」と入力

[け] [い] [た] [い]
け い た い

3 変換候補エリアの【携帯】をタップ

音声入力で入力する

1 キーボード上の【Menu】→【音声入力】

2 マイクに向かって入力内容を話す

文字入力欄に認識された内容が入力されます。

FSKARENの操作マニュアルを見る

FSKARENの詳しい操作方法については、FSKARENの操作マニュアルをご参照ください。

1 キーボード上の【Menu】→【FSKARENコミュニティ】

FSKARENコミュニティサイトが表示されます。

- アプリの選択画面が表示された場合は、使用するアプリを選択してください。

2 【操作マニュアル】

Googleキーボードで文字を入力する

Googleキーボードを使うと、英数字やアクセント記号付きの文字、記号を入力できます。

- Googleキーボードでは、日本語は入力できません。
- キーボードの入力方法を切り替えるには「キーボードの入力方法を切り替える」(▶P.27)をご参照ください。

1 Googleキーボードの【?123】/【ABC】をタップして希望する入力画面に切り替え

2 文字を入力

- アクセント記号付きの文字を入力するには、キーをロングタッチし、一覧が表示されたらそのまま指を離さずに入力したい文字まで移動します。
- 大文字を入力するには、【.】をタップします。タップするたびに大文字画面と小文字画面が切り替わります。ダブルタップすると【.】に変わり、大文字画面に固定されます。大文字を続けて入力するときに便利です。
- 【?123】をタップして表示される数字・記号画面に【~】が表示されているときは、タップして他の記号を表示できます。

メール

メールを送受信する	30
メールについて	30
Eメールを利用する	30
Eメールの表示モードを切り替える.....	30
Eメールを送信する.....	33
Eメールを受信する.....	35
新着メールを問い合わせて受信する.....	36
Eメールを検索する.....	36
Eメールを会話モードで確認する.....	36
Eメールをフォルダモードで確認する.....	37
Eメールを設定する.....	40
Eメールをバックアップ／復元する.....	43
迷惑メールフィルターを設定する.....	44
SMSを利用する.....	45
SMSを送信する.....	45
SMSを受信する.....	46
SMSを検索する.....	46
SMSを削除する.....	46
SMSを設定する.....	47
SMS安心ロック機能を設定する.....	47
PCメールを利用する	47
PCメールのアカウントを設定する	47
PCメールを送る	48
PCメールを受け取る	48
PCメールに返信／転送する	48
PCメールを削除する	48
PCメールアプリ全般の設定を行う	48
Gmailを利用する	49
受信トレイを表示する	49
Gmailを更新する(新着メールを問い合わせる).....	49
Gmailを確認する	49
Gmailを送る	49
Gmailを受信する	49
Gmailに返信／転送する	49
スレッドを操作する	49
メール受信時の動作を設定する	50

メールを送受信する

メールについて

本製品では、以下のメールが利用できます。

Eメール(@ezweb.ne.jp)

Eメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます。

▶P.30「Eメールを利用する」

SMS

タブレットや携帯電話同士で電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。全角最大70／半角最大160文字まで送受信できます。

▶P.45「SMSを利用する」

PCメール

パソコンなどで利用しているメールアドレスのメールを送受信できます。

▶P.47「PCメールを利用する」

Gmail

Gmailは、Googleが提供するメールサービスです。本製品のGmailで送受信したメールを、パソコンなどのブラウザからも確認できます。また、ブラウザでGmailを操作すると本製品のGmailにも反映されます。

▶P.49「Gmailを利用する」

Eメールを利用する

Eメール(@ezweb.ne.jp)はEメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章のほか、フォトやムービーなどのデータを送ることができます。

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめEメールアドレスの初期設定を行なう必要があります。Eメールアプリの初回起動時に、画面の指示に従って初期設定を行なってください。

詳しくは、「設定ガイド」および「Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定を行う」(▶P.18)をご参照ください。

- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかつた方は、auショッピングまたはお客様センターまでお問い合わせください。

memo

◎Eメールの送受信は無線LAN(Wi-Fi[®])通信で利用できますが、初期設定はLTEデータ通信で行ってください。

◎Eメールは海外でもご利用になれます。詳しくは、「GLOBAL PASSPORT(グローバルパスポート)について」(▶P.98)をご参照ください。

◎Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合力タログおよびauホームページをご参照ください。

◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。

Eメールの表示モードを切り替える

相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードと指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

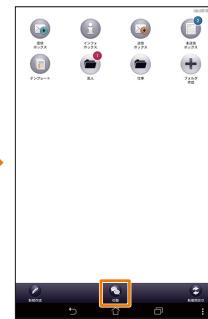
① ホーム画面で[]

② [切替]

表示モードが切り替わります。



《会話モード》



《フォルダモード》

memo

◎本書では会話モードでの操作を基準に説明しています。フォルダモードでは、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

会話モードでの画面の見かた

スレッド一覧画面の見かた

Eメールは、相手先ごとにまとめられたスレッドが一覧表示されます。



《スレッド一覧画面》

① すべて表示／お気に入り表示切替タブ

すべてのスレッド一覧、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。

② スレッド

- (赤色):新着Eメールあり
- (青色):未読Eメールあり

④ インフォボックス表示

インフォボックスメールを表示できます。

※新着メールや未読メールがある場合は、インフォボックスタブの右上に合計の件数が表示されます。

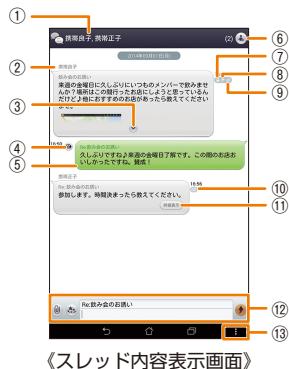
⑤ ★(黄色):お気に入り

★(灰色):お気に入り解除

⑥ アクションバー

⑦ メニューボタン

■ スレッド内容表示画面の見かた

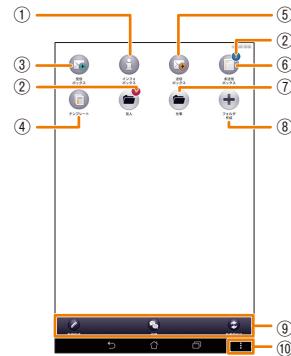


- ① スレッド名(相手先)
連絡先未登録の場合は、メールアドレスが表示されます。
- ② 受信したEメール
- ③ 続き表示ボタン
本文をすべて表示するときに使用します。
閉じるときは[▲]をタップします。
- ④ ②:送信予約Eメール
⑤ ②:自動再送信Eメール
- ⑤ 送信したEメール
- ⑥ 宛先一覧表示ボタン
送受信しているアドレスを一覧で表示します。宛先を追加・削除すると別のスレッドとして表示されます。
- ⑦ 保護されたEメール
- ⑧ フラグ付きEメール
- ⑨ 添付データあり
- ⑩ 送信者がBccやメーリングリストのアドレスを使用して送信した場合に表示されるアイコンです。
- ⑪ 詳細表示ボタン
Eメール詳細表示画面を表示します。
- ⑫ メール作成バー
- ⑬ メニューボタン

■ フォルダモードでの画面の見かた

■ フォルダー覧画面の見かた

フォルダー覧画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、[フォルダ作成]をタップしてフォルダを作成すると表示されます。



《フォルダ一覧画面》

- ① インフォボックス
- ② フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
- ③ 受信ボックス
- ④ テンプレート
- ⑤ 送信ボックス
- ⑥ 未送信ボックス
- ⑦ フォルダ
- ⑧ フォルダ作成
- ⑨ アクションバー
- ⑩ メニュー

- ⑭ 件名入力欄
[件名を非表示]に設定している場合は表示されません。
- ⑮ D絵文字ボタン
デコレーション絵文字やピクチャを入力するときに使用します。
- ⑯ 添付ボタン
データを添付するときに使用します。
- ⑰ 送信ボタン
- ⑱ 本文入力欄

■ Eメール一覧画面の見かた



- ① ●:未読のEメール
- ② ○:本文を未受信のEメール
- ③ ▲:サーバにメールがなく本文を受信できないEメール

② 件名

③宛先／差出人の名前またはEメールアドレス

Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。

受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。

連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。

※連絡先にEメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

- ④ ←:返信したEメール
- :転送したEメール
- ↔:返信／転送したEメール

⑤ 2行表示／本文プレビュー表示切替ボタン

⑥添付データあり

⑦保護されたEメール

⑧ フラグ付きEメール

⑨ アクションバー

⑩ メニューボタン

- ⑪ ←:返信のEメール
- :転送のEメール

- ⑫ ⏱:送信予約Eメール
- ✉:自動再送信Eメール

⑬送信に失敗したEメール

- ⑭受信／送信切替スライダー
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

memo

○横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■ Eメール詳細表示画面の見かた



①送信メール

To / CC / BCC:宛先の名前またはEメールアドレス

受信メール

From / CC:差出人の名前またはEメールアドレス

※宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。[?]をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。

②○:本文を未受信のEメール

▲:サーバにメールがなく本文を受信できないEメール

③送信メール

←:返信のEメール

→:転送のEメール

受信メール

←:返信したEメール

→:転送したEメール

↔:返信／転送したEメール

④Sub:件名

⑤添付データ(システムメモリ保存)

添付データ(ストレージ保存)

添付データ(ストレージ保存失敗)

インライン添付データ(システムメモリ保存)

インライン添付データ(ストレージ保存)

⑥未受信の添付データ

※添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。[?]をタップすると、他の添付データを表示できます。

⑥本文

⑦次のEメール／前のEメールを表示

※本文表示エリアを左右にフリックすることで、次のメール／前のメールを表示することもできます。

⑧添付データあり

⑨保護されたEメール

⑩フラグ付きEメール

⑪アクションバー

⑫メニュー ボタン

Eメールを送信する

1 ホーム画面で[]

2 [新規作成]

宛先入力画面が表示されます。

- 過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合はスレッドをタップしてEメールを送信することができます。その場合は、操作⑥へ進みます。

3 []

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

- 入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

4 アドレスの入力方法をタップ

アドレス帳引用	連絡帳のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	連絡帳のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 <ul style="list-style-type: none">グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。[Friends Noteでグループ作成]をタップすると、グループを作成することもできます。Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のFriends Noteアプリをauスマートパスからダウンロードしてください。
メール受信履歴引用	送信メール履歴／受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。
メール送信履歴引用	Eメールアドレスにチェックを付ける→[選択] <ul style="list-style-type: none">[]→[削除]→Eメールアドレスにチェックを付ける→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
プロフィール引用	プロフィールに登録されているEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け*	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

*クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

5 [作成]

スレッド内容表示画面が表示されます。

6 件名入力欄をタップ→件名を入力

件名は、全角333／半角100文字相当まで入力できます。

7 本文入力欄をタップ→本文を入力

本文は、全角3,333／半角10,000文字相当まで入力できます。

8 []→[送信]

■ フォルダモードでEメールを送信する場合

1 フォルダ一覧画面→[新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

2 []

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.33)の操作④をご参照ください。

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3 件名入力欄をタップ→件名を入力

件名は、全角333／半角100文字相当まで入力できます。

4 本文入力欄をタップ→本文を入力

本文は、全角3,333／半角10,000文字相当まで入力できます。

5 [完了]→[送信]→[送信]

memo

- デコレーションアニメには対応しておりません。
- 件名や本文には、半角カナおよび半角記号「ー(長音)」(濁点)・「。」(半濁点)・「」(入力できません)。
- 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To/Cc/Bccを含む。1件につき半角6文字以内)までです。
- 縦書きで送信した場合、auの旧縦文字に変換されることがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合、auの旧縦文字に変換される場合があります。
- 送信時確認表示は非表示に設定することもできます(▶P.42)。
- フォルダモードでは送信メール作成画面で[保存]をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
- あらかじめ[自動再送信](▶P.42)をオンにしておくと、メールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また、[送信予約]をタップすると、日時指定送信か、お客様のau電話が電波が届かない場所でメールを送信したい場合に圏内復帰時に自動送信することができます。

宛先を追加・削除する

■ 宛先を追加する場合

1 宛先入力画面→未入力のアドレス入力欄の[]をタップ

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.33)の操作④をご参照ください。

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■ 宛先を削除する場合

1 宛先入力画面→入力済みのアドレスの[]をタップ→[OK]

memo

- フォルダモードでは入力済みのアドレスの[]をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先の種類を変更することはできません。

送信予約をする

■ 会話モードで送信予約する場合

1 スレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 []→[送信予約]→[OK]

3 送信する日付を入力→[設定]

4 送信する時間を入力→[設定]

スレッド内容表示画面に[]が付いた送信予定のEメールが表示されます。

■ フォルダモードで送信予約する場合

1 フォルダモードの送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力→[完了]

2 [送信予約]→[OK]

3 送信する日付を入力→[設定]

4 送信する時間を入力→[設定]

未送信ボックスに[]が付いた送信予定のEメールが保存されます。

memo

- メールの自動送信は20件まで設定できます。
- 送信予約が設定されているメールを編集しようとしたり、指定した日時を変更しようとすると、一度送信予約が解除されます。
- 電波状況などにより、予約した日時に送信できない場合があります。
- 送信予約(日時指定)された日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
- 日時指定したメールがローミング中に送信された場合、料金が高額となる場合がありますのでご注意ください。
- 電波が届かない状態で送信予約をすると、日時指定送信か圏内復帰時に自動送信するかを選択することができます。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 スレッド内容表示画面→[添付]

2 添付するデータの種類をタップ

ストレージ	内部ストレージやmicroSDカードに保存しているデータを添付します。
ギャラリー(静止画)	ギャラリーの静止画データを添付します。
ギャラリー(動画)	ギャラリーの動画データを添付します。
カメラ(静止画)	フォトを撮影して添付します。
カメラ(動画)	ムービーを撮影して添付します。
その他	他のアプリを利用してデータを添付します。

■ 静止画データを添付する場合

3 リサイズするサイズをタップ

静止画データをリサイズして添付することができます。

memo

- ◎ 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
- ◎ フォルダモードではデータを添付したあとに、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。
- ◎ 添付データを削除するには、削除する添付データの[×]をタップします。

D絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 スレッド内容表示画面→[検索]

2 [D絵文字]／[ピクチャ]→[▲]

3 項目をタップ

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ 内部ストレージやmicroSDカードの絵文字を利用する場合

1 スレッド内容表示画面→[検索]

2 [microSD]→[ダウンロード]

3 項目をタップ

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	内部ストレージやmicroSDカードに保存されているデコレーション絵文字を検索し、表示します。

本文入力中にできること

1 スレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→[H]

2 必要な項目をタップ

検索	▶P.36「Eメールを検索する」 ・会話モードのときのみ選択できます。
送信予約	送信メール作成後、送信する日時を設定します。 ・会話モードのときのみ選択できます。 フォルダモードでは、送信メール作成画面のアクションバーで選択できます。
アドレス帳引用	連絡帳から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。

プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 [定型文] [冒頭文] [署名] ・冒頭文／署名はあらかじめ登録してください(▶P.42)。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。 ・フォルダモードのときのみ選択できます。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 [特大] [大] [中] [小] [極小]
完了	本文入力を終了し、送信メール作成画面に戻ります。 ・フォルダモードのときのみ選択できます。

フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾したり、テンプレートを使用して装飾メールを作成することができます。

■ 本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます(デコレーションメール)。

1 フォルダモードの送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [装飾]

デコレーションメニューが表示されます。

3 装飾の開始位置を選択→[選択開始]→[□]／[□]で終了位置を選択

[全選択]をタップして、すべての文字を選択することもできます。
[H]→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。

4 必要な項目を設定

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 [小さい] [標準] [大きい]
文字位置/効果	文字の位置や動きを指定します。 [左寄せ] [センタリング] [右寄せ] [点滅表示] [テロップ] [スwing]
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色*	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	内部ストレージやmicroSDカードに保存しているデータやギャラリーの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 [画像挿入] [ライン挿入]

*[冒頭文] [署名]編集時は選択できません。

5 [完了]→[送信]→[送信]

memo

- ◎ 本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。
- ◎ 本文には、最大20件(合計100KB以下)の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
- ※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
- ※挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
- ◎ 「Eメールにデータを添付する」(▶P.34)の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
- ◎ 装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
- ◎ 異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
- ◎ デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
- ◎ 会話モードでは、本文を装飾できません。

■速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したりフォント／背景色を変更し、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめauスマートパスから対応するアプリをダウンロードしてください。

- ・フォルダモードでのみ利用できます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [速デコ]

装飾結果プレビュー画面が表示されます。

[次候補]をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 [確定]

memo

○装飾結果プレビュー画面で[■]→[設定]と操作すると、速デコの設定を変更できます。

■テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

- ・フォルダモードでのみ利用できます。

1 フォルダ一覧画面で→[テンプレート]

テンプレート一覧画面が表示されます。

[■]→[ストレージから読み込み]と操作すると、内部ストレージおよびmicroSDカード内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

2 テンプレートをタップ→[メール作成]

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、以下の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知もEメール設定の[基本通知設定]（▶P.42）または[個別通知設定]（▶P.42）で設定を変更することができます。

- ・端末がスリープ状態でEメールを受信すると画面が点灯します。
- ・ロック画面上に通知ポップアップを表示することができます。



- ・ステータスバーに[■]が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
- ・ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ホーム画面で[■]

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。

- ・新着Eメールがあるスレッドには[●]（赤色）、未読Eメールがあるスレッドには[●]（青色）が表示されます。

3 確認するスレッドをタップ

受信したEメールを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

- ・確認するEメールをロングタッチ→[詳細表示]と操作するとEメール詳細表示画面が表示されます。

memo

○Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに[■]が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」（▶P.41）をオフに設定している場合は、バックグラウンド受信しません。

○「メール自動受信」（▶P.41）をオフに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り[■]が表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」（▶P.36）の操作を行い、Eメールを受信してください。

○受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。

○受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかつた旨のメッセージが表示されます。

○受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 添付データをタップ→[表示]

未受信の添付データは、添付データのファイル名をタップすると受信が開始されます。

受信完了後、もう一度添付データをタップ→[表示]と操作してください。

memo

○添付データをタップ→[ストレージへ保存]→保存先を選択→[保存]と操作すると、添付データを内部ストレージやmicroSDカードに保存できます。

○通常のEメール（テキストメール）では、添付データがオンライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。

※データによっては、オンライン再生されない場合があります。

○デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を内部ストレージやmicroSDカードに保存できます。

1 スレッド内容表示画面→本文をロングタッチ

2 [画像保存]

3 保存する画像にチェックを付ける

[全選択]をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 [保存先選択]

保存先選択画面が表示されます。既定の保存先として、内部ストレージ、またはmicroSDカードが挿入されている場合はmicroSDカードの[MyFolder]が表示されます。

5 保存先を選択→[保存]

選択した画像が保存されます。

memo

○保存先選択画面で[Up]をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。

○未受信の添付画像は保存できません。サーバから画像を受信してから操作してください（▶P.35）。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

■差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

- 1 スレッド内容表示画面／Eメール詳細表示画面を表示
- 2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ
- 3 項目をタップ

Eメール作成	選択したEメールアドレス宛のEメールを作成します。
アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを連絡帳に登録します。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加*	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 [新規振分けフォルダ作成]／[「×××」(×××はフォルダ名)に追加]→[保存] ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 [保存]をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は[再振分けする]をタップします。 ▶P.39「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.44「迷惑メールフィルターを設定する」

*フォルダモードのときのみ選択できます。

■件名をコピーする場合

- 1 Eメール詳細表示画面を表示
- 2 件名をタップ→[コピー]
- 本文中の電話番号を利用する場合
- 1 スレッド内容表示画面／Eメール詳細表示画面を表示
- 2 本文中の電話番号をタップ
- 3 項目をタップ

音声発信	IP通話アプリなどがインストールされていない場合は、「対応するアプリケーションが見つかりません。」と表示されます。
特番付加184	
特番付加186	
au国際電話サービス	
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.45「SMSを利用する」
アドレス帳登録	選択した電話番号を連絡帳に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■本文中のURLを利用する場合

- 1 スレッド内容表示画面／Eメール詳細表示画面を表示
- 2 本文中のURLをタップ
- 3 項目をタップ

開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

◎本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

[メール自動受信](▶P.41)をオフに設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

- 1 ホーム画面で[✉]

2 [新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

memo

◎スレッド内容表示画面で、メール作成バーより上の部分を上方へスクロールさせ、指を離しても新着メールを問い合わせて受信することができます。

Eメールを検索する

- 1 ホーム画面で[✉]

2 [🔍]→[全検索]

3 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

- 4 [🔍]

検索結果一覧画面が表示されます。

日時が新しいEメールから順に表示されます。

フォルダ一覧画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

memo

◎キーワード検索以外にも[📅]をタップし、検索条件のアイコンをタップしたり、日付を指定して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにEメールをスレッドにまとめて表示できます。新着のEメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

- 1 ホーム画面で[✉]

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。

・新着Eメールがあるスレッドには[●](赤色)、未読Eメールがあるスレッドには[●](青色)が表示されます。

2 確認するスレッドをタップ

スレッド内容表示画面が表示されEメールが確認できます。

スレッド一覧画面でできること

- 1 スレッド一覧画面→[≡]

2 項目をタップ

件名を表示／件名を非表示	件名の表示／非表示を設定します。
全検索	▶P.36「Eメールを検索する」
削除	選択したスレッドをすべて削除します。 削除するスレッドにチェックを付ける→[削除]→[削除] <ul style="list-style-type: none">スレッド内のEメールはすべて削除されます。[全選択] すべてのスレッドを選択することもできます。スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。[削除しない]をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。削除するスレッドをロングタッチ→[削除]→[削除]と操作しても削除できます。
Eメール設定	▶P.40「Eメールを設定する」

ヘルプ

Eメールのサービス概要や更新情報をブラウザで表示します。

スレッド内容表示画面でできること

1 スレッド内容表示画面→[H]

- 2 検索 ▶P.36「Eメールを検索する」

Eメールを個別に操作する

1 スレッド内容表示画面→操作するEメールをロングタップ

2 項目をタップ

詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
転送	転送するEメールを作成します。 <ul style="list-style-type: none">送信メール作成画面が表示されます。件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 <ul style="list-style-type: none">保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 <ul style="list-style-type: none">フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
削除	Eメールを削除します。
コピー	テキストをコピーします。
画像保存	オンライン画像を保存します。
文字コード	文字コードを変更します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※Eメールにより選択できる項目は異なります。

Eメールをフォルダモードで確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

■受信メールを確認する場合

1 ホーム画面で[H]→[切替]

Eメールのフォルダ一覧画面が表示されます。

- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。

2 [受信ボックス]または[フォルダを選択]

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール詳細表示画面が表示されます。

[返信]:返信のEメールを作成

[転送]:転送のEメールを作成

[保護]／[保護解除]:Eメールを保護／保護解除

[フラグ]／[フラグ解除]:Eメールにフラグを付ける／解除

:前のEメールを表示

:次のEメールを表示

■送信メールを確認する場合

1 ホーム画面で[H]→[切替]

Eメールのフォルダ一覧画面が表示されます。

2 [送信ボックス]または[フォルダを選択]

送信メール一覧画面が表示されます。

フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール詳細表示画面が表示されます。

[再送信]:同じEメールをもう一度送信

[コピー編集]:コピーして編集

[保護]／[保護解除]:Eメールを保護／保護解除

[フラグ]／[フラグ解除]:Eメールにフラグを付ける／解除

:前のEメールを表示

:次のEメールを表示

■未送信ボックスのEメールを確認する場合

1 ホーム画面で[H]→[切替]

Eメールのフォルダ一覧画面が表示されます。

- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます（送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります）。

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。

- 送信に失敗したEメールをロングタッチ→「送信失敗理由」と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。

- 日時指定した送信予約メールをロングタッチ→「送信予約情報」と操作すると、送信日時を確認できます。送信日時を編集すると、一度送信予約は解除されます。

- 送信予約メールをロングタッチ→「送信予約解除」→「解除」と操作すると、送信予約が解除されます。

3 Eメールをタップ

未送信メール詳細表示画面が表示されます。

[送信]:Eメールを送信

[編集]:Eメールを編集

[コピー編集]:保護されたEメールをコピーして編集

[保護]／[保護解除]:Eメールを保護／保護解除

[フラグ]／[フラグ解除]:Eメールにフラグを付ける／解除

:前のEメールを表示

:次のEメールを表示

memo

- ◎宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
- ◎受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
- ◎受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
- ◎送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。
- ◎受信したインフォボックスメールは、インフォボックスに保存されます。インフォボックスメールは返信／転送ができません。

Eメールを個別に操作する

1 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面で操作するEメールをタップ

2 項目をタップ

Eメール一覧画面でできること

1 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→[■]

2 項目をタップ

検索	▶P.36「Eメールを検索する」
移動	Eメールを移動します。 移動するEメールにチェックを付ける→[移動]→移動先のフォルダをタップ ・あらかじめフォルダを作成してください(▶P.39)。 ・[全選択]をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
削除	Eメールを削除します。 削除するEメールにチェックを付ける→[削除]→[削除] ・[全選択]をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 ・保護されたEメールは選択できません。
保護／解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 保護／解除するEメールにチェックを付ける→[保護]／[解除] ・[全選択]をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 ・受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 ・送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 フラグを付ける／外すEメールにチェックを付ける→[つける]／[解除] ・[全選択]をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
その他	ストレージへ保存 Eメールを保存します。 microSDカードが取り付けられている場合はmicroSDカードに、取り付けられていない場合は内部ストレージに保存します。 保存するEメールにチェックを付ける→[保存] ・[全選択]をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 ・保存したEメールは、[Eメール設定]の[バックアップ・復元]で本製品に読み込むことができます(▶P.43)。
フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶P.39「フォルダを作成／編集する」
選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 本文を受信するEメールにチェックを付ける→[受信] ・[全選択]をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
Eメール設定	▶P.40「Eメールを設定する」

※画面により選択できる項目は異なります。

2 項目をタップ

返信	Eメールに返信します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 ・宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。
全員に返信	同報されている全員に返信します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	転送するEメールを作成します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
送信	未送信のEメールを送信します。 ・宛先がないEメールでは表示されません。
編集	未送信のEメールを編集して送信します。 ・送信メール作成画面が表示されます。
コピー／編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 ・送信メール作成画面が表示されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 ・保護されているEメールでは[保護解除]をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 ・フラグ付きのEメールでは[フラグ解除]をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
送信予約情報	送信予約日時を確認します。
送信予約解除	送信予約を解除します。
削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 移動先のフォルダを選択 ・あらかじめフォルダを作成してください(▶P.39)。
拒否リスト登録	差出人のEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.44「迷惑メールフィルターを設定する」

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメール詳細表示画面でできること

1 受信メール詳細表示画面／送信メール詳細表示画面→[■]

2 項目をタップ

転送	転送するEメールを作成します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
移動	Eメールを移動します。 移動先のフォルダを選択 ・あらかじめフォルダを作成してください(▶P.39)。
削除	Eメールを削除します。

本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または[]/[]でカーソルを移動→[選択開始]→[]/[]で選択範囲を指定→[コピー] ・Eメール詳細表示画面で本文をロングタッチ→[本文選択]と操作しても本文選択画面を表示できます。 ・本文選択画面をロングタッチ→[]/[]をドラッグして選択範囲を指定→[コピー]と操作することもできます。 ・[全選択]をタップすると、本文全体を選択できます。 ・絵文字やインライン画像もコピーできます。 ・一部の装飾(文字位置/効果/背景色)はコピーされません。
文字サイズ	本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 [特大]/[大]/[中]/[小]/[極小] ・Eメール詳細表示画面を閉じると、[受信/表示設定]で設定した文字サイズに戻ります。
その他	ストレージへ保存 Eメールを保存します。microSDカードが取り付けられている場合はmicroSDカードに、取り付けられない場合は内部ストレージに保存します。 ・保存したEメールは、[Eメール設定]の[バックアップ/復元]で本製品に読み込むことができます(▶P.43)。
	文字コード 本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 [ISO-2022-JP]/[Shift_JIS]/[UTF-8]/[EUC-JP]/[ASCII] ・変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。
	本文受信 本文未受信メールを表示した際、本文受信を開始します。
	共有 データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

*画面により選択できる項目は異なります。

■ フォルダ一覧画面でできること

1 フォルダ一覧画面→[H]

2 項目をタップ

検索	▶P.36「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.39「フォルダを作成/編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 削除するフォルダにチェックを付ける→[削除]→[削除] ・ロックされたフォルダは選択できません。 ・フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたメールの削除を確認する画面が表示されます。[削除しない]をタップすると、保護されたメールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 ・ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
Eメール設定	▶P.40「Eメールを設定する」
ヘルプ	Eメールのサービス概要や更新情報をブラウザで表示します。

■ フォルダを作成/編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

1 フォルダ一覧画面→[フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8/半角16文字まで入力できます。

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ

4 アイコンを選択→カラーを選択→[OK]→[保存]

■ フォルダ画像を設定する場合

1 フォルダ一覧画面→[フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8/半角16文字まで入力できます。

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ→[ギャラリーから写真を選択]→アプリを選択

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]→[保存]

memo

◎最大20個のフォルダを作成できます。

■ フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに[メールアドレス]/[ドメイン]/[件名]/[アドレス帳登録外]/[不正なメールアドレス]の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信/送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

■ 振分け条件を追加する場合

1 フォルダ一覧画面→[H]→[フォルダ編集]→フォルダをタップ

フォルダ編集画面が表示されます。

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 [振分け条件追加]→[]

3 登録する振分け条件の種類をタップ

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 Eメールアドレスを入力→[OK]→[保存] ・[]をタップすると、[アドレス帳用]/[アドレス帳グループ用]/[メール受信履歴用]/[メール送信履歴用]/[プロファイル用]/[貼り付け]から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。 ※[貼り付け]はクリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 ドメインを入力→[OK]→[保存] ・[]をタップすると、[アドレス帳用]/[メール受信履歴用]/[メール送信履歴用]/[プロファイル用]/[貼り付け]から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。 ※[貼り付け]はクリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 件名を入力→[OK]→[保存] ・件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

■ アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

1 フォルダ一覧画面→[■]→[フォルダ編集]→フォルダをタップ

フォルダ編集画面が表示されます。

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 [アドレス帳登録外]／[不正なメールアドレス]にチェックを付ける→[保存]

memo

○振分け条件を設定／編集して[保存]をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、[再振分けする]をタップします。

○全フォルダで[メールアドレス]／[ドメイン]／[件名]を合わせて最大400件登録できます。

○同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。

○[振分け条件設定]の一覧で、追加した条件の右横にある[?]をタップして、条件を編集したり削除することができます。

○振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。

○一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス／ドメイン／件名／その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン／2番目のメールアドレス／ドメイン…>最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音や通知方法を設定できます。

1 フォルダ一覧画面→[■]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダをタップ

フォルダ編集画面が表示されます。

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 [フォルダ別設定]

3 必要な項目を設定

着信音	OFF Eメールプリセット 着信音 ストレージから探す その他	着信音が鳴りません。 Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。 端末本体にプリセットされている着信音、通知音を設定します。 内部ストレージやmicroSDカードの音楽を着信音に設定します。 他のアプリを利用して着信音を設定します。
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 [一曲鳴動]／[時間設定] ・[時間設定]を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.35[Eメールを受信する]	
メール受信時の画面点灯	Eメールを受信したときにスリープ解除し画面を点灯するかを設定します。 ▶P.35[Eメールを受信する]	

4 [OK]→[保存]

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。

あらかじめ[Eメール設定]の[パスワード設定]でフォルダロック解除パスワードを設定してください(▶P.40)。

1 フォルダ一覧画面→[■]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダをタップ

フォルダ編集画面が表示されます。

2 [フォルダロック]→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]

[フォルダロック]にチェックが付きます。

フォルダ編集画面で[フォルダロック]のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 [保存]

■ フォルダを並べ替える

1 フォルダ一覧画面→移動するフォルダをロングタッチ

画面上部に[選択したフォルダの場所を移動できます。]が表示されます。

2 移動する位置にドラッグ

memo

○作成したフォルダ以外は移動できません。

Eメールを設定する

1 ホーム画面で[?]→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

3 必要な項目を設定

受信・表示設定		▶P.41「受信・表示に関する設定をする」
送信・作成設定		▶P.42「送信・作成に関する設定をする」
通知設定	基本通知設定	▶P.42「通知に関する設定をする」
	個別通知設定	▶P.42「個別の通知に関する設定をする」
添付ファイル保存設定*	保存場所の設定	メールにファイルが添付されているとき、添付ファイルが自動的に保存される場所を選択します。 本体メモリに保存: システムメモリに保存する。 ストレージに保存: 内部ストレージに保存する。
	添付ファイル一括移動	自動的に保存された添付ファイルを別の場所にまとめて移動します。 ストレージへ一括移動: システムメモリから内部ストレージに移動する。 本体メモリへ一括移動: 内部ストレージからシステムメモリに移動する。

プライバシー設定	パスワード設定／パスワード変更	<p>フルダロック、シークレット機能のパスワードを設定／変更します。</p> <p>フルダロック解除パスワード(4～16文字の英数字)を入力→[OK]→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問を選択→[OK]→ひみつの質問の回答を入力→[OK]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 ・フルダロックを解除時に、パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	<p>パスワードをリセットします。</p> <p>フルダロック解除パスワードを入力→[OK]→[リセット]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスワード未設定の場合は選択できません。 ・パスワードをリセットすると、フルダロック、シークレット機能も解除されます。
	シークレット	<p>シークレット機能の有効／無効を設定します。</p> <p>パスワードを入力→[OK]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表示されるシークレットモードの説明をよくお読みになりご利用ください。 ・パスワード未設定の場合は設定できません。 ・シークレット機能を有効／無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。
アドレス変更・その他の設定	▶P.43「アドレスの変更やその他の設定をする」	
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。	
バックアップ・復元	▶P.43「Eメールをバックアップ／復元する」	
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ・Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。

※受信／送信／未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減することができます。本操作の「添付データ」はファイル検索に行ってもデータを確認することができません。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付データを受信・再生する」(▶P.35)にてご確認ください。

受信・表示に関する設定をする

① Eメール設定画面→[受信・表示設定]

② 必要な項目を設定

メール自動受信	サーバに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバに到着したことをお知らせします。	
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	指定全受信*	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。
	アドレス帳:	連絡帳に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。
	個別アドレスリスト:	[個別アドレスリスト編集]で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。
	個別アドレスリスト編集:	個別アドレスを登録する。
		・[+]をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ※[貼り付け]はクリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。
		・登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの[×]→[削除]と操作します。
	差出人・件名受信*	差出人・件名のみを受信します。
添付自動受信	受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。	
添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 [100KB] [500KB] [1MB] [2MB]	
アドレス帳登録名表示	連絡帳に登録された名前を表示するかどうかを設定します。	
文字サイズ	Eメール詳細表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 [特大] [大] [中] [小] [極小]	
テーマ設定	Eメールアプリの画面デザインを設定します。	
背景画像設定	背景画像(縦画面)	表示モードの背景画像を設定します。 [設定する]→アプリを選択→画像を選択→[切り抜き]
	背景画像(横画面)	

※差出人・件名のみを受信したEメールは、受信メール一覧画面でEメールをタップすると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール詳細表示画面が表示されたときは、[+]→[その他]→[本文受信]と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところで行ってください。

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[送信・作成設定]

2 必要な項目を設定

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 【設定する】→返信先のEメールアドレス(半角64文字まで)を入力→[OK]
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 【設定する】→差出人名称(全角8／半角24文字相当まで)を入力→[OK]
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 【設定する】→冒頭文(全角833／半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定] ・冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 ・会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ→[■]→[挿入]→[冒頭文]と操作して挿入してください。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 【設定する】→署名(全角833／半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定] ・署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 ・会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ→[■]→[挿入]→[署名]と操作して挿入してください。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。 ・会話モードでご利用の場合、チェックを付けてオンに設定していても受信メールの内容は引用されません。
送信時確認表示	誤送信を防ぐために、送信時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
自動再送信	送信に失敗したメールを自動的に再送信するかどうかを設定します。
宛先候補表示	宛先入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[通知設定]→[基本通知設定]

2 必要な項目を設定

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
着信音	着信音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音をセットします。
通知音	ストレージから探す	内部ストレージやmicroSDカードの音楽を着信音に設定します。
その他	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 [一曲鳴動] [時間設定] ・[時間設定]を選択した場合は、1~60秒の範囲で指定します。	
ステータスバー通知	Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンと共に差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかを設定します。 [差出人・件名] [差出人] [通知のみ] [OFF]	
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。 ※本製品はバイブレーション機能を搭載していないため、この設定は無効です。	
通知ポップアップ	ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.35「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメールを受信したときにスリープ解除し画面を点灯するかを設定します。 ▶P.35「Eメールを受信する」	
電源キー押下による着信音鳴動停止	着信音鳴動中に、()を押すことによる画面点灯または消灯を契機に鳴動を停止するかどうかを設定します。	

個別の通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[通知設定]→[個別通知設定]

2 [新規設定]

3 [アドレス帳引用]／[メール受信履歴引用]／[メール送信履歴引用]→設定するアドレスにチェックを付ける→[選択]

4 必要な項目を設定

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
着信音	着信音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音をセットします。
通知音	ストレージから探す	内部ストレージやmicroSDカードの音楽を着信音に設定します。
その他	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 [一曲鳴動] [時間設定] ・[時間設定]を選択した場合は、1~60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかを設定します。 ▶P.35「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメールを受信したときにスリープ解除し画面を点灯するかを設定します。 ▶P.35「Eメールを受信する」	

アドレスの変更やその他の設定をする

① Eメール設定画面→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]

② 必要な項目を設定

Eメールアドレスの変更へ	EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 <ol style="list-style-type: none">暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信][承諾する]Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK] <ul style="list-style-type: none">Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「_」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルターの設定/確認へ	オススメの設定はこちら ►P.44「迷惑メールフィルターを設定する」
自動転送先の設定へ	受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 <ol style="list-style-type: none">暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→[送信]→[閉じる] <ul style="list-style-type: none">自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 <p>※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。</p> <ul style="list-style-type: none">[エラー！Eメールアドレスを確認してください。]と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。自動転送メールが送信エラーとなつた場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールをバックアップすることができます。また、バックアップしたデータは本製品へ読み込むことができます。

memo

◎本製品ではバックアップしたデータは、microSDカードが取り付けられている場合はmicroSDカード(/Removable/MicroSD/private/au/email/BU)に、取り付けられていない場合は内部ストレージ(/sdcard/private/au/email/BU)に保存されます。

Eメールをバックアップする

メールデータ(メール本文・添付ファイル)をバックアップすることができます。

① Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

② [メールデータバックアップ]→[OK]

- microSDカードが取り付けられている場合は、バックアップデータをmicroSDカードに保存できます。

③ 生成する文字コードを選択→[OK]

文字コードについては[ヘルプ]をタップして確認してください。

④ バックアップするメール種別にチェックを付ける→[OK]

フォルダモードではバックアップするフォルダを選択します。ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

バックアップデータを復元する

バックアップしたメールデータ(メール本文・添付ファイル)を復元することができます。

① Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

② [メールデータ復元]

③ [受信メール]／[送信メール]／[未送信メール]／[ストレージから探す]→[OK]

④ 復元するバックアップデータにチェックを付ける→[OK]

[全選択]をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
[Up]をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
[MyFolder]をタップするとMyFolderを開くことができます。

⑤ [追加保存]／[上書き保存]→[OK]

[上書き保存]を選択した場合は、確認画面で[OK]をタップします。

memo

- 添付されたデータもバックアップできます。
※バックアップしたファイルサイズが端末本体に保存可能なサイズを超過した場合はバックアップできません。不要な添付ファイル付メールを削除したうえで再度バックアップを行ってください。
- メールデータのバックアップでは、シークレット機能を有効にし、シークレット機能が一時解除されている状態ではバックアップ、復元がご利用いただけません。シークレット機能を無効にしたうえでバックアップ、復元の操作を行っていただくか、まとめてバックアップをご利用ください。
- シークレット機能を有効にしてバックアップを行うと、シークレット対象のメールはバックアップされませんのでご注意ください。
- バックアップしたメールデータを復元する際に[上書き保存]を選択した場合は、保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メールも削除されます)、バックアップしたメールデータを復元します。
- 復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得することはできません。

Eメールをまるごとバックアップする

Eメールアプリに保存されているメールデータ(メール本文・添付ファイル)、Eメール設定、振分け条件を、まるごとバックアップすることができます。

シークレット対象のメールデータもバックアップできます。

1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

2 [まるごとバックアップ]

バックアップしたデータは、microSDカードが取り付けられている場合は、microSDカードに保存されます。

まるごとバックアップデータを復元する

まるごと復元を実施すると、現在Eメールアプリに保存されているメールデータ(本文・添付ファイル)、Eメール設定、振分け条件をすべて消去し、復元します。

1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

2 [まるごと復元]

3 復元するバックアップデータにチェックを付ける→[OK]

■復元前にメールデータがない場合

4 [OK]

■復元前にメールデータをバックアップする場合

4 [バックアップ]→[OK]

シークレット機能を有効にしてメールデータバックアップを行うと、シークレット対象のメールはバックアップされません。

5 生成する文字コードを選択→[OK]

文字コードについては[ヘルプ]をタップして確認してください。

6 バックアップするメール種別にチェックを付ける→[OK]

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

7 [OK]→[OK]→[OK]

■復元前にメールデータをバックアップしない場合

4 [まるごと復元]→[OK]→[OK]

memo

◎まるごと復元が完了するとEメールアプリが再起動します。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりますしてくるEメールを拒否する機能があります。

■おすすめの設定にする場合

1 Eメール設定画面→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]

2 [オススメの設定はこちら]→[OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■詳細を設定する場合

1 Eメール設定画面→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]

2 [迷惑メールフィルターの設定/確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

3 必要な項目を設定

オススメ設定	オススメ設定へ	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リスト・アドレス帳受信設定へ	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 <ul style="list-style-type: none">受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールをすべてブロックする場合は、[携帯/PHSのみ受信設定]を[設定する]に設定し、さらに[携帯/PHS等の事業者毎に受信/拒否設定する場合はコチラ]の[事業者毎の設定]ですべての事業者を[受信しない]に設定してください。 <p>アドレス帳受信設定へ: Friends Noteもしくはauアドレス帳に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。</p>
	拒否リスト設定へ	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯/PHSのみ受信設定へ	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯/PHS事業者ごとにメールを一括で受信/拒否します。

個別設定	上記以外の個別設定へ	迷惑メールおまかせ規制: メールサーバーで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 なりすまし規制: 送信元のアドレスを偽って送信してくれるメールの受信を拒否します。 (高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※なりすまし規制回避リスト設定により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信することができます。 HTMLメール規制: メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 URLリンク規制: 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 ウィルスメール規制: 添付ファイルがウィルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。 拒否通知メール返信設定: 過去のメールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するための設定項目です。 ※以前ご利用の携帯電話で[返信しない]に設定している場合にのみ表示され、「返信する」の選択のみ可能です。
	一括解除	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除します。

※[ヘルプ]をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。

※最新の設定機能は、auのホームページでご確認ください。

http://www.au.kddi.com/ → [迷惑メールでお困りの方へ] → [迷惑メール防止方法] → [迷惑メールフィルター機能]

memo

- 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
 - なりすまし規制回避リスト設定>なりすまし規制>拒否リスト設定>受信リスト設定>アドレッセ帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>携帯/PHSのみ受信設定>迷惑メールおまかせ規制>ウィルスメール規制
 - [なりすまし規制回避リスト設定]は、自動転送してきたEメールが[なりすまし規制]の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスをなりすまし規制回避リストに登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
 - ※Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メールマガジン)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
 - [拒否通知メール返信設定]は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に[返信する]に設定されます。なお、[返信する]に設定している場合でも、[なりすまし規制]および[迷惑メールおまかせ規制]でブロックされたメールには返信されません。
 - [URLリンク規制]を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
 - [HTMLメール規制]を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは[HTMLメール規制]を設定している場合でも受信できます。
 - [なりすまし規制]は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
 - ※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを[なりすまし規制回避リスト]に登録してください。

■ パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「迷惑メールフィルター設定へ」を選択し、au IDとパスワードを入力してください。

※au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。

SMSを利用する

タブレットや携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージがれます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 ホーム画面で[SMS]→[SMS]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [SMS]

SMS作成画面が表示されます。

- ・同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、操作④へ進みます。

3 [宛先を入力]→相手の電話番号を入力

[SMS]→連絡帳から相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。

- ・海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

「0」「1」「0」+国番号+相手先電話番号

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。
※連絡帳などから相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 [メッセージを入力]→本文を入力

本文は、全角70／半角160文字まで入力できます。

5 [送信]

送信したメッセージをロングタッチ→[送達確認結果]と操作すると送信結果を確認できます。

memo

- メッセージ送信前に[SMS]をタップして、スレッド一覧画面に戻ると「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。
- SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

○蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

- 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。
- 絵文字を他社のタブレットや携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なるタブレットや携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
- SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに[未]が表示される場合があります。
- 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ステータスバーに[SMS]が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面で[■]→[SMS]

未読のSMSがある場合は、スレッドに[NEW]が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

memo

○ SMSの受信は、無料です。

○ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。

○ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

SMSを返信／転送する

■ 返信する場合

1 ホーム画面で[■]→[SMS]

2 返信するスレッドをタップ

3 [メッセージを入力]→本文を入力

4 [送信]

■ 転送する場合

1 ホーム画面で[■]→[SMS]

2 転送するスレッドをタップ

3 転送するメッセージをロングタッチ

オプションメニューが表示されます。

4 [転送]

5 [宛先を入力]→相手の電話番号を入力

[■]→連絡帳から相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。

6 本文を編集

メッセージ入力欄には転送するメッセージが入力されています。必要に応じて編集してください。

7 [送信]

電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

■ 本文中の電話番号を利用する場合

1 スレッド内容表示画面を表示

2 本文中の電話番号をタップ

3 SMSを作成

■ 本文中のEメールアドレスを利用する場合

1 スレッド内容表示画面を表示

2 本文中のEメールアドレスをタップ

3 アプリを選択してEメールを作成

■ 本文中のURLを利用する場合

1 スレッド内容表示画面を表示

2 本文中のURLをタップ

3 アプリを選択してURLのページを表示

memo

○ 本文中に電話番号やURLを含むSMSを受信するには、SMS安心ブロック機能を解除する必要があります(▶P.47「SMS安心ブロック機能を設定する」)。

SMSを保護／保護解除する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

3 [保護]／[保護解除]

保護したメッセージには[■]が表示されます。

SMSの電話番号を連絡先に登録する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 [H]→[アドレス帳への登録]

連絡先の選択画面が表示されます。

- ・スレッド一覧画面で登録する相手先の[■]→[はい]と操作しても連絡先の選択画面が表示されます。

3 [新しい連絡先を作成]→[アカウントを選択]

連絡先の登録画面が表示されます。

4 各項目を入力→[完了]

SMSを検索する

1 スレッド一覧画面→[Q]→キーワードを入力→[Q]

検索結果一覧画面が表示されます。

- ・半角と全角を区別して入力してください。

SMSを削除する

■ 1件削除する場合

1 ホーム画面で[■]→[SMS]

2 削除するメッセージがあるスレッドをタップ

3 削除するメッセージをロングタッチ

4 [削除]→[削除]

■ スレッドごと削除する場合

1 ホーム画面で[■]→[SMS]

2 削除するスレッドをロングタッチ→[削除]

確認画面が表示されます。

- ・保護されたメッセージがあるスレッドを削除する場合は、[保護されたメッセージも削除されます。]にチェックを付けます。

3 [削除]

■ 複数のスレッドを削除する場合

1 ホーム画面で[■]→[SMS]

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 続けて削除するスレッドをタップ

4 [削除]

確認画面が表示されます。

- ・保護されたメッセージがあるスレッドを削除する場合は、[保護されたメッセージも削除されます。]にチェックを付けます。

5 [削除]

■ すべてのスレッドを削除する場合

1 ホーム画面で[■]→[SMS]

2 [H]→[全てのスレッドを削除]

確認画面が表示されます。

- ・保護されたメッセージがあるスレッドを削除する場合は、[保護されたメッセージも削除されます。]にチェックを付けます。

3 [削除]

SMSを設定する

1 ホーム画面で[]→[SMS]

2 []→[設定]

SMS設定メニューが表示されます。

3 必要な項目を設定

通知設定	SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 ※本製品はバイブレーション機能を搭載していないため、この設定は無効です。
LED	SMS受信時に通知LEDを点滅するかどうかを設定します。 ※本製品には通知LEDがないため、この設定は無効です。
文字サイズ	本文の文字サイズを設定します。 [特大] [大] [中] [小] [極小]
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。
受信フィルター	►P.47「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したSMSの時間の左横にチェックを入れるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。

memo

◎操作②の後、[]→[初期値に戻す]→[はい]と操作すると、初期値に戻すことができます。

SMS安心ブロック機能を設定する

SMS安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMSを受信拒否する機能です。

memo

◎SMS安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。

◎ブロック対象のSMSは、通常のSMS(ぶりヘイド送信含む)です。

■ SMS安心ブロック機能の設定方法

SMS安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMSを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMSを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMSを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMSを送信する。

※設定時のSMS送信は無料です。

※設定完了の案内SMSは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■ SMS安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMSがSMS安心ブロック機能により受信拒否された場合は、送信したメッセージに[]が表示され送信されません。

PCメールを利用する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

PCメールのアカウントを設定する

PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。

・アカウント情報については、サービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。

1 ホーム画面で[]→[メール]

初めて起動したときは、PCメールのアカウントを設定します。

2 メールプロバイダを選択→メールアドレスとパスワードを入力→[次へ]

自動的にメールサーバーの設定が行われます。

・[手動セットアップ]をタップした場合や、[次へ]をタップしても自動的に設定できない場合は、手動で設定してください。

3 必要な項目を設定→[次へ]

4 アカウント名とあなたの名前を入力→[次へ]

受信トレイが表示され、設定したアカウントのメールが受信されます。

memo

◎[あなたの名前]は、メールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名前です。

◎メールプロバイダによっては、操作が異なる場合があります。

別のPCメールアカウントを設定する

1 ホーム画面で[]→[メール]→[]→[設定]→[]

詳しくは、「PCメールのアカウントを設定する」(►P.47)をご参照ください。

memo

◎複数のPCメールアカウントを設定している場合、画面左上の[]→[統合ビュー]と操作すると、すべてのアカウントの送受信メールや下書きなどが各トレイ画面に統合して表示されます。

アカウントの設定を変更する

1 ホーム画面で[]→[メール]→[]→[設定]

2 設定するアカウントをタップ

3 必要な項目を設定

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前を変更します。
署名	メール送信時の署名を設定します。
クリック返信	メール作成時によく使う文章を登録します。
常に私にCc/Bccでメールのコピーを送る	このアカウントから送信するすべてのメールのCcまたはBccに、このアカウントを自動的に追加するかどうかを設定します。
優先アカウントにする	PCメールアカウントが複数設定されている場合に、メールを作成するときの優先アカウントに設定します。
メールを同期する期間	メールサーバーから本製品にダウンロードするメールの期間を設定します。
受信トレイの確認頻度	新着メールを自動受信する間隔を設定します。
添付ファイルのダウンロード	無線LAN(Wi-Fi®)接続時に添付ファイルを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。
写真を表示	受信したメールに写真が含まれる場合に、自動的に表示するかどうかを設定します。
メール着信通知	メール受信時、ステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	メール受信時の音を設定します。
受信設定	受信メールサーバーを設定します。
送信設定	送信メールサーバーを設定します。
アカウントを削除	アカウントを削除します。

※アカウントの種類により設定できる項目は異なる場合があります。

アカウントを削除する

1 ホーム画面で[]→[メール]→[]→[設定]

2 削除するアカウントをタップ

3 [アカウントを削除]→[OK]

PCメールを送る

1 ホーム画面で[]→[メール]

- 別のメールアカウントでメールを作成する場合は、画面左上の[]→メールを作成するアカウントをタップします。

2 []

3 [To]→宛先を入力

- [+]をタップすると、連絡帳からメールアドレスを選択できます。
CcまたはBccを追加するには、[Cc/Bccを追加]をタップしてCc欄とBcc欄に宛先を入力します。
- 入力した宛先をタップすると、削除/CcやBccへの移動などができるます。

4 [件名]→件名を入力

- 必要に応じて[]→添付するファイルを選択します。

5 本文入力欄をタップ→本文を入力

6 []

memo

◎メール作成中に[]→[後で編集する]と操作すると、メールを送信せずに下書きとして保存できます。

◎下書きとして保存したメールは、各トレイ画面で[]→[下書き]→下書きメールをタップすると表示できます。

◎送信したメールは、本製品からのメールでもパソコンからのメールとして扱われます。受信する機器でパソコンからの受信を拒否する設定にしていると、メールが届きません。

PCメールを受け取る

1 ホーム画面で[]→[メール]

受信トレイ画面が表示されます。

- 別のメールアカウントのPCメールを受信する場合は、画面左上の[]→PCメールを受信するメールアカウントをタップします。

2 受信トレイ画面の中央から下方向にスライド

[下にスワイプして更新]が表示されるまでスライドし、指を離します。PCメールを受信すると、メール受信音が鳴ります。

3 受信したPCメールをタップ

memo

◎受信トレイ画面で[]をタップしても新着メールの有無を確認できます。

◎PCメールのアカウント設定で[メール着信通知]にチェックを付けている場合、新着メールの受信を通知する[]がステータスバーに表示されます。メールを確認するには、ステータスバーの通知アイコン表示エリアを下方向にスライド→PCメールの情報をタップします。

添付ファイルをダウンロードする

1 受信トレイ画面で添付ファイル付きのメールをタップ

2 []

添付ファイルがダウンロードされ、完了すると[]が表示されます。添付ファイルをタップすると、対応するアプリで閲覧することができます。

memo

◎ダウンロードした添付ファイルは、内部ストレージ(/sdcard/Download)に保存されます。

PCメールに返信／転送する

1 受信トレイ画面で返信／転送するPCメールをタップ

2 []／[]／[]

3 メールを作成して送信

詳しくは、「PCメールを送る」(▶P.48)をご参照ください。

memo

◎受信トレイ画面で返信／転送するPCメールをロングタッチ→[返信]／[全員に返信]／[転送]と操作しても、返信／転送できます。

PCメールを削除する

1 各トレイ画面で削除するPCメールをロングタッチ→[削除]

memo

◎各トレイ画面で削除するPCメールをタップ→[]と操作しても削除できます。

◎複数のメールを削除するには、各トレイ画面で削除するPCメールにチェックを付ける→[]と操作します。

PCメールアプリ全般の設定を行う

1 ホーム画面で[]→[メール]→[]→[設定]

2 [全般]

3 必要な項目を設定

自動表示	メッセージを削除した後に表示する画面を設定します。
ダウンロードができないファイルの種類	ブロックされたファイル形式のデータをダウンロードするかどうかを設定します。
受信者の電子メールを保存する	一度送受信した宛先を、次回からの宛先入力時に候補として表示するかどうかを設定します。
バージョン情報等	利用中のバージョンを表示します。

Gmailを利用する

Gmailは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの送受信などができます。

- ・Gmailを利用するには、Googleアカウントが必要です。Googleアカウントの設定方法については、「Googleアカウントを設定する」(▶P.17)をご参照ください。
- ・利用方法の詳細については、Gmail起動中に[?]→[ヘルプ]と操作してGmailのヘルプをご確認ください。

受信トレイを表示する

1 ホーム画面で[?]→[Gmail]

受信トレイの[メイン]カテゴリのスレッド一覧画面が表示されます。
・複数のメールアカウントを登録している場合は、画面左上の[?]→操作するアカウントをタップすると、指定したアカウントの受信トレイが表示されます。
・受信トレイのカテゴリを切り替えるには、画面左上の[?]→表示するカテゴリをタップします。

■ メッセージスレッドについて

Gmailでは、返信ごとにメールをスレッドにまとめて表示します。新着のメールが既存のメールへの返信メールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。新規のメールや既存のメールの件名を変更した場合は、新しいスレッドが作成されます。

Gmailを更新する(新着メールを問い合わせる)

Gmailアカウントの同期をオフに設定している場合や、メールの受信に失敗した場合はGmailを更新します。

1 受信トレイで画面中央から下方向にスライド

memo

- ◎更新すると、本製品のGmailとWebサイトのGmailを同期します。そのため、WebサイトのGmailで削除したメールが本製品のGmailから削除されるなど、新着メールの問い合わせ以外の動作も発生します。
- ◎Gmailを自動で更新するには、ホーム画面で[?]→[アカウント]の[Google]→設定するGoogleアカウントをタップ→[Gmail]にチェックを付けます。

Gmailを確認する

1 スレッド一覧画面左上の[?]→確認するメールのラベル(種類)をタップ

- ・画面左から右へスライドして操作することもできます。

Gmailを送る

1 スレッド一覧画面で[?]

2 [To]→宛先を入力

- ・CcまたはBccを追加するには、[CC/BCCを追加]をタップしてCc欄とBcc欄に宛先を入力します。

3 [件名]→件名を入力

- ・必要に応じて[?]→添付するファイルを選択します。

4 [メールを作成します]→本文を入力

5 [?]

memo

- ◎送信したメールは、本製品からのメールでもパソコンからのメールとして扱われます。受信する機器でパソコンからの受信を拒否する設定をしていると、メールが届きません。

Gmailを受信する

1 Gmailを受信

Gmailを受信すると、ステータスバーに[?]が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーの通知アイコン表示エリアを下方向にスライド→Gmailの情報をタップ

Gmailに返信／転送する

1 受信トレイで返信／転送するメールを含むスレッドをタップ→[?]

メールの作成画面が表示されます。

- ・全員に返信する場合は、[?]→[全員に返信]と操作します。
- ・転送する場合は、[?]→[To]→宛先を入力します。

2 件名、本文を入力→[?]

- ・送信するメールの末尾に元のメールを挿入するときは、[元のメッセージ]にチェックを付けます。
- ・元のメールを引用しながら返信するときは、[引用返信]をタップします。

スレッドを操作する

1 受信トレイでスレッドをロングタッチ

スレッドが選択されます。

2 画面上部のアイコンで[アーカイブ]などのオプションを選択

主なオプションは次の通りです。

[?] (アーカイブ)	スレッドをアーカイブして非表示にします。 ・非表示にしたスレッドに新しいメールが届くと、スレッドが再表示されます。
[?] (削除)	スレッドを削除します。スレッドの中の一部のメールだけを選択して削除することはできません。
[?] / [?] (既読にする／未読にする)	スレッドの既読と未読を切り替えます。
[?] (移動)	スレッドを移動します。
[?] (メニュー)	ラベルを変更:スレッドのラベルを変更します。 スターを付ける／外す 重要マークを付ける／外す ミュート:スレッドをアーカイブして非表示にします。非表示にしたスレッドに新しいメールが届くと、スレッドが再表示されます。ただし、ミュートした場合は、自分のメールアドレスがTo/Cc欄に入っていないメールが届いても非表示のままでです。 迷惑メールを報告:スレッドを迷惑メールとして報告します。 フィッシングを報告:スレッドをフィッシングとして報告します。

memo

- ◎アーカイブ／ミュートして非表示にしたスレッドは、受信トレイで画面左上の[?]→[すべてのメール]と操作すると表示できます。
- 受信トレイに再表示する場合は、スレッドをロングタッチ→[?]→[受信トレイに移動]と操作します。
- ◎本製品ではラベルを作成できません。GmailのWebサイトで作成してください。
- ◎スレッドを表示したときに[これ以前のメッセージXX件]と表示されたときは、既読メールが省略されています。
[これ以前のメッセージXX件]→表示された既読メールをタップすると、既読メールを表示できます。

メール受信時の動作を設定する

メールが受信トレイに届いたときの動作を設定します。

1 受信トレイで[...]→[ラベルを管理]

2 必要な項目を設定

メールの同期	新着メールを受信したときに過去のメールを同期するかどうかを設定します。
ラベル通知	チェックを付けると、新着メールを受信したときに画面上部のステータスバーに[■]が表示されます。
着信音	新着メールをお知らせする着信音を設定します。
新着メールごとに通知する	新着メールごとに着信音でお知らせするかどうかを設定します。

インターネット

インターネットに接続する	52
パケット通信を利用する	52
ブラウザを利用する.....	52
Webページを表示する	52
ブラウザでの基本操作.....	52
新しいタブを開く	52
ブックマーク／履歴を利用する	52
Webページをリーダーファイルとして保存する	53
ホームページを設定する	53
ブラウザを設定する	53
プライバシーとセキュリティを設定する	53

インターネットに接続する

- 本製品では、次のいずれかの方法でインターネットに接続できます。
- ・パケット通信(LTE NET、LTE NET for DATA)(▶P.52「パケット通信を利用する」)
 - ・無線LAN(Wi-Fi®)機能(▶P.84「無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにする」)

memo

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができます。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。

LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面で[?]→[無線とネットワーク]の[その他...]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]→[LTE NET for DATA]をタップしてください。

memo

◎LTEフラットなどのパケット通信料定額/割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額/割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- ・画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリやGoogleサービスなどのアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額サービスの加入をおすすめします。
- ・ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://cs.kddi.com/>(auお客さまサポート)

※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ブラウザを利用する

Webページを表示する

1 ホーム画面で[]

2 URL表示欄をタップ→URL／キーワードを入力

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択、またはキーボードの[実行]をタップ

memo

◎URL表示欄にキーワードを入力した場合、[検索エンジンの設定]で設定した検索エンジンで検索します。

検索エンジンは、Webページ表示中に[]→[設定]→[高度な設定]→[検索エンジンの設定]→検索エンジンをタップして設定します。

ブラウザでの基本操作

■ Webページの表示位置を移動する

上下左右、斜めにスライドすると、ページの表示位置を移動できます。

■ Webページを拡大表示する

ダブルタップすると拡大表示できます。もう一度ダブルタップすると元の表示に戻ります。

ピンチアウト／ピンチインで拡大／縮小することもできます。

■ Webページのリンクを操作する

1 Webページ表示中に、リンクをタップ

リンク先のWebページが開きます。

- ・リンクをロングタッチすると、新しいタブで開いたり、リンクを保存したり、URLをコピーしたりできます。

memo

◎メールアドレスをタップすると、使用するアプリを選択してメールを作成できます。メールアドレスをロングタッチすると、メールを作成するか、メールアドレスをコピーするかを選択できます。

■ Webページに表示されている画像を保存する

保存した画像は「ギャラリー」で確認できます。

1 Webページ表示中に、保存する画像をロングタッチ→[画像を保存]

memo

◎画像は内部ストレージ(/sdcard/Download)に保存されます。

■ Webページのテキストをコピーする

コピーしたテキストは、他のアプリなどで貼り付けて利用できます。

1 Webページを表示中に、テキストをロングタッチ

テキスト範囲がハイライト表示されます。

- ・テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると、選択範囲を調節できます。

2 [コピー]

テキストがクリップボードにコピーされます。

- ・コピーしたテキストを貼り付けるには、文字入力画面でテキスト挿入位置をロングタッチ→[貼り付け]をタップします。

新しいタブを開く

1 Webページ表示中に、タブの[]

新しいタブが開き、「[クリックアクセス]」ページが表示されます。

- ・[]→[新しいタブ]をタップしても開きます。
- ・[]→[新しいシークレットタブ]→URL表示欄にURL／キーワードを入力してWebページを開くと、シークレットタブで表示することができます。シークレットタブで表示中はタブに[]が表示されます。

タブを切り替える

1 Webページ表示中に、表示するタブをタップ

タブを閉じる

1 Webページ表示中に、閉じるタブをタップ→[]

ブックマーク／履歴を利用する

履歴の確認やブックマークの保存ができます。

ブックマークに登録する

1 登録するWebページ表示中にURL表示欄の[]

2 ブックマークの内容を確認し、必要に応じて変更→[OK]

ブックマークを利用する

1 Webページ表示中に[■]

ブックマーク画面が表示されます。

2 利用するブックマークをタップ

memo

○ブックマーク画面でブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などができます。

履歴を確認する

1 Webページ表示中に[■]→[履歴]

履歴画面が表示されます。

2 表示するWebページをタップ

- ・[今日]、[過去7日間]などをタップすると、その期間の履歴を表示します。
- ・よく閲覧するWebページを確認するには、[よく使用]をタップします。

履歴を削除する

1 履歴画面で削除する履歴をロングタッチ→[履歴から消去]

memo

○履歴画面で[■]→[OK]と操作すると、すべての履歴を削除できます。

Webページをリーダーファイルとして保存する

アドレスバーに[■]が表示されるWebページでは、画像とテキスト情報をリーダーファイルとして保存し、後で確認できます。

リーダーファイルを保存する

1 保存するWebページを表示中に[■]

2 [■]→[保存]

- ・[□]→色を選択して、テキストにマーキングを行ってから保存することもできます。
- ・[■]→[共有]をタップして他のアプリで共有することもできます。

リーダーファイルを確認する

1 ホーム画面で[■]

2 [■]→[保存されたリーダーファイル]→確認するリーダーファイルをタップ

ホームページを設定する

新しいブラウザウィンドウを開いたときに表示されるホームページを設定します。

1 Webページ表示中に[■]→[設定]→[全般]

2 [ホームページを設定]→[その他]

- ・表示中のWebページをホームページに設定するときは、[現在のページ]をタップします。

3 ホームページに設定するURLを入力→[OK]

ブラウザを設定する

ブラウザの表示方法やコンテンツに関する設定、プライバシーとセキュリティに関する設定などを行えます。変更した設定をリセットすることもできます。

1 Webページ表示中に[■]→[設定]

2 必要な項目を設定

全般	ブラウザ起動時に表示するWebページを設定します。(▶P.53「ホームページを設定する」)
プライバシーとセキュリティ	▶P.53「プライバシーとセキュリティを設定する」
ユーザー補助	テキストのサイズなどについて設定します。
高度な設定	検索エンジンの設定やページコンテンツに関する設定、リセットなどを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・[ウェブサイト設定]では、Webページによって本製品に保存されたデータを、Webページごとに削除できます。・[初期設定にリセット]を行うと、ブラウザのすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。ただし、ブックマークや履歴、リーダーファイル、キャッシュは削除されません。
帯域幅の管理	検索結果のプリロードや画像の読み込みの設定をします。
Labs	画面の左端または右端に触れて、クリックコントロールを表示するかどうかを設定します。

プライバシーとセキュリティを設定する

1 Webページを表示中に[■]→[設定]→[プライバシーとセキュリティ]

2 必要な項目を設定

キャッシュを消去	サイトの閲覧時に保存されたページデータ(キャッシュ)を削除します。
履歴消去	ブラウザの閲覧履歴をすべて削除します。
セキュリティ警告	チェックを付けると、サイトの安全性に問題がある場合に警告が表示されます。セキュリティ保護のため、チェックを外さないことをおすすめします。
Cookieを受け入れる	チェックを外すと、Cookieの保存と読み取りが禁止され、安全性をより高めることができます。
Cookieをすべて消去	保存されているCookieをすべて削除します。
フォームデータを保存	チェックを外すと、フォームに入力した内容が保存されなくなり、安全性をより高めることができます。
フォームデータを消去	保存されているフォームデータをすべて削除します。
位置情報を有効にする	チェックを外すと、Webページ閲覧中に現在地情報の読み取りが禁止され、安全性をより高めることができます。
位置情報アクセスをクリア*	サイトからの位置情報アクセスをすべて削除します。
パスワードを保存	チェックを外すと、Webページ閲覧中にサイトで入力したユーザー名とパスワードが保存されなくなり、安全性をより高めることができます。
パスワードを消去	保存されているユーザー名とパスワードをすべて削除します。

*[位置情報を有効にする]にチェックを付けている場合に選択できます。

memo

○[Cookieを受け入れる]のチェックを外すと、一部のWebサービスが利用できなくなる場合がありますのでご注意ください。

ツール・アプリケーション

アブリ一覧	56	電卓を使う	74
連絡帳を利用する	57	auお客さまサポートを利用する	74
連絡先を登録する	57	安心セキュリティパックを利用する	74
連絡先を編集する	57	auスマートサポートを利用する	75
グループを設定する	57	スマートフォン自動診断を利用する	75
連絡先の内容を確認する	58	au災害対策アプリを利用する	76
連絡先をインポート／エクスポートする	58	災害用伝言板を利用する	76
Friends Noteを利用する	58	緊急速報メールを利用する	76
Facebookを利用する	58	災害用音声お届けサービスを利用する	77
ファイルマネージャーを利用する	59	災害情報／義援金サイトを利用する	77
カメラを利用する	59	安心アクセス for Android™を利用する	77
カメラをご利用になる前に	59		
カメラを起動する	60		
静止画を撮影する	60		
動画を撮影する	60		
カメラを切り替える	60		
撮影モードを変更する	61		
撮影した静止画をParty Linkで共有する	62		
カメラの設定をする	62		
静止画や動画を楽しむ	64		
静止画や動画を再生する	64		
静止画を選択してマイクロフィルム／コラージュ／Storyを作成する	64		
静止画を壁紙や連絡先の顔写真に設定する	64		
静止画や動画を共有する	64		
音楽を楽しむ	65		
音楽アプリを利用する	65		
LISMOを利用する	65		
YouTubeを利用する	65		
AudioWizardを利用する	65		
Splendidを利用する	65		
Share Linkを利用する	66		
Remote Linkを利用する	66		
PC Linkを利用する	67		
NFCを利用する	68		
Androidアプリを利用する	69		
Google Playを利用する	69		
auスマートパスを利用する	70		
ハングアウトを利用する	70		
カレンダーで予定を管理する	70		
What's Nextを利用する	71		
やることリストを利用する	71		
スクリーンショットシェアを利用する	72		
ドライブを利用する	73		
Googleマップを利用する	73		
音声レコーダーを利用する	74		

アドバイス

本製品には次のアプリが搭載されています。

アプリ名	概要
朝日新聞	朝日新聞の電子版「朝日新聞デジタル」は事件・事故から政治・経済、スポーツなど最新ニュースはもちろん、新聞紙面を閲覧できる紙面ビューアーや、好きな記事を保存できるスクラップブック、記事検索機能などをそなえた、便利なニュースサービスです。
アニメバス	アニメ動画見放題サービスです。人気のアニメや懐かし怀メなどさまざまなアニメを楽しむことができます。
安心アクセス	お子さまがauの端末を安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。 ▶P.77「安心アクセス for Android™を利用する」
うたバス	CMで流れるあの曲からアソシン、ジャズ、懐かしのヒット曲まで100万曲以上。 150以上の多彩なチャンネル・プログラムから選んで音楽を楽しむ月額制のラジオ型音楽サービスです。
音楽	音楽を再生します。 ▶P.65「音楽アプリを利用する」
音声検索	Google音声検索を利用できます。 ▶P.24「音声検索を利用する」
音声レコーダ	音声を録音できます。 ▶P.74「音声レコーダを利用する」
カメラ	静止画や動画を撮影できます。 ▶P.59「カメラを利用する」
カレンダー	カレンダーを確認したり、予定を管理できます。 ▶P.70「カレンダーで予定を管理する」
ギャラリー	カメラで撮影した静止画や動画、スクリーンショットの共有や一覧表示、画像の編集などの操作ができます。 ▶P.64「静止画や動画を楽しむ」
クイックメモ	メモを作成できます。他のアプリと共有することもできます。
グノシー for au	今日の話題を5分でまとめ読み！！サクサク使って、すっきり読める！最新ニュースからやわらかコラムまで幅広くカバーできるニュースアプリです。
ゲームギフト	大人気ゲームのアイテム無料配信を中心に、攻略情報や新作ゲーム事前登録情報など、さまざまなお得(ギフト)を提供するアプリです。
写真	写真や動画を閲覧できます。Google+にログインして、バックアップすることもできます。
省電力設定	省電力設定を切り替えたり、消費電力を確認できます。 ▶P.91「省電力設定の設定をする」
スクリーンショットシェア	表示中の画面を、簡単な操作で撮影、保存することができます。 撮影したスクリーンショットにスタンプを押したり編集して、Facebook・TwitterなどのSNSやEメールで友達と共有できます。 ▶P.72「スクリーンショットシェアを利用する」
設定	本製品の各種設定を行います。 ▶P.90「設定メニューを表示する」
セットアップガイド	本製品の初期設定(ネットワーク接続、アカウント設定、日時設定など)を行います。 ▶P.17「初期設定を行う」
ダウンロード	ブラウザからダウンロードした画像などを閲覧できます。
天候	現在地や他の地域の天気を表示します。
電卓	加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行います。 ▶P.74「電卓を使う」
時計	世界時計、アラーム、ストップウォッチ、タイマーとして利用できます。
ドライブ	Googleドライブに保存したファイルを閲覧・編集できます。 ▶P.73「ドライブを利用する」
取扱説明書	本製品の操作方法や設定方法を確認できます。 ▶P.ii「[取扱説明書アプリケーション]」
ナビウォーク	乗物・歩きを組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。
バーコードリーダー	バーコードリーダー「アイコニット」は、QRコードやJANコードを読み取るだけで、動画・音声・画像・テキストなどのさまざまなアクションがタブレットならではのクオリティで再生されます。
ハングアウト	写真や絵文字、動画などを使ってチャットができます。 ▶P.70「ハングアウトを利用する」
ビデオバス	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品がお楽しみいただけるアプリです。

アプリ名	概要
ファイルマネージャー	内部ストレージおよび外部ストレージ内のデータを管理できます。 ▶P.59「ファイルマネージャーを利用する」
ブックパス	コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。
ブラウザ	Webページを閲覧できます。 ▶P.52「ブラウザを利用する」
マップ	現在地の表示／他の場所の検索／経路の検索などが行えます。 ▶P.73「Googleマップを利用する」
ミラー	インカメラを起動し、ディスプレイを鏡として利用できます。
メール	PCメール(複数のアカウントを使用可)を利用できます。 ▶P.47「PCメールを利用する」
モバオク	安心のau公式オークションサービス。要らなくなったモノを簡単に売却、なかなか売っていないモノを購入できます。 Copyright 2014 KDDI CORPORATION.
やることリスト	タスクを登録して管理できます。 ▶P.71「やることリストを利用する」
リモートサポート	タブレットの操作で困ったとき、お客様のタブレットの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。 ▶P.74「安心セキュリティパックを利用する」 ▶P.75「auスマートサポートを利用する」
連絡帳	電話番号やメールアドレスなどを登録して利用できます。 ▶P.57「連絡帳を利用する」
au Cloud	端末に保存されている写真・動画やEメールをau Cloudにアップロードするアプリです。 アップロードした写真・動画は、簡単な操作で見ることができます。 また、Wi-Fi®接続中は写真・動画を自動でアップロードできます。
au ID 設定	au IDを設定します。 ▶P.18「au IDの設定をする」
au Market	auスマートバスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。
au WALLET	au WALLETカードをより便利に使いこなすためのアプリです。カードへのチャージのほか、カード残高・ポイント残高・特典の確認などを、タブレットに最適化した画面でご利用いただけます。
au Wi-Fi接続ツール	ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi®親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTをご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。
auお客さまサポート	auの端末の契約内容や日々のご利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。 ▶P.74「auお客さまサポートを利用する」
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。 ▶P.17「初期設定を行う」
au災害対策	災害用伝言板や緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービス、災害情報／救援サイトを利用することができます。 ▶P.76「au災害対策アプリを利用する」
auショッピングモール	日用品・スマートフォングッズ・グッズ・ファッションなど、お買いものが楽しめるau公式のショッピングアプリです。
auスマートバス	月額372円(税抜)でアプリが取り放題！その他にもお得意なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なタブレットライフが楽しめるサービスです。 ▶P.70「auスマートバスを利用する」
auバックアップアプリ	お客様のタブレットに保存しているさまざまなデータをmicroSDカードにバックアップ／復元できるアプリです。自動バックアップ機能では、お客様が設定した曜日、時間にバックアップを自動実行します。
AudioWizard	用途に合ったサウンドエフェクトに変更できます。 ▶P.65「AudioWizardを利用する」
Chrome	Google Chromeでインターネットに接続します。
Eメール	Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます。 ▶P.30「Eメールを利用する」
Facebook	友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりができる無料のコミュニケーションアプリです。 ▶P.58「Facebookを利用する」
Friends Note	Friends Noteはauの端末からのアドレス帳移行やサークルへのバックアップもできる安心・便利なアドレス帳です。また、Facebook・TwitterなどのSNSの友人をアドレス帳で一元管理できます。 ▶P.58「Friends Noteを利用する」

アプリ名	概要
GLOBAL PASSPORT	海外ご利用の際、渡航先に応じて、適用される利用料金、ご利用設定方法などをチェックできるアプリです。
Gmail	Gmail(@gmail.com)を利用できます。 ▶P.49「Gmailを利用する」
Google	本製品内やウェブ上の検索を行います。 ▶P.24「アプリやWebページの情報を検索する」
Google+	Googleが提供するSNSのクライアントアプリであるGoogle+を起動します。
Google設定	Googleアプリに関する設定をします。
LISMO	音楽を再生したり、最新の音楽情報を調べたりできます。また、楽曲の試聴・購入も可能なアプリです。 ▶P.65「LISMOを利用する」
NFCタグリーダー	NFCタグの読み込み／データ書き込みを実行するアプリです。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。 ▶P.69「NFCタグリーダーを利用する」
Omletチャット	無料のチャットアプリです。チャットでやりとりするテキスト、写真、動画などのコンテンツの保管場所を自分で選択でき、プライバシーを確保することができます。
Origami	話題のブランドやショップをフォローして最新情報を入手したり、気に入ったアイテムを購入できるショッピングアプリです。
Party Link	近くの無線LAN(Wi-Fi®)対応端末とグループを作成し、撮影した写真を自動的に共有できます。 ▶P.62「撮影した静止画をParty Linkで共有する」
PC Link	本製品とパソコンをUSB接続し、パソコンのディスプレイに本製品の画面を映したり、パソコンのキーボードとマウスで操作することができます。 ▶P.67「PC Linkを利用する」
Play ゲーム	Google Playからゲームをダウンロードできます。
Play ニューススタンド	簡単な操作で最新のニュースを読むことができます。
Playストア	新しいアプリをダウンロード／購入します。 ▶P.69「Google Playを利用する」
Playブックス	Google Playから書籍をダウンロードして読むことができます。
Playミュージック	内部ストレージおよび外部ストレージ内に保存した音楽を再生します。
Playムービー	Google Playの映画をレンタルしたり、本製品に保存した動画を再生したりできます。
Remote Link	本製品をWindowsのパソコンとBluetooth®で接続し、リモートタッチパッドやキーボードとして使用したり、PowerPointやWindows Media Playerの操作ができます。 ▶P.66「Remote Linkを利用する」
Share Link	動画、写真、音楽、連絡先などのファイルを、本製品と他の無線LAN(Wi-Fi®)対応端末を直接接続して共有できます。 ▶P.66「Share Linkを利用する」
SMS	SMSの送受信ができます。 ▶P.45「SMSを利用する」
Splendid	ディスプレイの色調整を行うことができます。 ▶P.65「Splendidを利用する」
Story	写真を使ってアルバムを作成し、共有できます。 ▶P.64「静止画を選択してマイクロフィルム／コレージュ／Storyを作成する」
SuperNote	手書きまたはキーボードで文字を入力したり、画像、音声、動画を挿入したりしてノートを作成できます。
TOLOT フォトブック	写真を選択するだけで、フォトブックを作成／注文できるアプリです。 子どもの成長、結婚式、旅行の思い出をデジタルだけではなく、実際の商品として残すことができます。 © 2011-2014 TOLOT Inc. All Rights Reserved.
WebStorage	写真、音楽、動画などのファイルをインターネット上のクラウドスペースにアップロードし、パソコンやスマートフォン、タブレットなど、お使いのすべてのデバイスで同期することができます。
What's Next	天気、カレンダー、メールなどのアプリの情報を統合して通知します。大切な相手からのメールが未読であることを知らせたり、次の予定や天気予報を知らせます。 ▶P.71「What's Nextを利用する」
YouTube	YouTubeで動画を再生します。 ▶P.65「YouTubeを利用する」

memo

- ◎アプリによっては、初回起動時にダウンロードが必要なものがあります。
- ◎データの初期化(▶P.95)を行っても、本製品お買い上げ時にインストールされているアプリは削除されません。

連絡帳を利用する

連絡帳には、電話番号やメールアドレスなどの連絡先情報を入力できます。また、Googleなどのオンラインサービスのアカウントと同期して、連絡先の表示や管理ができます。

memo

◎連絡帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

連絡先を登録する

1 ホーム画面で[]→[連絡帳]

連絡先一覧が表示されます。

2 []

・アカウントを選択するポップアップメニューが表示されたときは、連絡先を登録するアカウントを選択します。「[デバイス]」、「[SIMカード]」のほか、本製品をGoogleアカウントなどと同期している場合はここで選択できます。

3 各項目を入力

- ・[別のフィールドを追加]が表示された場合は、タップすると現在表示されていない項目を追加できます。
- ・項目によっては、[新しく追加]をタップして入力欄を追加したり、[×]をタップして削除したりできます。

4 [完了]

連絡先を編集する

1 ホーム画面で[]→[連絡帳]

連絡先一覧が表示されます。

2 編集する連絡先をタップ→[]

・連絡先をロングタップ→[連絡先の編集]と操作しても編集画面を表示できます。

3 各項目を編集→[完了]

グループを設定する

連絡先をグループ分けすることができます。

1 ホーム画面で[]→[連絡帳]→[]

グループ一覧が表示されます。

2 連絡先を追加するグループをタップ→[]

3 グループに追加する連絡先にチェックを付ける→[追加]

グループを追加する

連絡先のグループを作成できます。

1 ホーム画面で[]→[連絡帳]→[]

グループ一覧画面が表示されます。

2 []→グループ名を入力→[完了]

- ・[]をタップして連絡先を追加してから保存することもできます。

memo

◎グループを編集／削除するには、グループ一覧画面でグループをロングタップ→[グループの編集]／[グループの削除]と操作します。
ただし、お買い上げ時に用意されているグループのグループ名編集や削除はできません。

連絡先の内容を確認する

① ホーム画面で[]→[連絡帳]

連絡先一覧が表示されます。

② 確認する連絡先の名前をタップ

画面右側に概要が表示されます。

■ 連絡先一覧について



- ① **検索:** タップして、電話番号や名前(先頭の番号や文字から入力)、メールアドレスなどを入力すると、該当する連絡先が表示されます。[①]をタップすると音声検索ができます。
- ② **表示する連絡先:** タップして、表示する連絡先を選択します。チェックの付いているアカウントに登録されている連絡先が連絡先一覧に表示されます。各アカウントの[▼]をタップし、グループ単位で表示／非表示を設定することもできます。
- ③ **自分:** 自分の名前が表示されます。未登録の場合は[プロフィールを設定]が表示され、タップすると自分の連絡先を登録できます。
- ④ **インデックス:** 連絡先を50音順、アルファベット順、数字順に分類して表示します。分類はよみがなをもとに行われます。よみがなが入力されていない漢字の連絡先は[他]に分類されます。
- ⑤ **名前:** タップすると画面右側に概要を表示します。
- ⑥ **連絡先タブ:** タップして連絡先一覧を表示します。
- ⑦ **お気に入りタブ:** タップしてお気に入りに設定されている連絡先一覧を表示します。
- ⑧ **グループタブ:** タップしてグループ一覧を表示します。
- ⑨ **選択中の連絡先の名前:** 連絡先一覧で選択した連絡先の名前が表示されます。
- ⑩ **連絡先を追加:** タップして連絡先を新規登録します。
- ⑪ **編集:** タップすると選択中の連絡先の登録情報を編集できます。
- ⑫ **メニュー:** タップすると、連絡先の共有、削除、auサーバへの保存・同期、管理、アカウントとの同期設定などができます。
- ⑬ **お気に入り:** タップするとお気に入りへの追加／解除を行えます。
- ⑭ **カバー:** タップするとカバー写真を変更できます。
- ⑮ **顔写真:** タップすると、写真を撮影したり、「ギャラリー」から画像を選択して顔写真を登録できます。ただし、登録先のアカウントが[SIMカード]の場合は顔写真は登録できません。
- ⑯ **登録先:** 登録先のアカウントがアイコンで表示されます。
- ⑰ **概要:** 登録情報を表示します。表示される項目は、連絡先の登録内容によって異なります。[⑩]をタップしてSMSを送信したり、[✉]をタップしてメールを作成したり、住所をタップしてGoogleマップで表示したりできます。各項目をロングタッチすると情報をコピーできます。

連絡先をインポート／エクスポートする

① ホーム画面で[]→[連絡帳]

連絡先一覧が表示されます。

② []→[連絡先の管理]→[インポート／エクスポート]

③ 項目を選択し、それぞれの操作を行う

SIMカードからインポート*	au Micro IC Card (LTE)にバックアップした連絡先データをインポートします。
SIMカードにエクスポート*	au Micro IC Card (LTE)に連絡先データをエクスポートします。
SDカードからインポート*	microSDカードにバックアップした連絡先データ(vCardファイル)をインポートします。ファイルが複数ある場合は、インポートするファイルを選択します。
SDカードにエクスポート*	プロフィールを除く連絡先データを、microSDカードに全件エクスポートします。
表示可能な連絡先を共有	連絡帳データを他のアプリから共有します。

*アカウントごとにインポート／エクスポートできます。

Friends Noteを利用する

Friends Noteはau端末からのアドレス帳移行やサーバへのバックアップもできる安心・便利なアドレス帳です。また、Facebook・TwitterなどのSNSの友人をアドレス帳で一元管理できます。

- Friends Noteを利用するには、au IDが必要です。au IDの設定方法については、「au IDの設定をする」(▶P.18)をご参照ください。

① ホーム画面で[]→[Friends Note]

- 初めて起動したときはFriends Noteの紹介画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。続けて、許可画面や利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、[同意する]をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- SNSアカウント登録の確認画面が表示されたときは、[今すぐ](ここで登録する場合)または[後で](あとで登録する場合)をタップしてください。

memo

- ◎ 利用方法などの詳細は、Friends Noteを起動して、[メニュー]→[ヘルプ]→[使い方・FAQ]と操作すると確認できます。

Facebookを利用する

Facebookを利用して、友だちと気軽にコミュニケーションをとれます。

- Facebookを利用するには、あらかじめFacebookのアカウントが必要です。アカウントの登録や利用方法などの詳細については、Facebookのサイトをご参照ください。

<http://www.facebook.com/>

① ホーム画面で[]→[Facebook]

memo

- ◎ Facebookホーム画面で[]→[アプリの設定]と操作すると、更新間隔などを設定できます。

ファイルマネージャーを利用する

ファイルマネージャーでは、内部ストレージやmicroSDカード内のフォルダやファイルを表示して、データのコピー、移動、削除などの管理を行うことができます。

また、クラウドストレージのアカウントと同期すると、ローカルストレージと同じようにデータを管理できます。

1 ホーム画面で[]→[ファイルマネージャー]

2 []→表示するストレージをタップ

- ・ microSDカードを取り付けると[SDカード]が表示されます。
- ・ クラウドストレージと同期するには、[]→利用するクラウドストレージをタップして表示される画面に従って操作してください。
- ・ フォルダをタップするとフォルダ内のデータを表示します。ファイルをタップすると、表示／再生可能なデータ形式の場合は対応するアプリが起動します。
- ・ []をタップすると上位フォルダを表示します。
- ・ フォルダやファイルにチェックを付けると、画面右上に[](コピー)、[](削除)、[](切り取り)が表示され、タップして実行できます。ファイルにチェックを付けた場合は、[](共有)も表示されます。コピーまたは切り取りを実行すると[]が表示されるので、貼り付け先のフォルダでタップすると貼り付けることができます。
- ・ []→ファイル名を入力→[]と操作すると、表示しているストレージ／フォルダ内を検索できます。
- ・ []→[フォルダー]→フォルダ名を入力→[OK]でフォルダを追加できます。

カメラを利用する

本製品のメインカメラ／インカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。撮影した静止画や動画は内部ストレージまたはmicroSDカードに保存され、「ギャラリー」(▶P.64)などで閲覧できます。

memo

◎カメラを使用する前にmicroSDカードを取り付けると、撮影した静止画や動画の保存先としてmicroSDカードを選択できます。詳しくは、「カメラの設定をする」(▶P.62)をご参照ください。

カメラをご利用になる前に

- ・ カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- ・ レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- ・ 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- ・ 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- ・ 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- ・ 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感じてしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ・ 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・ 本製品のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によつ

ては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。

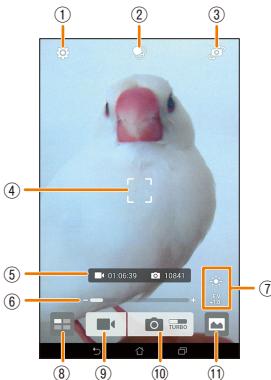
- ・ 動画撮影中に強い光や眩しい被写体を撮影すると、画像に紫の線や帯が発生することがありますが、故障ではありません。
- ・ カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- ・ 次のような被写体に对しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ないので被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- ・ マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- ・ 本製品の温度が上昇すると、カメラを使用できないことがあります。
- ・ 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- ・ 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた写真などになる可能性があります。
- ・ 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、本製品が落下するおそれがあります。
- ・ 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- ・ お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従つて罰せられることがあります。

カメラを起動する

1 ホーム画面で[]

撮影画面が表示されます。

- 初めて起動したときは、チュートリアルや撮影場所を記録するか確認するメッセージが表示されます。また、microSDカードを取り付けている場合は、ストレージの場所を変更するか確認するメッセージが表示されます。表示される画面に従って操作してください。ここで表示される内容や設定は、後から確認・変更することもできます。詳しくは、「カメラの設定をする」(▶P.62)をご参照ください。



- ① 設定ボタン: タップして、カメラの設定を変更します(▶P.62)。
- ② 撮影効果ボタン: 撮影モードが「オート」の場合にタップして、撮影効果を選択します(▶P.61)。
- ③ メインカメラ／インカメラ切り替えボタン: タップするたびに、メインカメラとインカメラを切り替えます。
- ④ フォーカス枠: ピントを合わせる場所を示します。タップした場所に移動できます。ピントが合うと、緑色に変わって表示が消えます。
- ⑤ 録画可能時間／撮影可能枚数: カメラ起動直後に、録画可能時間／撮影可能枚数の目安が表示されます。
- ⑥ ズーム調整スライダー: スライダーをドラッグしてズーム倍率を調節できます。撮影画面をピンチイン／ピンチアウトしても調節できます。
- ⑦ 設定情報: カメラの設定によって現在の設定を示す各種アイコンが表示されます。
- ⑧ 撮影モードボタン: タップして、撮影モードを選択します(▶P.61)。
- ⑨ 録画開始ボタン: タップして、動画の撮影を開始します。撮影開始後、一時停止／再開または終了します。撮影モードによってアイコンが変わります。
- ⑩ シャッターボタン: タップして、静止画を撮影します。撮影モードによってアイコンが変わります。
- ⑪ ギャラリーボタン: タップして、直前に撮影した静止画／動画を表示します。直前に撮影した静止画／動画がない場合は、「ギャラリー」へのショートカットを表示します。

memo

- ◎ロック画面で[]を任意の方向にドラッグしてもカメラを起動できます。また、ホーム画面で[]→[ロックスクリーン]と操作してロック画面でのカメラの起動方法を設定できます。
- ◎撮影画面で何も操作が行われないまま一定時間が経つと、[スタンバイ]と表示された画面に切り替わります(省電力モード)。画面をタップすると撮影画面に戻ります。
- 省電力モードに切り替わるまでの時間は変更できます。詳しくは、「カメラの設定をする」(▶P.62)をご参照ください。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で[]

2 カメラを被写体に向ける

フォーカス枠が表示され、撮影画面の中央エリアにピントが合います。

- 撮影画面をタップしてピントを合わせる場所を変更できます。タップした場所にフォーカス枠が移動し、フォーカスロック音が鳴ります。撮影画面をロングタッチすると、その場所でAF(オートフォーカス)、AE(自動露出)、AWB(オートホワイトバランス)がロックされます。
- ズーム調整スライダーが表示されている場合は、スライダーをドラッグするか撮影画面をピンチイン／ピンチアウトしてズーム倍率を調節できます。
- 撮影モードが「オート」のときに撮影画面に[]が表示されたときは、タップして[HDR]モードに切り替えることができます。

3 シャッターボタンまたは[] / []

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

- 撮影モードによってはシャッターボタンをロングタッチまたは[] / []を長押しすると連写撮影できます。詳しくは、「カメラの設定をする」(▶P.62)をご参照ください。
- なお、メインカメラを使用している場合は撮影モードが「オート」で撮影効果が「なし」のときに[]の[TURBO]をタップしてオンにすると、超高速連写が有効になります。

memo

- ◎カメラの設定の「タッチシャッター」をオンにすると、撮影画面のピントを合わせる場所をタップするとそのまま撮影されます。詳しくは、「カメラの設定をする」(▶P.62)をご参照ください。

- ◎カメラの設定の「場所サービス」をオンにしていると、撮影した静止画に位置情報が記録されます。静止画を共有する場合はご注意ください。位置情報の記録を希望しない場合は、「場所サービス」をオフにしてください。詳しくは、「カメラの設定をする」(▶P.62)をご参照ください。

動画を撮影する

1 ホーム画面で[]

2 カメラを被写体に向ける

フォーカス枠が表示され、撮影画面の中央エリアにピントが合います。

- 撮影画面をタップしてピントを合わせる場所を変更できます。タップした場所にフォーカス枠が移動し、フォーカスロック音が鳴ります。撮影画面をロングタッチすると、その場所でAF(オートフォーカス)、AE(自動露出)、AWB(オートホワイトバランス)がロックされます。
- ズーム調整スライダーが表示されている場合は、スライダーをドラッグするか撮影画面をピンチイン／ピンチアウトしてズーム倍率を調節できます。

3 録画開始ボタン

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影開始後も、操作②と同様にピント合わせやズーム倍率の調節ができます。
- 撮影モードによっては動画撮影中にシャッターボタンまたは[] / []を押して静止画を撮影できます。
- 撮影モードが「オート」のときは、撮影効果によっては撮影の一時停止／再開ができます。一時停止するには[]をタップします。撮影を再開するには点滅している[]をタップします。

4 []

撮影終了音が鳴り、撮影が終了します。

カメラを切り替える

1 ホーム画面で[]

2 []

メインカメラとインカメラが切り替わります。

memo

- ◎インカメラに対応していない撮影モードのときにインカメラに切り替えると、撮影モードが「オート」に変わります。

撮影モードを変更する

撮影対象や周囲の状況、目的に合わせて撮影モードを変更できます。撮影モードの変更は、撮影開始前に行ってください。選択した撮影モードによっては、撮影画面に操作説明やオプションメニューが表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

1 ホーム画面で[]

2 []→[タブ／[タブ]をタップ→撮影モードを選択

	オート	自動的に最適化された設定で静止画を撮影します。 []をタップして撮影効果を選択できます。(P.61)。 []をタップして撮影します。
	タイムシフト撮影*	シャッターボタン押下前後の連写画像から、ベストショットを選択して保存できます。 []をタップすると、その2秒前から1秒後までの3秒間に31枚の画像を連写撮影します。撮影後、表示される円形のスライダーをドラッグして画像を確認します。[]をタップするとカメラが判断したベストショットが表示されます。「完了」をタップして表示画像を保存します。
	HDR	HDR(ハイダイナミックレンジ)モードで撮影します。 []をタップして撮影します。
	パノラマ*	本製品を水平に動かしてパノラマ画像を撮影できます。 []をタップし、表示されるガイドに従って本製品を一方向に動かします。ガイドの端まで動かすと自動的に撮影が終了しますが、途中で終了する場合は[]をタップします。
	夜景	夜景を撮るのに適した設定で撮影します。 []をタップして撮影します。
	自分撮り*	メインカメラを使って高画質で自分撮りを行えます。 []をタップして被写体の人数を選択し、メインカメラのレンズを自分に向けます。フレーム内に選択した人数分の顔が検知されるとカウントダウンが始まり、自動的に3枚の画像が撮影されます。撮影後、表示される円形のスライダーをドラッグして画像を確認します。[]をタップして美人効果を適用することもできます。「完了」をタップして表示画像を保存します。
	ミニチュア*	画像の一部をぼかして、ミニチュア風の静止画を撮影します。 []または[]をタップしてぼかさない部分の形状を選択し、撮影画面上に点線で示されたぼかさない部分をドラッグして位置を変更したり、ピンチイン／ピンチアウトしてサイズや角度を変更したりします。画面上部のスライダーをドラッグしてぼかしの度合いを調節することもできます。 []をタップして撮影します。
	単焦点*	背景をぼかして、近くの被写体が浮き立つように撮影します。 []をタップして撮影します。

	スマートリムーブ*	撮影した画像から動いているオブジェクトを削除して保存できます。 []をタップすると自動的に5枚の画像が撮影され、その間に動いていたオブジェクトが自動的に削除されます。撮影後、オブジェクトが削除された領域がハイライト表示され、タップすると削除前／削除後を切り替えて確認できます。[]をタップして保存します。
	オールスマイル*	撮影後、人物ごとに一番良い表情を選択して保存できます。 []をタップすると、人物の顔を検出して自動的に5枚の画像が撮影されます。撮影後、画像上の検出された顔に枠が表示されます。枠をタップして表示される候補から、一番良い表情をタップして選択します。保存するには、画像上の顔の枠以外の部分をタップし、[]をタップします。
	美人効果	人物の顔を検出し、皮膚の色味、柔らかさ、小顎、目の強調などの調節を行ってから撮影できます。 []の各アイコンをタップして調節し、[]をタップして撮影します。
	GIFアニメーション	連続撮影した画像でGIFアニメーションを作成できます。 []を長押しして連続撮影を行い、確認画面で再生速度、再生順、画像の回転などの設定を行い、[]をタップして保存します。
	オート	自動的に最適化された設定で動画を撮影します。 []をタップして撮影効果を選択できます。(P.61)。 []をタップして撮影を開始します。
	ミニチュア*	画像の一部をぼかし、自動的に微速度撮影を行い、ミニチュア風の動画を撮影します。 []または[]をタップしてぼかさない部分の形状を選択し、撮影画面上に点線で示されたぼかさない部分をドラッグして位置を変更したり、ピンチイン／ピンチアウトしてサイズや角度を変更したりします。画面上部のスライダーをドラッグしてぼかしの度合いを調節することもできます。 []をタップして撮影を開始します。自動的に微速度撮影の時間設定が適用されます。撮影開始後も、ぼかさない部分の形状、位置、サイズなどを変更できます。
	低速度撮影	標準速度より遅く撮影します。 []をタップして撮影間隔を選択し、[]をタップして撮影を開始します。

*メインカメラで撮影するときに選択できます。

撮影効果を選択する

静止画および動画の撮影モードを「オート」に設定している場合、撮影効果を選択できます。撮影効果の選択は、撮影開始前に行ってください。

1 撮影画面で[]→使用したい撮影効果をタップ

- ・[なし] [グレイスケール] [ネガ] [セピア] [エッジ] [色合い] [LOMO] [ピクセル化] [鉛筆] [漫画]から選択できます。

撮影した静止画をParty Linkで共有する

Party Linkがインストールされている無線LAN(Wi-Fi®)端末同士でグループを作成し、写真を撮影した瞬間に共有できます。

グループを作成する

1 ホーム画面で[]

2 []→[]

Party Linkが起動します。

- Party Link使用中はWi-Fi Directは利用できません。確認画面が表示されたら内容を確認して[OK]をタップしてください。

3 []→グループ名を入力→[OK]

4 必要に応じて[パスワードを設定する]にチェックを付ける

5 [グループを作成する]

6 グループに設定するパスワードを入力→[OK]

グループが作成され、撮影画面上にParty Linkアイコンが表示されます。アイコンの右下の数字はグループに参加している人数を表します。

グループに参加する

1 Party Link画面で[グループに参加する]

使用可能なグループの一覧が表示されます。

2 参加するグループを選択→[参加する]

3 パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力→[OK]

グループに参加すると、撮影画面上にParty Linkアイコンが表示されます。メンバーが増えるとアイコンの右下の数字が増加します。

- グループ参加中は、メンバーの撮影した静止画が相互に送信されます。メンバーの撮影した静止画は自分の撮影したものと同じように保存されます。
- カメラ終了時に[Party Linkの接続維持]画面で[はい]をタップすると、カメラを起動していないときもメンバーの撮影した静止画が送信され、自動的に保存されます。

グループから抜ける

1 ホーム画面で[]

2 []→[]

Party Linkがオフになり、撮影画面からParty Linkアイコンが消えます。

カメラの設定をする

・撮影モードによって設定できる項目が異なります。

1 ホーム画面で[]

2 []→[]タブ/[]タブ/[]タブをタップ→必要な項目を設定

/ カメラ	画像	ホワイトバランス	周囲の光源に合わせて色合いを調節します。 [オート] [曇り] [昼光] [蛍光灯] [白熱灯] ※[ビデオ録画]の[ホワイトバランス]にも反映されます。
	ISO	ISO感度を設定します。 ・数字が大きいほど、暗い場所でも明るく、手ブレを軽減して撮影できますが、画像は粗くなります。 [オート] [50] [100] [200] [400] [800]	
	明るさ	露出補正をします。-2~+2の範囲で調節できます。 ※[ビデオ録画]の[明るさ]にも反映されます。	
	最適化	最適化するかどうかを設定します。 [オート] [オン] [オフ]	
	カメラ解像度	静止画の解像度を設定します。 メインカメラでの撮影時: [5M 2560 x 1920 (4:3)] [4M 2560 x 1440 (16:9)] [3M 2048 x 1536 (4:3)] [2M 1920 x 1080 (16:9)] ※撮影モードが[オート]で撮影効果が[なし]以外に設定されているときは、[2M 1920 x 1080 (16:9)] [2M 1600 x 1200 (4:3)]から選択できます。 ※撮影モードが[タイムシフト撮影][パノラマ][ミニチュア]のときは[1M 1280 x 720 (16:9)]固定となります。 ※撮影モードが[GIFアニメーション]のときは[1M 1280 x 720 (16:9)] [0.8M 1024 x 768 (4:3)]から選択できます。 インカメラでの撮影時: [1M 1280 x 960 (4:3)] [1M 1280 x 720 (16:9)] ※撮影モードが[GIFアニメーション]のときは[1M 1280 x 720 (16:9)] [0.8M 1024 x 768 (4:3)]から選択できます。	
	手ブレ補正	手ブレ補正を行うかどうかを設定します。 [オート] [オフ]	
	画質	画質を設定します。 [ファイン] [スタンダード]	

カメラ	シュー テイン グモー ^ド	タッチ シャッ ター ^{*1}	撮影画面をタップして撮影でき ないようにするかどうかを設定し ます。
		セルフタイ マー	セルフトайマー撮影をするかど うかを設定します。 [2秒] [5秒] [10秒] [オフ]
		連続撮影	シャッターボタンをロングタッ チまたは / を長 押ししたときに連続撮影する かどうかを設定します。 [高速] [低速] [オフ]
	フォー カス& 露出 ^{*2}	フォーカス モード ^{*1}	ピントの合わせかたを設定しま す。 [スマート・オートフォーカス] [CAF] [無限遠]
		タッチ自動 露出	撮影画面をタッチしたときに自 動で露出補正を行うかどうかを設 定します。
		顔認識	顔認識を行うかどうかを設定し ます。
ビデオ 録画	画像	ホワイトバ ランス	周囲の光源に合わせて色合いを 調節します。 [オート] [曇り] [昼光] [蛍光灯] [白熱灯] ※[カメラ]の[ホワイトバランス]に も反映されます。
		明るさ	露出補正をします。-2~+2の 範囲で調節できます。 ※[カメラ]の[明るさ]にも反映され ます。
		動画の解像 度	動画の解像度を設定します。 メインカメラでの撮影時: [Full HD 1920 x 1080] [HD 1280 x 720] [TV 640 x 480] ※撮影モードが[ミニチュア]のと きは[HD 1280 x 720]固定と なります。 インカメラでの撮影時: [HD 1280 x 720] [TV 640 x 480]
		手ブレ補正	手ブレ補正を行うかどうかを設 定します。
		フォー カス& 露出 ^{*2}	撮影画面をタッチしたときに自 動で露出補正を行うかどうかを設 定します。
		表示	撮影画面のディスプレイの明る さを自動で調節するかどうかを設 定します。

その他	表示	撮影時の シャッター 画像	静止画撮影時に、シャッターボ タンをタップした後にシャッタ ーを切るイメージを表示する かどうかを設定します。
	その他	場所サービ ス	撮影した静止画に位置情報を記 録するかどうかを設定します。
	ちらつき防 止		蛍光灯のある場所で撮影する場 合に撮影画面に縞模様が出るとき に設定を変更します。 お使いの地域の電源周波数に応 じて設定してください。 [50Hz] [60Hz]
その他	省電力モー ^ド	撮影画面で何も操作が行われな いまま一定時間が経った場合に 省電力モードに切り替えるかを設 定します。 ・省電力モードでは、画面中央 に[スタンバイ]とだけ表示さ れた状態になります。タップ すると撮影画面に復帰しま す。 [1分] [3分] [5分] [オフ]	
	音量キーを 次のように 設定します	/ に割り当てる 機能を設定します。 ・[シャッター]に設定すると、 静止画を撮影します。動画の 撮影には使用できません。 [ズーム] [シャッター]	
	保存先:	撮影した静止画や動画の保存先 を設定します。 ・microSDカードを取り付け ると設定できます。microSD カードが取り付けられていな いときは、内部ストレージに 保存されます。 [内部ストレージ] [MicroSD]	
	自動アップ ロード	撮影した静止画や動画を、au Cloudに自動でアップロードす るかどうかを設定します。	
	チュートリ アル	カメラの使用方法を学ぶこと ができます。	
	デフォルト	カメラの設定をお買い上げ時の 状態に戻す	

※1 メインカメラで撮影するときに選択できます。

※2 インカメラで撮影するときは[露出]と表示されます。

memo

◎機能によっては、同時に設定できない場合があります。

静止画や動画を楽しむ

カメラやスクリーンショットで撮影したりWebサイトからダウンロードしたりして内部ストレージやmicroSDカードに保存した静止画や動画を、「ギャラリー」で表示／再生したり、簡単な編集を行ったりすることができます。
また、クラウドストレージのアカウントと同期すると、ローカルストレージと同じようにデータを管理できます。

memo

◎本製品で表示／再生できるファイルの形式については、「利用できるデータの種類」(▶P.104)をご参照ください。

静止画や動画を再生する

1 ホーム画面で[]

「ギャラリー」のアルバム一覧画面が表示されます。

- 画面上部の[「アルバム」]をタップすると、アルバムを作成日順や名前順で並べ替えることができます。
- []をタップして表示するカテゴリーを切り替えることもできます。
- クラウドストレージと同期するには、[]→[+クラウドサービスの追加]→サービスを選択して表示される画面に従って操作してください。

2 アルバムをタップ

アルバム内の静止画／動画一覧画面が表示されます。

- 動画は[]が表示されます。
- 画面上部のアルバム名をタップすると、アルバム内の静止画や動画を作成日順や名前順、場所順で並べ替えることができます。

3 再生する静止画や動画をタップ

静止画の場合は以下の操作ができます。

- ピンチアウト／ピンチインやダブルタップで画像を拡大／縮小
- 画面をタップして表示されるボタンで、共有、削除、ファイル情報の確認、回転、編集
- 画面をタップして表示される[]から、カバー設定、登録、移動、コピー、スライドショー、PlayTo(無線LAN(Wi-Fi®)接続した外部機器で表示)

本製品のカメラで連続撮影した静止画の場合は、[]をタップすると一連の画像の表示や保存する画像の選択などが行えます。

動画の場合は以下の操作ができます。

- []をタップして再生
- 再生中に画面をタップして表示されるボタンやプログレスバーで一時停止／再生、共有
- 再生前の画面をタップして表示されるボタンで、共有、削除、ファイル情報の確認
- 再生前の画面をタップして表示される[]から、移動、コピー、PlayTo(無線LAN(Wi-Fi®)接続した外部機器で再生)

画面を左右にフリックすると、前後の静止画や動画に切り替えることができます。

静止画をスライドショーで再生する

1 アルバム内の静止画／動画一覧画面で[]→[スライドショー]

2 移行方法や音楽を選択→[再生]

スライドショーを開始します。

- 表示中に画面をタップするとスライドショーが終了します。

静止画を選択してマイクロフィルム／コラージュ／Storyを作成する

1 アルバム内の静止画／動画一覧画面で選択する静止画をロングタッチ

静止画にチェックが付いて、選択状態になります。

- 動画や、対応していない形式の静止画を選択するとマイクロフィルム／コラージュ／Storyを作成できません。

2 選択するすべての静止画をタップしてチェックを付ける

- [XX件選択済み]をタップすると、[すべて選択]／[選択をすべて解除]を選択できます。

3 [マイクロフィルム]／[コラージュ]／[Story]

表示される画面に従って編集・保存してください。

- 保存したマイクロフィルム／コラージュは「ギャラリー」で表示できます。
- 保存したStoryはホーム画面で[]→[Story]と操作して閲覧できます。

静止画を壁紙や連絡先の顔写真に設定する

1 アルバム内の静止画／動画一覧画面で設定する静止画をタップ

2 静止画をタップ→[]→[登録]

3 [ホームおよびロック画面]／[ロック画面]／[壁紙]／[連絡先の写真]／[壁紙]

表示される画面に従って操作してください。

静止画や動画を共有する

静止画や動画を、Bluetooth®通信やメールで送信したり、YouTubeなどにアップロードしたりして、他のアプリと共有できます。

1 共有するアルバム／静止画／動画をロングタッチ

アルバム／静止画／動画にチェックが付いて、選択状態になります。続けて他のアルバム／静止画／動画をタップすると、複数選択できます。

- [XX件選択済み]をタップすると、[すべて選択]／[選択をすべて解除]を選択できます。

2 []→使用する機能をタップ

表示される画面に従って操作してください。

静止画や動画を移動する

静止画や動画を、内部ストレージの別のアルバム(フォルダ)やmicroSDカードに移動できます。

1 移動するアルバム／静止画／動画をロングタッチ

アルバム／静止画／動画にチェックが付いて、選択状態になります。続けて他のアルバム／静止画／動画をタップすると、複数選択できます。

- [XX件選択済み]をタップすると、[すべて選択]／[選択をすべて解除]を選択できます。

2 []→[移動先...]

移動先のアルバム(フォルダ)が一覧表示されます。

- 内部ストレージとmicroSDカードの区別なく表示されますので、移動先のフォルダ名を事前にご確認ください。

音楽を楽しむ

内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽を再生できます。

memo

◎本製品で表示／再生できるファイルの形式については、「利用できるデータの種類」(▶P.104)をご参照ください。

音楽アプリを利用する

音楽アプリを使用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽を再生したり、プレイリストを作成したりできます。また、クラウドストレージのアカウントと同期すると、ローカルストレージと同じようにデータを管理できます。

- ・パソコンから音楽ファイルを転送する方法については、「本製品をパソコンと接続して操作する」(▶P.80)をご参考ください。

音楽を再生する

1 ホーム画面で[■]→[音楽]

アルバム一覧画面が表示されます。内部ストレージやmicroSDカードに保存されている音楽が一覧表示されます。

- ・クラウドストレージと同期するには、[■]→[+クラウドサービスの追加]→サービスを選択して表示される画面に従って操作してください。音楽のストリーミング配信についてのメッセージが表示されたら内容を確認して[OK]をタップしてください。音楽のストリーミング配信の設定は[■]→[設定]から変更できます。

2 アルバムをタップ→曲をタップ

曲が再生されます。

- ・[すべて再生]をタップすると、アルバム内の曲がすべて再生されます。
- ・再生中は画面の下にコントロールバーが表示され、曲情報の確認や、一時停止／再生、前の曲または再生中の曲を最初から再生／次の曲を再生の操作ができます。[心]をタップすると[お気に入り]プレイリストに追加されます。

memo

◎音量は、[+]／[-]で調節します。

◎アルバム一覧画面に戻るには、画面左上の[<]をタップします。

◎曲を内部ストレージやmicroSDカードに保存する際は、保存する場所に制限はありませんが、アルバムごとに曲を表示するために、アルバムごとにフォルダを作成することをおすすめします。

◎再生中にスリープモードに入るなどしてロック画面が表示されても、画面ロックを解除せずに一時停止／再生、前の曲または再生中の曲を最初から再生／次の曲を再生の操作ができます。

◎再生中はステータスバーに[■]が表示されます。音楽アプリを閉じても、[システム通知]パネルで一時停止／再生などの操作ができます。

曲や関連情報を検索する

1 アルバム一覧画面で[Q]→曲名やアーティスト名などを入力

検索結果が表示されます。

プレイリストを作成する

1 プレイリストに追加する曲の[▼]→[プレイリストに追加]

- ・アルバム内の曲一覧画面で[■]→[すべてプレイリストに追加します]をタップすると、アルバム内の曲をすべてプレイリストに追加できます。

2 [新規]

3 プレイリスト名を入力→[保存]

作成したプレイリストにアイテム／曲が追加されます。

memo

◎プレイリストを確認するには、アルバム一覧画面で[■]→[マイプレイリスト]をタップします。

◎[マイプレイリスト]内のプレイリストをロングタッチ→[プレイリストの削除]→[OK]をタップすると、プレイリストが削除されます。曲は削除されません。

LISMOを利用する

LISMOを利用して内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽を関連する楽曲情報や歌詞を表示しながら再生したり、ストアで最新楽曲を購入することができます。

1 ホーム画面で[■]→[LISMO]

- ・サービス利用確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、[OK]をタップしてください。

YouTubeを利用する

YouTubeは、Googleの動画共有サービスです。本製品で動画の再生、検索、アップロードなどを行なうことができます。

- ・動画をアップロードする場合など、一部の機能を利用するにはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントを設定する」(▶P.17)をご参考ください。
- ・利用方法の詳細については、YouTube起動中に[■]→[ヘルプ]と操作してYouTubeのヘルプをご参考ください。

1 ホーム画面で[■]→[YouTube]

- ・動画を検索する場合は[Q]→キーワードを入力します。
- ・動画をアップロードする場合は[▲]をタップします。表示されていない場合は、[■]→[アップロード済み]をタップすると表示されます。

2 動画をタップ

- ・動画再生中に画面をタップすると一時停止／再生のアイコンや、再生位置を指定するスライダーが表示されます。

AudioWizardを利用する

音楽や動画など、用途に合ったサウンドエフェクトに変更できます。

1 ホーム画面で[■]→[AudioWizard]

2 [□]

AudioWizardがオンになります。

3 使用するサウンドモードをタップ→[完了]

Splendidを利用する

ディスプレイの色調整を行うことができます。

1 ホーム画面で[■]→[Splendid]

2 [温度]／[エンハンスメント]

3 スライダーを動かして調整

- ・[温度]タブでは[色温度]の調整および[ビビッドモード]のオン／オフの切替ができます。[ビビッドモード]をオンにすると、[エンハンスメント]タブは選択できません。
- ・[エンハンスメント]タブでは[色相]および[彩度]を調整できます。
- ・画面上部のイメージで調整結果を確認できます。左右にクリックしてイメージを変更できます。
- ・[設定を元に戻す]→[OK]と操作すると前回の設定に戻ります。
- ・[初期設定に戻す]→[OK]と操作するとお買い上げ時の設定に戻ります。

4 [完了]

Share Linkを利用する

Share Linkがインストールされている近くの端末間同士で直接Wi-Fi®接続して、写真、動画、連絡先、アプリ、音楽などのファイルを共有することができます。

1 ホーム画面で[■]→[Share Link]

ファイルの送信側と受信側の両方でShare Linkを起動してください。
・初めて起動したときはチュートリアルが表示されます。表示される画面に従って操作してください。

2 送信側の端末で[ファイルの送信]→共有するファイルの種類をタップ→共有するファイルを選択

付近の端末をスキャンします。

3 受信側の端末で[ファイルの受信]

- ・ファイルの転送中は一時的にWi-Fiテザリング機能が有効になります。確認画面が表示されたら内容を確認して[OK]をタップしてください。
- ・ファイルの転送中は一時的にモバイルネットワークでのデータアクセスが無効になります。確認画面が表示されたら[OK]をタップしてください。

4 送信側の端末に受信側の端末が表示されたらそのアイコンをタップ

ファイルの送信が始まります。

受信側の端末で受信の進捗が表示され、完了するとタップしてファイルを表示／再生できます。受信操作を停止するには、[■]→[OK]をタップします。

memo

◎受信したファイルは内部ストレージ(/sdcard/ShareLink)に保存されます。

Remote Linkを利用する

本製品をWindowsのパソコンとBluetooth®で接続し、リモートタッチパッドやキーボードとして使用したり、PowerPointやWindows Media Playerの操作ができます。

Remote Linkを行うには、Bluetooth®対応のWindowsのパソコンに専用のソフトウェア「ASUS Smart Gesture」をインストールする必要があります。

memo

◎Windows 7／Windows 8／Windows 8.1のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

パソコンにソフトウェアをインストールする

1 接続先のパソコンで「<http://remotelink.asus.com>」にアクセス

2 インストーラーをダウンロードして解凍

3 インストーラーを起動し、画面の指示に従ってインストール

インストールが完了すると、システムの再起動を促すメッセージが表示されます。編集中のファイルなどがある場合は保存してから、[Yes]をクリックしてシステムを再起動してください。

4 デスクトップのショートカットまたはスタートメニューからASUS Smart Gestureを起動

5 [PCでRemote Linkを有効にする]にチェックを付ける→[適用]→[OK]

本製品とパソコンをRemote Linkで接続する

1 本製品のホーム画面で[■]→[Remote Link]

Remote Link画面が表示されます。

- ・初めて起動したときはチュートリアルが表示されます。表示される画面に従って操作してください。
- ・Remote Link起動中は自動的にBluetooth®機能がオンになります。

2 [デバイス検索]

検索結果が一覧表示されます。

3 接続先のパソコンをタップ

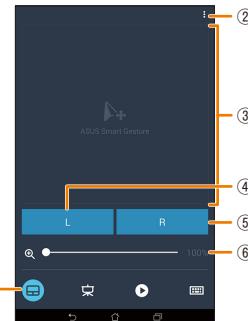
接続が成功すると、操作画面が表示されます。

- ・ペア設定が必要な旨のメッセージが表示された場合は、[OK]→[使用可能なデバイス]リストに表示されている接続先のパソコンをタップ→本製品と接続先のパソコンで、それぞれ画面の指示に従って操作してください。
- ・一度接続したパソコンは次回からは「接続先"XXXX"」と表示され、タップして接続できます。

Remote Linkを操作する

Remote Link操作画面には以下の4つのモードがあり、画面下のアイコンをタップして切り替えることができます。

■ タッチパッドモード



① タッチパッドモード起動ボタン

② メニュー: タップして[切断]→[OK]と操作すると、Remote Linkの接続を切断します。

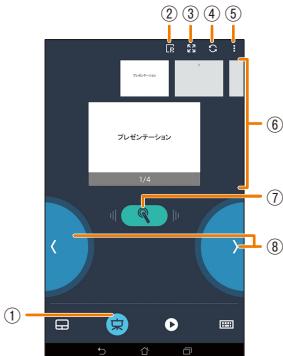
③ タッチパッド

④ マウスの左ボタン

⑤ マウスの右ボタン

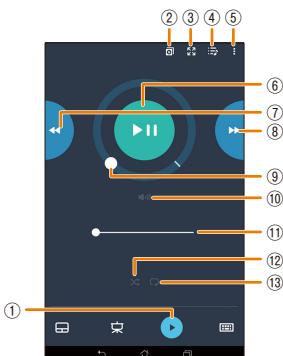
⑥ 画面の拡大／縮小スライダー

■ プレゼンテーションモード



- ① プrezentationモード起動ボタン
- ② 起動:パソコンでPowerPointを起動します。
- ③ 全画面:タップするたびに全画面表示(スライドショー)と元の画面サイズを切り替えます。
- ④ 同期:パソコンで開いているPowerPointファイルと表示を同期します。
- ⑤ メニュー:タップして[切断]→[OK]と操作すると、Remote Linkの接続を切断します。
- ⑥ スライドレビュー:スライドのレビュー画面を表示します。上部の小さい画面をタップして表示するスライドを切り替えることができます。
- ⑦ ポインター:ロングタッチしながら本製品をパソコンの画面に向けて動かすと、ポインターを動かすことができます。
- ⑧ スライド切替:表示するスライドを切り替えます。

■ メディア再生モード



- ① メディア再生モード起動ボタン
- ② 起動:パソコンでWindows Media Playerを起動します。
- ③ 全画面:タップするたびに全画面表示と元の画面サイズを切り替えます。
- ④ プレイリスト:再生するプレイリストを選択します。
- ⑤ メニュー:タップして[切断]→[OK]と操作すると、Remote Linkの接続を切断します。
- ⑥ 再生／一時停止
- ⑦ 前の曲
- ⑧ 次の曲
- ⑨ 音量調節スライダー
- ⑩ ミュート
- ⑪ 再生位置スライダー
- ⑫ シャッフル
- ⑬ リピート

■ キーボードモード



- ① キーボードモード起動ボタン
- ② 音声入力:タップするとGoogle音声入力が起動します。
- ③ メニュー:タップして[切断]→[OK]と操作すると、Remote Linkの接続を切断します。
- ④ メッセージ入力欄:キーボード入力や音声入力した内容が表示されます。
- ⑤ 入力:パソコンで文字入力欄を選択した状態でタップすると、メッセージ入力欄の内容が入力されます。
- ⑥ キーボード

PC Linkを利用する

USB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブル01(別売)で本製品とWindowsのパソコンを接続して、パソコンのディスプレイに本製品の画面を映したり、パソコンのキーボードとマウスで操作することができます。
PC Linkを行うには、接続先のパソコンに専用のソフトウェア「PC Link」をインストールする必要があります。

memo

◎ Windows 7／Windows 8／Windows 8.1のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

パソコンにソフトウェアをインストールする

- 1 接続するパソコンで[<http://pclink.asus.com>]にアクセス
- 2 インストーラーをダウンロード
- 3 インストーラーを起動し、画面の指示に従ってインストール

本製品とパソコンをPC Linkで接続する

- PC Linkを利用するには本製品でUSBデバッグを許可する必要があります。操作中に確認メッセージが表示された場合は、内容を確認して許可を選択してください。

1 ホーム画面で[■]→[PC Link]

[USB接続待機中]と表示されます。

- 初めて起動したときはチュートリアルが表示されます。表示される画面に従って操作してください。

2 USB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブル01(別売)で本製品とパソコンを接続

- USB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグは、プラグの向きを確認して本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込みます。
- USB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブル01(別売)のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。

3 パソコンでデスクトップのショートカットまたはスタートメニューからPC Linkを起動

PC Link画面が表示されます。

4 パソコンのPC Link画面で[接続]をクリック



本製品の表示内容がパソコンのPC Link画面に表示されます。

- Windows用の入力方式に切り替える旨のメッセージが表示された場合は、[OK]を選択します。

PC Linkモードで操作する

パソコンのPC Link画面を見ながら、パソコンに接続されたキーボードやマウスで本製品を操作できます。



- メニュー表示／非表示ボタン:[]をクリックすると操作メニュー(⑤～⑨)が表示されます。
- 最小化ボタン:PC Link画面を最小化します。
- 画面表示切替ボタン:タップするたびに全画面表示と元の画面サイズを切り替えます。
- 閉じるボタン:PC Linkを終了します。
- 画面回転:本製品の縦／横画面表示を切り替えます。
- ボリューム:本製品の音量を調節します。
- スクリーンショット:本製品に表示されている画面のスクリーンショットを撮影します。スクリーンショットは本製品とパソコンの両方に保存されます。
- 電源:本製品のスリープモードへの移行／解除を行います。
- 設定:PC Linkの設定を行います。

NFCを利用する

NFCとは

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。リーダー／ライター機能(R/W)、機器間通信機能(P2P)などが本製品でご利用いただけます。NFCを利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのNFC対応アプリをダウンロードする必要があります。

NFCご利用にあたって

- NFC対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供者にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、NFCで提供するサービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電池残量がなくなった場合、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。

NFC機能を有効にする

1 ホーム画面で[■]→[無線とネットワーク]の[その他...]

2 [Reader/Writer, P2P]にチェックを付ける

ステータスバーに[■]が表示されます。

- Android Beamをオンにするには、[Android Beam]→[OFF]をタップして[ON]にします。

memo

◎[クリック設定]パネルからもNFCのオン／オフを切り替えることができます
(▶P.23)。

Android Beamでデータを送受信する

NFC機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- Android Beamでデータを送受信するには、あらかじめ[Reader/Writer, P2P]を有効にし、[Android Beam]を[ON]に設定してください。
- すべてのNFC機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

■ データを送信する

例：連絡先(顔写真なし)を1件送信する場合

1 ホーム画面で[■]→[連絡帳]→送信する連絡先をタップ

2 本製品の本体背面にあるNFCマークを、受信側の端末のNFCマークと向かい合わせる

連絡先をタップしてビームする画面が表示されます。



3 画面をタップ

■ データを受信する

1 送信側の端末と、NFCマークを向かい合わせる

memo

◎アプリによってはAndroid Beamをご利用になれません。

◎通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしても一度かざしてください。

NFCタグリーダーを利用する

NFCタグを読み込んだり、NFCデータを書き込んだりすることができます。

1 ホーム画面で[■]→[NFCタグリーダー]

- 初めて起動したときは、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 項目をタップ

Share	NFC機能を持つ相手側の機器との間で連絡先などの各種データを送受信します。
Writing	NFCタグに書き込む情報を設定し、NFCタグにかざして書き込みます。
History	NFC機能の履歴を表示します。

Setting

NFC SettingやApp Settingを行います。

- App SettingではNFCタグリーダーの設定などをします。
[自動起動] [メインカラー選択] [効果音] [NFCタグ認識音] [NFCタグ書き込み音] [バイブレーション] * [利用規約]
※本製品はバイブレーション機能を搭載していないため、この設定は無効です。

NFCデータをやりとりする

本製品背面のNFCマークをNFCタグにかざしたり、NFC機能を持つ機器間同士でNFCマークを近づけたりすることで、NFCデータのやりとりができます。

Androidアプリを利用する

Google Playやauスマートパスを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを本製品にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリのフィードバックや意見を送信することができます。

Google Playを利用する

Googleが提供するGoogle Playから、便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリをダウンロード・インストールして利用できます。

- アプリのインストール／ご利用については、「アプリについて」(▶P.12)をご参照ください。
- Google Playの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントを設定する」(▶P.17)をご参照ください。

1 ホーム画面で[■]→[Playストア]

Playストア画面が表示されます。

- 利用規約の同意画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ 有料のアプリを購入するときは

有料アプリを購入する場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。支払いは、auかんたん決済またはGoogleウォレットを利用します。auかんたん決済とはauのサービスで、アプリの購入代金を月々のケータイ料金と合算してお支払いいただくサービスです。GoogleウォレットはGoogleのサービスです。

・アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■ 収録を請求する

購入後、一定時間内であれば返金を請求できます。クレジットカードには課金されず、アプリは本製品からアンインストールされます。

・返金請求は、各アプリに対して最初の一回のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金請求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金請求はできません。

■ ヘルプを確認する

Google Playについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、Playストア画面で画面左上の[■]→[ヘルプ]と操作します。

アプリをアンインストールする

1 ホーム画面で[■]→[Playストア]

Playストア画面が表示されます。

2 画面左上の[■]→[マイアプリ]

過去にダウンロードしたアプリが一覧表示されます。

- 画面左から右へスライドして操作することもできます。

3 アンインストールするアプリをタップ→[アンインストール]→[OK]

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額372円(税抜)で、アプリ取り放題、会員特典としてのお得なクーポンやプレゼント、大切な写真や動画・連絡先のお預かりサービス、セキュリティアプリなど、タブレットを安心・快適にご利用いただけるサービスです。

- 利用方法などの詳細については、「auスマートパスTOPページ右下の[その他]→[設定]→[ヘルプ]」と操作してヘルプをご参照ください。
- ご利用には、au IDが必要です。
au IDの設定方法については、「au IDの設定をする」(▶P.18)をご参照ください。
- ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額サービスへの加入をおすすめします。
- 一部アプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面で[■]→[auスマートパス]

auスマートパスTOPページが表示されます。

- 初めて起動したときは設定画面などが表示されます。表示される画面に従って操作してください。
- auスマートパスにご加入いただいたい場合は、auスマートパスTOPページ右下の[その他]→[設定]→[auスマートパス/退会]をタップして、入会手続きを行ってください。

2 項目をタップ

タイムライン	ニュースや天気、クーポン、イベント情報など、便利でお得な情報が表示されます。右上の[≡]をタップして設定を変更できます。
アプリ	利用したいアプリを検索してダウンロードできます。
会員特典	auスマートパス会員が使える特典を確認・利用できます。
au WALLET	au WALLETの情報やポイントの確認などができます。
その他	auスマートパスの設定やau Cloudにバックアップされている写真や動画の閲覧ができます。

memo

- サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
- アプリなどによりお客様が操作していない場合でも自動的にパケット通信が行われる場合があります。
- ご利用になれるコンテンツは機種によって異なる場合があります。
- 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

ハングアウトを利用する

ハングアウトは、Googleのインスタントメッセージサービスです。ハングアウトを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- ハングアウトの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントを設定する」(▶P.17)をご参照ください。
- 利用方法の詳細については、ハングアウト起動中に[■]→[ヘルプ]と操作してハングアウトのヘルプをご参照ください。

1 チャットを開始する

1 ホーム画面で[■]→[ハングアウト]

- ハングアウト画面が表示されます。チャットする相手の名前をタップすると、チャット画面が表示されます。
- チャット画面で[■]をタップすると、ビデオハングアウトに切り替えることができます。

2 チャット画面のメニュー操作

- チャット画面表示中に[■]をタップすると、グループチャットや履歴のオン／オフなどの操作ができます。
- チャットのメッセージはGmailの[チャット]ラベルに保存されますが、履歴をオフにすると保存されません。

■ ハングアウト画面のメニュー操作

ハングアウト画面で[+]をタップすると、名前やメールアドレス、電話番号を入力して新しいメンバーを追加することができます。

また、ハングアウト画面で[■]をタップすると、ハングアウトリクエストや設定などの操作ができます。

■ ハングアウトの機能を設定する

■ 新着メッセージ通知を設定する

1 ハングアウト画面で[■]→[設定]

2 アカウントを選択→必要な項目を設定

■ ログアウトする

新着メッセージを受け取らないときはログアウトします。

1 ハングアウト画面で[■]→[設定]

2 アカウントを選択→[ログアウト]→[OK]

memo

◎ハングアウトを終了しても新着メッセージを受け取りたいときはログアウトしないでください。

◎ビデオハングアウトでチャットしている場合は、ビデオハングアウトを終了してからログアウトしてください。

■ カレンダーで予定を管理する

カレンダーを利用してスケジュールを管理したり、Googleカレンダーと同期することができます。

- Googleカレンダーと同期するには、Googleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントを設定する」(▶P.17)をご参照ください。

■ 予定を登録する

1 ホーム画面で[■]→[カレンダー]

2 [予定を作成]

3 複数のカレンダーを設定している場合は、画面上部の[▼]→予定を登録するカレンダーをタップ

4 予定のタイトルなど、必要な項目を入力

- [通知]を設定すると、開始日時からどのくらい前に通知するかを設定できます。

5 [完了]

memo

◎予定を作成したときに標準で設定されている事前通知(予定の開始時間よりものくらいう前に通知するか)は、次の操作で変更することができます。

カレンダー画面で[■]→[設定]→[デフォルトの通知時間]→時間をタップ

◎次の操作でも予定を登録できます。

- カレンダー上の日時をロングタッチ→[新しい予定]
- 日時をタップ→[+]

■ 通知を確認する

予定に通知を設定したときは、通知時間になるとステータスバーに[■]が表示されます。

1 ステータスバーの通知アイコン表示エリアを下方向にスライド→予定通知情報をタップ

予定詳細画面が表示され、通知が解除されます。

- 通知を約5分後にもう一度通知する場合は[スヌーズ]をタップします。

予定の内容を確認する

カレンダーを1ヶ月、1週間、1日単位や予定リストで表示することができます。予定をタップして詳細を確認したり、編集／削除することができます。

1 ホーム画面で[■]→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

2 画面左上のカレンダーアイコン→[月]/[週]/[日]/[予定リスト]

表示する単位が切り替わります。

- ・[今日]をタップすると、今日を含む表示に切り替わります。
- ・カレンダーは上下左右にフリックしたりスライドすることができます。

3 予定をタップ

- ・[□]／[□]をタップすると、予定を編集／削除できます。繰り返す予定の場合は、編集／削除する予定の範囲を選択します。

memo

◎週の表示で日付をタップすると、日単位の表示に切り替わります。

カレンダーの機能を設定する

Googleカレンダーを用途別に複数作成している場合にどのカレンダーを本製品に表示するか選択したり、予定が通知時刻になったときの動作の設定などができます。

■複数のGoogleアカウントやカレンダーを設定している場合

1 週／日表示のカレンダー画面で[■]→[コントロールを表示]

設定しているGoogleアカウントやカレンダーが一覧で表示されます。

2 表示するGoogleアカウントやカレンダーをタップ

- ・タップするごとに、表示の設定を変更できます。

■カレンダーの設定をする場合

1 カレンダー画面で[■]→[設定]

- ・[アカウント]をタップすると、同期の設定を変更したり、アカウントを追加できます。

2 必要な項目を設定

- ・[辞退した予定を非表示]にチェックを付けると、招待状が届いた予定の参加を辞退した場合に、その予定をカレンダーに表示しないように設定できます。

What's Nextを利用する

What's Nextは、カレンダー、連絡帳、SNS、天気、メールなどの様々な情報をもとに、大切なイベントやタスクを自動的に通知するリマインダーサービスです。

通知を確認する

お買い上げ時にはホーム画面やロック画面にWhat's Nextウィジェットが表示されています。

新着通知がある場合は、ステータスバーに[■]が表示されます。ステータスバーの通知アイコン表示エリアを下方向にスライド→What's Nextからのお知らせをタップするとWhat's Next画面で詳細を確認できます。

What's Next画面を手動で起動して確認することもできます。

1 ホーム画面で[■]→[What's Next]

通知項目の一覧が表示されます。タップすると対応するアプリが起動します。

設定を変更する

1 ホーム画面で[■]→[What's Next]→[■]→[設定]

2 必要な項目を設定

What's Next	What's Nextのオン／オフを設定します。
What's Next	ロック画面にWhat's Nextウィジェットを表示するかどうかを設定します。
通知	新着通知がある場合に、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音の選択	新着通知を知らせる着信音を選択します。
ロケーションのリマインダー	ロケーションリマインダーのオン／オフを設定します。
バージョン情報	利用中のバージョンや利用規約を確認できます。

やることリストを利用する

タスクを一覧表示で分かりやすく管理できます。

他のアプリから、面白い記事や動画、大切なメールなど、後で忘れずに確認したいことをタスクとして追加することもできます。

Googleアカウントと同期すると、Googleアカウント上のタスク情報も表示、管理することができます。

- ・Googleアカウントと同期するには、本製品にGoogleアカウントを設定する必要があります。詳しくは、「Googleアカウントを設定する」(▶P.17)をご参照ください。

タスクを追加する

■純粋なタスクを追加する

1 ホーム画面で[■]→[やることリスト]

2 [■]

3 複数のリストがある場合は、画面上部の[▽]→タスクを追加するリストをタップ

4 タスクのタイトルなど、必要な項目を入力

- ・[リマインダー]を設定すると、設定した時刻にステータスバーに[✓]が表示されます。

5 [OK]

■他のアプリから追加する

やることリストに対応しているアプリからタスクを追加できます。

■例：ブラウザから後で読みたいページを追加する

1 ホーム画面で[■]

2 後で読みたいページを表示中に[■]→[後で読む]

■例：PCメールから後で読みたいメールを追加する

1 ホーム画面で[■]→[メール]

2 受信トレイ画面で後で読みたいメールをロングタッチ→[後で読み取る]

タスクを管理する

1 ホーム画面で[■]→[やることリスト]

タスクの一覧が表示されます。

- [■]をタップして表示するアカウント／タスクの種類／リストを切り替えることができます。
- 表示中のタスクの種類／リスト名をタップしてタスクの種類ごとに表示を切り替えることができます。
- [■]→[更新]と操作すると、タスクの一覧を更新します。

2 タスクごとに管理する

- [✓]をタップして完了／未完了を切り替えます。
- [!]をタップして重要性の通常／高を切り替えます。高に設定されたタスクは一覧の上部に表示されます。
- タスク情報をタップすると編集画面が表示されます。タスク名や締め切り、リマインダー、重要性を設定できます。
- 他のアプリから追加したタスクの下部の[今読む] [今チェックする]などをタップするとそのアプリが起動し、タスクのステータスは自動的に完了に変わります。

設定を変更する

1 ホーム画面で[■]→[やることリスト]→[■]→[設定]→[一般設定]

2 必要な項目を設定

通知	タスクに[リマインダー]を設定した場合に、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音の選択	リマインダーの着信音を選択します。
やることリストについて	利用中のバージョンや法律情報を確認できます。

スクリーンショットシェアを利用する

表示中の画面を簡単な操作で撮影、保存できます。撮影したスクリーンショットにスタンプを押したり、編集してFacebookなどのSNSやEメールで友達と共有できます。

- お買い上げ時は、スクリーンショットシェアでスクリーンショットを撮影できません。ホーム画面で[■]→[スクリーンショットシェア]と操作するか、ステータスバーの通知アイコン表示エリアを下方に向にスライド→[スクリーンショットシェア]と操作して、スクリーンショットシェアを起動すると撮影できるようになります。

撮影する

1 スクリーンショットを撮影する画面で画面左上端の領域から中央に向けてスライド



- ① 画面添付切替ボタン：撮影した画像を添付するかどうかを切り替えます。
- ② テキストエリア：画像を他のアプリに共有する際に入力した文字を連携できます。

- ③ 送信先アプリ選択ボタン：画像をメールアプリやSNSアプリに連携します。

表示されているアプリを変更する場合は、変更するアプリをロングタッチし、[エリア内までアイコンを運び離すと削除されます]にドラッグします。アプリが削除された後[追加]をタップし、アプリを選択します。

- ④ 編集ボタン

- ⑤ 保存ボタン

- ⑥ 設定ボタン：設定を変更できます(▶P.72)。

- ⑦ 情報追加ボタン：タップすると、マップの位置や、表示されているアプリの詳細説明ページのURLなどの情報をテキストエリアに追加できます。

memo

◎スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置は、スクリーンショットシェア画面で[設定]→[スライド位置設定]と操作して設定できます。

画像を編集する

スクリーンショットシェア画面で[編集]をタップすると、画像を編集できます。トリミング・画像の回転・画像にスタンプを押すことができます。

画像を他のアプリへ連携する

送信先アプリ選択ボタンに画像を共有するアプリ(SNSやEメール)を登録できます。登録したアプリのアイコンをタップすると、テキストエリアに入力したメッセージやURLと一緒に画像をSNSに投稿したり、Eメールで送信できます。

設定を変更する

1 ホーム画面で[■]→[スクリーンショットシェア]

2 必要な項目を設定

スクリーンショット設定	スクリーンショットシェアを利用するかどうかを設定します。
スライド位置設定	スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置を設定します。
クリップボード設定	共有時にテキスト入力欄に入力したテキストをコピーするかどうかを設定します。Facebookなど、送信先のアプリでテキストの連携ができない場合は、[保存する]に設定して、送信先のアプリでテキストを貼り付けてください。
auスマートパスアプリ情報設定	情報追加ボタンでauスマートパスの情報を付加するかどうかを設定します。
バイブ設定	スクリーンショットを撮影するときにバイブレータを振動させるかどうかを設定します。 ※本製品はバイブレーション機能を搭載していないため、この設定は無効です。
ヘルプ	スクリーンショットシェアのヘルプを表示します。

ドライブを利用する

ドライブは、Googleのオンラインストレージサービスです。オンライン上に写真や動画、ドキュメントなどのファイルを保存したり、共有することができます。ファイルは最大15GBの保存容量まで無料でアップロードできます。

- ・ドライブの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントを設定する」(▶P.17)をご参照ください。
- ・利用方法の詳細については、ドライブ起動中に[?]→[ヘルプ]と操作してドライブのヘルプをご参照ください。

フォルダまたはファイルを作成する

1 ホーム画面で[■]→[ドライブ]

マイドライブ画面が表示されます。

- ・初めて起動したときはドライブの紹介画面が表示されます。表示される画面に従って操作してください。

2 [作成]→[フォルダ]／[文書]／[スプレッドシート]

表示される画面に従って名前の設定や編集を行います。

マイドライブに、作成したフォルダ／文書／スプレッドシートが保存されます。

ファイルをアップロードする

1 マイドライブ画面で[アップロード]

2 アプリを選択→ファイルを選択

フォルダまたはファイルを操作する

1 マイドライブ画面でフォルダまたはファイルをロングタッチ

2 項目をタップ

送信*	ファイルをBluetooth®やメール添付などで送信します。
移動先...	フォルダまたはファイルを移動します。
この端末に保存*	ファイルを本製品に保存して、オフラインで利用できます。
開く*	ファイルを対応するアプリで開きます。
リンクを送信	フォルダまたはファイルを共有する相手にリンクを送信し、リンクを受け取った相手がフォルダまたはファイルにアクセスできるようにします。
ダウンロード*	ファイルをダウンロードします。ダウンロード完了は通知で確認できます。
名前を変更	フォルダ名またはファイル名を変更します。
印刷*	ファイルをクラウド対応のプリンタで印刷します。
削除	フォルダまたはファイルを削除します。

*ファイルのときのみ選択できます。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。

- ・Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。
- ・利用方法などの詳細については、Googleマップの地図表示中に[?]→[ヘルプ]をタップしてGoogleマップのヘルプや、Googleのホームページをご覧ください。

memo

◎ Googleマップで現在地を検索する場合は、現在地の検索方法を設定してください(▶P.92)。

◎ Googleサービスなどに現在地情報を送信して、サービスをより便利に利用したい場合は、位置情報アクセスの設定を行ってください(▶P.92)。

地図を表示する

1 ホーム画面で[?]→[地図]

・初めて起動したときは利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

- ・次の方法で画面を操作できます。

地図の縦／横表示切替:本製品を縦または横に持ち替える([画面の自動回転]がオンの場合)

地図の拡大／縮小:画面をピンチアウト／ピンチイン

拡大:画面をダブルタップ

縮小:画面を2本の指で同時にタップ

見たい部分を表示(スクロール):画面をスライド

ストリートビューを見る

1 地図表示中に、ストリートビューで表示する地点をロングタッチ

2 画面に表示された情報をタップ→[ストリートビュー]

- ・ストリートビュー表示中に[?]をタップしてコンパスモードをオンにすると、本製品の向きに合わせて表示方向が変わります。アイコンが表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。

memo

◎ ストリートビューに対応していない地域もあります。

興味のある場所を検索する

1 地図表示中に検索欄をタップ

2 検索する場所を入力

- ・住所、都市、ビジネスの種類や施設(例: ロンドン 美術館)を入力できます。

3 キーボードの[?]または検索候補をタップ

地図が表示されます。

- ・画面に表示された情報をタップすると、その場所の詳細情報と利用できる機能が表示されます。
- ・検索結果が複数ある場合は、地図上の赤丸をタップ→画面に表示された情報をタップするか、「検索結果一覧」→目的の場所をタップすると、その場所の詳細情報と利用できる機能が表示されます。

memo

◎ 場所によって利用できる機能は異なります。

レイヤを表示する

地図表示に航空写真を追加したり、路線図を表示したりできます。

1 地図表示中に[?]

2 表示する項目を選択

memo

◎ 交通状況と公共交通機関は提供地域が限定されています。

道案内を取得する

1 地図表示中に[マ]

2 出発地を入力→目的地を入力

3 [車] (車) / [電] (公共交通機関) / [歩] (徒歩) →好みのルートを選択

地図上にルートが表示されます。

音声レコーダーを利用する

音声を録音できます。

1 ホーム画面で[■]→[音声レコーダー]

音声録音画面が表示されます。

- 画面右上の[?]をタップすると記録品質やデフォルトのファイル名を設定できます。

2 [■]

録音が開始されます。

3 [■]

録音が停止します。

4 [完了]

- 録音を取り消す場合は[削除]をタップします。

memo

- 音声を再生するには、音声録音画面右上の[■]→再生する音声ファイルをタップします。
- 音声録音画面右上の[■]→音声ファイルをロングタッチすると名前の変更、他のアプリで共有、削除などの操作が行えます。
- 音声ファイルは内部ストレージ(/sdcard/AsusSoundRecorder)に保存されます。

電卓を使う

加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行うことができます。

1 ホーム画面で[■]→[電卓]

2 計算する

- [C·CE]:計算中にタップすると最後に入力した1文字を消去します。ロングタッチすると入力した文字をすべて消去できます。
- [=]をタップした後にタップすると、計算結果を消去します。
- [Deg] / [Rad]:タップするたびに関数電卓の角度モードをDegree(度)モードとRadian(ラジアン)モード間で切り替えます。現在のモードは画面左上に表示されます。

memo

- [■]→[履歴を消去]をタップすると履歴を消去できます。
- 式や計算結果をロングタッチすると切り取り／コピー／貼り付けができます。
- [画面の自動回転]がオンの場合、横表示にすると、関数電卓に切り替わります。

auお客さまサポートを利用する

auの端末の契約内容や日々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

・利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に[■]→[ヘルプ]と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参考ください。

1 ホーム画面で[■]→[auお客さまサポート]

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。

- 初めて起動したときは設定メニューが表示され、アカウント設定および自動更新設定が行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「[アカウントを設定せずに利用する]」をタップします。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「[同意する]」をタップしてください。

2 項目をタップ

確認する	auの端末の契約内容や日々の利用状況などを簡単に確認できます。
変更する	auの端末の契約内容を変更できます。
操作・設定・トラブル	機種別の操作設定ガイドやお問い合わせの多いQ&Aを確認できます。
おすすめアプリ	各種サポートアプリを利用できます。
auスマートサポート	会員制サポートサービスで、使いかたやタブレットの疑問などを専任チームのアドバイザーがサポートしてくれます。
お客さまセンターからのメッセージ	お客さまセンターからのメッセージを確認できます。

memo

- 画面右上の[■]をタップすると、各種お問い合わせ先窓口や設定メニューなどが表示されます。

安心セキュリティパックを利用する

安心セキュリティパックでできること

「リモートサポート」「ウイルスバスター™ for au」を利用して、さまざまなセキュリティ機能とサポートサービスをご利用になれます。

- 安心セキュリティパックは有料です。
- 3LM Securityはご利用いただけません。

memo

- 安心セキュリティパックは、auスマートサポートと併用できません。auスマートサポートのご解約と一緒に安心セキュリティパックへお申し込みください。
- 安心セキュリティパックをお申し込みいただいた場合、「ウイルスバスター™ for au」のセットアップを行ってください。

■ リモートサポート

- タブレットの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレータがお客様のタブレットの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

■ ウイルスバスター™ for au

- 不正アプリ対策
アプリのインストール時にファイルをスキャンして、不正アプリのインストールを防止します。また、インストール済みアプリを手動でスキャンして削除することもできます。
- Webフィルタ
ギャンブルや出会い系サイトなど、青少年に不適切なサイトへのアクセスをブロックします。
- Web脅威対策
ウイルス、不正アプリの配布元サイトや、フィッシング詐欺サイトなど不正サイトへのアクセスを未然にブロックします。
- SMSブロック
SMSの着信拒否だけでなく、特定のキーワードを含むメッセージをブロックすることができます。
- プライバシースキヤン
アプリが個人情報を漏えいする可能性がある場合、警告を表示します。

リモートサポートを利用する

1 お客さまセンターまでお問い合わせ

2 ホーム画面で[■]→[リモートサポート]

起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意する]をタップしてください。

3 オペレータの指示に従って操作

ウイルスバスター™ for auを利用する

1 ホーム画面で[■]→[auお客さまサポート]→[おすすめアプリ]→[安心セキュリティパック]→[安心セキュリティパック]→[ウイルス・Web脅威対策とWebフィルタリング (ウイルスバスター™for au)]

- [アプリをダウンロードする]が表示された場合は、画面の指示に従ってアプリをダウンロードしてください。

2 [アプリを起動する]

- 初めて起動したときは、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、チェックを付けて[開始]をタップしてください。

3 項目をタップ

4 画面の指示に従って操作

memo

◎インストール後は、ホーム画面で[■]→[ウイルスバスターfor au]でも同様に操作できます。

◎Webフィルタは、Android標準ブラウザでのLTE NET、無線LAN(Wi-Fi®)接続時に有効です。

auスマートサポートを利用する

auスマートサポートでできること

24時間365日体制*のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「リモートサポート」を利用して、遠隔操作によるサポートサービスを利用することができます。

その他、「スマホお試しレンタル」など初心者の方でも安心してauの端末をご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。
※23時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。

memo

◎auスマートサポートは、安心セキュリティパックと併用できません。安心セキュリティパックのご解約と同時にauスマートサポートへお申込みください。

◎ウイルス・Web脅威対策は安心セキュリティパックのご解約により適用されなくなります。お客様にて別途セキュリティ対策を行なうことをおすすめいたします。詳しくはお客さまセンターへお問い合わせください。

◎「リモートサポート」のご利用にあたっては、「安心セキュリティパックでできること」の「リモートサポート」(P.74)をご参照ください。

リモートサポートを利用する

1 auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

「リモートサポート」をご希望の端末以外からお電話ください。

2 ホーム画面で[■]→[リモートサポート]

起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意する]をタップしてください。

3 アドバイザーの指示に従って操作

スマートフォン自動診断を利用する

スマートフォン自動診断でできること

- auの端末の設定や状態を自動的に診断し、問題が見つかった場合は、自動的に修復したり、修復方法を確認することができます。
- auの端末の設定や状態以外にも、契約状況に問題がある場合は、状況を確認することができます。
- コンディションレコーダーの機能により、auの端末を好調だった時点に戻すことができます。
- auの端末の状態によっては、インストール済みのアプリをバージョンアップすることにより修復できる場合もあります。
- 診断コードを使用した修理相談ができます。

1 ホーム画面で[■]→[auお客さまサポート]→[おすすめアプリ]→[スマートフォン自動診断]→[アプリを起動する]

- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、[同意する]をタップしてください。

2	自動診断	[問題を検出する]をタップすると診断を開始します。診断が終了したら[次へ]をタップして診断結果および修復結果と、修復方法を確認してください。
	アプリの更新	インストール済みのアプリのバージョンアップによる修復を行います。アプリの種類([Google Playアプリの更新]または[auマーケットアプリの更新])を選んでください。
	コンディションレコーダー	自動診断で解決しなかった場合、グラフによりauの端末の調子を確認し、指定の日時の状態に戻すことができます。詳細は[ヘルプ]をタップしてください。
	修理相談	画面に表示された診断コードを使用して、安心ケータイサポートセンターに修理相談をすることができます。

memo

◎トップメニューの[サービス概要]をタップすると、スマートフォン自動診断アプリの操作についての詳細を確認できます。

自動診断

◎診断終了後に[よくあるご質問]が表示されます。そちらもご確認ください。

コンディションレコーダー

◎指定した日時の状態に戻すと、その間に行なった一切の変更(アプリのインストール、アンインストール含む)が元に戻ります。

◎本アプリは、本アプリをインストールしてから、auの端末の状態を記録し始めます。

本アプリを利用する前の状態には情報がないため、戻せません。

◎過去の状態に戻して何らかの不都合が生じた場合は、再度今の状態に戻すことも可能です(ただし、一部データを除く)。詳細は[ヘルプ]をタップしてください。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービス、災害情報／義援金サイトを利用できるアプリです。

1 ホーム画面で[]→[au災害対策]

au災害対策メニューが表示されます。



《au 災害対策メニュー》

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのauの端末に一斉にお知らせするサービスです。

※お買い上げ時は、緊急速報メール(緊急地震速報および災害・避難情報)の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。

津波警報を受信した時は、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニューで[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。

確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

2 項目をタップ

削除		受信したメールを削除します。
設定	受信設定	緊急地震速報:緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 災害・避難情報:災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。
通知設定	音量:受信音の音量を設定します。 バイブ:受信時にバイブレーターが動作するかどうかを設定します。 ※本製品はバイブレーション機能を搭載していないため、この設定は無効です。 マナー時の鳴動:マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。	
受信音／バイブ確認	緊急地震速報:緊急地震速報の受信音を確認します。 災害・避難情報:災害・避難情報および津波警報の受信音を確認します。	

memo

- ◎緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。
※緊急地震速報の場合は、警報音と音声(「地震です!」)で通知します。
- ◎緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
- ◎地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まると数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
- ◎震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
- ◎津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報、津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。
- ◎災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかる情報をお知らせするものです。
- ◎日本国内のみのサービスです(海外ではご利用になれません)。
- ◎緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
- ◎当社は、本サービスに関する情報の不適・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
- ◎気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
<http://www.jma.go.jp/>
- ◎電源を切っているときは、緊急速報メールを受信できません。
- ◎SMS／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル、地下など)や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
- ◎受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
- ◎テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
- ◎お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にauの端末で音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニューで[災害用音声お届けサービス]

災害用音声お届けサービス画面が表示されます。

■ 音声を送る(送信)

1 災害用音声お届けサービス画面で[声をお届け]→[①お届け先を選択]*→[②お届けしたい声を録音]

*お届け先は、連絡帳からも選択可能です。

■ 音声を受け取る(受信)

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信(ダウンロード)し、再生することができます、聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

- Wi-Fi®でのご利用には、LTEネットワークにて初期設定が必要になります。
- 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
- auの端末間、および他社携帯電話・PHSと相互にやりとりが可能です。
- メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
- 本体(メモリ)に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
- 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

災害情報／義援金サイトを利用する

自治体が配信した災害・避難情報の履歴や、災害情報ポータル、義援金サイトなどを確認できます。

1 au災害対策メニューで[災害情報／義援金サイト]

確認したい項目を選択してください。

安心アクセス for Android™を利用する

お子様にauの端末を安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。

お子様の年代に合わせて、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリを個別に制限／許可を保護者がカスタマイズすることも可能です。また、保護者が指定した相手先にのみ通話を制限したり、夜間などauの端末のご利用を制限することもできます。

- ご利用には、au IDが必要です。au IDの設定方法については「au IDの設定をする」(▶P.18)をご参照ください。

1 ホーム画面で[■]→[安心アクセス]

アイコンをタップすると「安心アクセス for Android」のダウンロードページが表示されます。画面の指示に従ってダウンロード、およびインストールをしてください。

正常にインストールが完了したら[アプリ起動]をタップしてください。初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意する]をタップし、画面の指示に従って操作してください。

2 [au IDでログイン]→[ログイン]

画面の指示に従って操作してください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生向け	<ul style="list-style-type: none">お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。EMA*が認定するサイト／アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	<ul style="list-style-type: none">お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。EMA*が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生向け	<ul style="list-style-type: none">お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。EMA*が認定するサイト／アプリは利用可能です。

*一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 利用規約を確認→[規約に同意してサービスを利用開始する]→[OK]

デバイス管理者を有効にする画面が表示されます。

6 [有効にする]

ウェブページが表示されます。

管理者情報を登録する

- 1 ホーム画面で[田]→[安心アクセス]
- 2 [ここをタップして、安心アクセス for Android™の管理者IDを登録してください。]
- 3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]
- 4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]
管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。
- 5 [申請する]
管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。
- 6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力
→[管理者登録を行う]→[OK]

管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

※以下の手順でお子様のauの端末から利用することも可能です。

- 1 ホーム画面で[田]→[安心アクセス]
- 2 [田]→[設定]→[管理者ページ]
- 3 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]
- 4 項目をタップ

管理者情報	管理者ID(メールアドレス)やパスワードの変更ができます。
スマホ情報	管理しているauの端末の名前を設定できます。
フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。

- 詳しくはauホームページをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access>

ファイル管理

ストレージについて	80
メモリの使用量を確認する	80
本製品をパソコンと接続して操作する	80
USBホスト機能を利用する	80
デジタルメディアサーバーを設定する	81
PlayToで外部機器に表示する	81

ストレージについて

- 本製品では、本体の内部ストレージと、本製品に取り付けたmicroSDカードにデータを保存できます。
- ・内部ストレージには、Eメール(@ezweb.ne.jp)のバックアップデータ、アプリ、写真、動画などが保存されます。
 - ・Eメール(@ezweb.ne.jp)のバックアップデータは、microSDカードが取り付けられている場合はmicroSDカードに保存されます。
 - ・アプリによっては、データの保存先としてmicroSDカード／内部ストレージのどちらかを選択できます。
 - ・microSDカードの取り付け方法などについては、「microSDカードを取り付ける／取り外す」(▶P.15)をご参照ください。
 - ・内部ストレージやmicroSDカードの内容は、「ファイルマネージャー」(▶P.59)を利用すると、データを確認したり、フォルダやファイルのコピー、移動、削除などの管理を行うことができます。

メモリの使用量を確認する

内部ストレージとmicroSDカードのそれぞれの合計容量、空き容量を確認できます。

- ・内部ストレージではデータ種別ごとの使用量が表示されます。データ種別をタップすると詳細を確認することもできます。

1 ホーム画面で[]→[ストレージ]

本製品をパソコンと接続して操作する

USB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブル01(別売)で本製品とパソコンを接続して、本製品の内部ストレージやmicroSDカード内のデータを操作できます。次の方で接続できます。

メディアデバイス(MTP):本製品をメディアデバイスとして接続して、すべてのデータを操作できます。

カメラ(PTP):本製品をカメラデバイスとして接続して、写真や動画のデータを転送できます。

- ・メディアデバイス(MTP)で接続する場合は、あらかじめ、パソコンにWindows Media Player 12以降がインストールされていることをご確認ください。
- ・本製品で内部ストレージまたはmicroSDカードを使うアプリを実行している場合は、アプリを終了してから操作してください。

1 USB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブル01(別売)で本製品とパソコンを接続

本製品のステータスバーに[メディアデバイスとして接続]／[カメラとして接続]と表示されます。

- ・USB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグは、プラグの向きを確認して本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込みます。
- ・USB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブル01(別売)のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。

2 ステータスバーの通知アイコン表示エリアを下方向にスライド→[メディアデバイスとして接続]／[カメラとして接続]→[メディアデバイス(MTP)]／[カメラ(PTP)]

- ・お買い上げ時は、[メディアデバイス(MTP)]が選択されています。

3 パソコンで内部ストレージやmicroSDカード内のデータのやりとりをする

4 パソコンとの通信が終わったらUSB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブル01(別売)を取り外す

memo

- ◎データ転送中にUSB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブル01(別売)の取り外しや、[メディアデバイス(MTP)]と[カメラ(PTP)]の切り替え操作をしないでください。データが破損するおそれがあります。
- ◎Windows 7／Windows 8／Windows 8.1のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
- ◎パソコンで接続するときの接続方法選択画面は、ホーム画面で[]→[ストレージ]→[]と操作しても表示できます。

USBホスト機能を利用する

本製品にはUSBホスト機能が搭載されています。周辺機器接続用USBケーブル(市販品)を外部接続端子に接続することで、USB機器(市販品)を利用することができます。

1 周辺機器接続用USBケーブル(市販品)のmicroUSBプラグを本製品の外部接続端子に差し込む

- ・周辺機器接続用USBケーブル(市販品)のmicroUSBプラグは、プラグの向きを確認して、本製品の外部接続端子にまっすぐ差し込みます。

2 周辺機器接続用USBケーブル(市販品)にUSB機器(市販品)を接続する

memo

- ◎USB2.0規格に対応した周辺機器接続用USBケーブル(市販品)を推奨します。
- ◎すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- ◎USBホスト機能を利用する前に本製品を充電してください。
- ◎データ転送中に周辺機器接続用USBケーブル(市販品)を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- ◎マウスやトラックパッドを接続したときの動作は[言語と入力](▶P.94)で変更できます。

USB機器(市販品)を取り外す

USBメモリなどのUSBストレージを接続した場合は、マウントを解除してから取り外してください。

取り外しの操作をする前に、必ずデータ転送が終了していることを確認してください。

1 ホーム画面で[]→[ストレージ]→[USBストレージ]の[外付けストレージのアンマウント]→確認画面で[OK]

2 周辺機器接続用USBケーブル(市販品)を取り外す

デジタルメディアサーバーを設定する

本製品をデジタルメディアサーバーとして使用できます。同じWi-Fi®ネットワークに接続されている機器に、本製品に保存されている音楽や画像、動画を公開し、再生することができます。
また、「ギャラリー」や「音楽」アプリで本製品から同じWi-Fi®ネットワーク上のデジタルメディアサーバーにアクセスすることもできます。

本製品をデジタルメディアサーバーとして設定する

1 ホーム画面で[]→[無線とネットワーク]の[その他...]→[デジタルメディアサーバー]

2 [OFF]→内容を確認→[OK]

デジタルメディアサーバーがオンになり、ステータスバーに[]が表示されます。

3 必要な項目を設定

音楽	他の機器に公開するメディアの種類にチェックを付けます。
画像	
動画	
共有フォルダー	他の機器に公開するストレージの領域を設定します。 [内部ストレージ] [SDカード]
表示名称	接続したほかの機器上で表示される本製品の名称を設定します。

本製品からデジタルメディアサーバーにアクセスする

■ ギャラリーでデジタルメディアサーバーの静止画や動画を再生する

1 ホーム画面で[]

アルバム一覧画面が表示されます。

2 []→[設定]

[ギャラリー設定]画面が表示されます。

3 [すぐ近くのソース]→[OFF]をタップして[ON]にする

4 [< ギャラリー設定]

アルバム一覧画面に戻ります。

5 []→[メディアサーバーをスキャン]

同じWi-Fi®ネットワークに接続された近くのデジタルメディアサーバーが検索され、[すぐ近くのソース]に表示されます。

6 アクセスするデジタルメディアサーバーの名称をタップ

デジタルメディアサーバー上の写真や動画を選択して再生したり、ダウンロードできます。

■ 音楽アプリでデジタルメディアサーバーの音楽を再生する

1 ホーム画面で[]→[音楽]

アルバム一覧画面が表示されます。

2 []→[設定]

[音楽設定]画面が表示されます。

3 [メディアサーバーをスキャン]の[OFF]をタップして[ON]にする

4 [< 音楽設定]

アルバム一覧画面に戻ります。

5 []→[メディアサーバーをスキャン]

同じWi-Fi®ネットワークに接続された近くのデジタルメディアサーバーが検索され、[すぐ近くのソース]に表示されます。

6 アクセスするデジタルメディアサーバーの名称をタップ

デジタルメディアサーバー上の音楽を選択して再生できます。

PlayToで外部機器に表示する

本製品に保存されている静止画、動画、音楽のコンテンツを、無線LAN (Wi-Fi®)接続を使って、Miracast対応テレビや外部ディスプレイで再生できます。

1 ホーム画面で[]→[無線とネットワーク]の[その他...]→[PlayTo]

接続可能な機器が検索され、[デバイス選択]画面に表示されます。

- ・無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにするか確認するメッセージが表示された場合は[はい]をタップします。

2 接続する機器を選択

memo

◎「ギャラリー」で静止画や動画を表示し、画面をタップして表示される[]→[PlayTo]と操作することもできます。

データ通信

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する	84
無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにする	84
Wi-Fi®ネットワークに接続する	84
Wi-Fi®ネットワークを簡単に設定する	84
Wi-Fi®の詳細設定をする	85
Wi-Fi Directで他の機器と接続する	85
Bluetooth®機能を利用する	85
Bluetooth®機能をオンにする	85
Bluetooth®機器を登録する	86
Bluetooth®通信でデータを送受信する	86
Bluetooth®通信の詳細を設定する	86
テザリング機能を利用する	87
USBテザリング機能を利用する	87
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	87
Bluetooth®テザリング機能を利用する	87
VPN(仮想プライベートネットワーク)に接続する	88

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

家庭内で構築した無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

ご利用イメージ

1 利用形態を決めて接続に必要な情報を入手する

家庭内など個人の無線LAN環境	アクセスポイントとなる機器(無線LAN親機)を設置して取扱説明書などから接続に必要な情報を入手する
公衆無線LANサービス	サービス提供者と契約して接続に必要な情報を入手する
社内LAN	ネットワーク管理者に問い合わせて接続に必要な情報を入手する

2 本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにする

3 アクセスポイントを設定して接続する

Bluetooth®機能との電波干渉について

無線LAN(Wi-Fi®)機能(IEEE802.11 b/g/n)とBluetooth®機能は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能([Wi-Fi周波数帯域])が[自動]／[2.4 GHzのみ]のときとBluetooth®機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。また、本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能のみ使用している場合でも、Bluetooth®機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

1. 本製品とBluetooth®機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、Bluetooth®機器の電源を切ってください。
3. 相手の機器が5GHz帯に対応している場合は、[Wi-Fi周波数帯域]を[5 GHzのみ]に設定してください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- W52(5.2GHz帯／36, 40, 44, 48ch)
- W53(5.3GHz帯／52, 56, 58, 60, 64ch)
- W56(5.6GHz帯／100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにする

本製品でWi-Fi®を使用するには、無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 ホーム画面で[Wi-Fi]→[Wi-Fi]

2 [OFF]をタップして[ON]にする

利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。

検出されたWi-Fi®ネットワークのネットワーク名とセキュリティ設定(オーブンネットワークまたはセキュリティ保護)が表示されます。

- ・接続するWi-Fi®ネットワークが表示されない場合は、[H]→[スキャン]をタップします。それでも表示されない場合は「Wi-Fi®ネットワークを手動で追加して接続する」(▶P.84)の操作に従って、Wi-Fi®ネットワークを追加します。

memo

- ◎無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、無線LAN(Wi-Fi®)機能が優先されます。Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にパケット通信に切り替わります。
- ◎無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンのときに、Wi-Fiテザリングをオンにすると無線LAN(Wi-Fi®)機能がオフになります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

接続するアクセスポイントの電波を受信できる環境で操作してください。

1 ホーム画面で[Wi-Fi]→[Wi-Fi]

2 Wi-Fi®ネットワークをタップ→[接続]

- ・セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)*を入力します。
※パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ・Wi-Fi®ネットワークを切断するには、接続しているWi-Fi®ネットワークをタップ→[切断]をタップします。
- ・ネットワークの設定を変更するには、ネットワーク名をロングタッチ→[ネットワークを変更]をタップします。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加して接続する

1 ホーム画面で[Wi-Fi]→[Wi-Fi]

2 [H]

3 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

4 [なし]→セキュリティタイプをタップ

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

5 [保存]

memo

◎手動で追加したWi-Fi®ネットワークを削除するには、ホーム画面で[Wi-Fi]→[Wi-Fi]→削除するWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[ネットワークから切断]と操作します。

Wi-Fi®ネットワークを簡単に設定する

各種接続方式／接続方法に対応した無線LAN(Wi-Fi®)のアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

■ Wi-Fiかんたん接続を利用する

1 ホーム画面で[Wi-Fi]→[Wi-Fi]

2 [Wi-Fiかんたん接続]

3 画面の指示に従って操作

・本設定を行うには、パケット通信が必要です。

■ WPS(Wi-Fi Protected Setup)プッシュボタン方式で設定する

1 ホーム画面で[Wi-Fi]→[Wi-Fi]

2 [H]→アクセスポイント側でWPSボタンを押す

■ WPS(Wi-Fi Protected Setup) PIN方式で設定する

1 ホーム画面で[Wi-Fi]→[Wi-Fi]

2 [H]→[WPS PIN入力]

3 本製品の画面に表示されたPINをアクセスポイント側で入力

Wi-Fi®の詳細設定をする

1 ホーム画面で[]→[Wi-Fi]

2 []→[詳細設定]

3 必要な項目を設定

ネットワークの通知	オープンネットワークが検出されたときに通知するかどうかを設定します。
スリープ時にWi-Fi接続を維持	スリープモード中のWi-Fi®設定を変更します。 [常に使用する] [電源接続時にのみ使用する] [使用しない(データ使用量が増加)]
スキャンを常に実行する	位置の精度を高めるために、Wi-Fi®がオフであっても近くのネットワークをスキャンさせるかどうかを設定します。
接続不良のとき無効にする	Wi-Fi®の接続が安定しているときのみWi-Fi®ネットワークを使用するかどうかを設定します。
Wi-Fi周波数帯域	本製品で使用するWi-Fi®周波数帯域を設定します。 [自動] [5 GHzのみ] [2.4 GHzのみ]
証明書のインストール	暗号化された証明書をインストールします。
Wi-Fi最適化	Wi-Fi®がオンのときに電池使用を抑えるかどうかを設定します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。
IPアドレス	本製品のIPアドレスを表示します。

Wi-Fi Directで他の機器と接続する

Wi-Fi Directを有効にすると、対応するアプリを利用して、アクセスポイントなどを経由せずにWi-Fi Directに対応した携帯端末などの機器とデータのやりとりができます。

1 ホーム画面で[]→[Wi-Fi]

2 []→[Wi-Fi Direct]

検出されたWi-Fi Direct対応機器が[ピアデバイス]リストに表示されます。

3 接続する機器をタップ

選択した機器にWi-Fi Direct接続リクエストが送信され、リクエストに同意されると接続されます。

- Wi-Fi Direct接続を切断するには、接続している機器名→[OK]をタップします。

■ Wi-Fi Direct接続リクエストを受信した場合

3 接続への招待画面で[同意する]

memo

◎ Wi-Fi Directは2.4GHz帯のみに対応しています。

◎ Wi-Fi®ネットワーク接続中にWi-Fi Directの接続を開始すると、Wi-Fi®ネットワーク接続が切断され、自動的にパケット通信に切り替わります。

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

- Bluetooth®対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」(▶P.104)をご参照ください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetooth®機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本製品とすべてのBluetooth®機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

memo

◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。

◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 本製品とほかのBluetooth®機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
- ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 無線LAN(Wi-Fi®)との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能(IEEE802.11 b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能([Wi-Fi周波数帯域]が[自動]/[2.4 GHzのみ]のとき)を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、本製品のBluetooth®機能のみを使用している場合でも、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本製品と無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、Bluetooth®機能をオンにします。

1 ホーム画面で[]→[Bluetooth]

2 [OFF]をタップして[ON]にする

Bluetooth®機器を登録する

本製品と初めて接続するBluetooth®機器の場合は、ペア設定を行います。一度ペア設定を行うと、設定は記憶されます。

- ・ペア設定をするBluetooth®機器のBluetooth®機能をオンにして、「検出可能」の設定してください。
- ・相手機器と本製品との間に障害物などがない状態で10m以内に設置してください。

1 ホーム画面で[]→[Bluetooth]

- ・[使用可能なデバイス]リストに、接続する機器が表示されているときは操作③に進みます。
- ・本製品の名前をタップして[周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示]にすると、ほかのBluetooth®機器から検出され、名前が表示されるようになります。

2 [デバイスの検索]

- 検出された機器が[使用可能なデバイス]リストに表示されます。
- ・ペア設定済みの機器は、[ペアリングされたデバイス]リストに表示されます。
 - ・Bluetooth®機器が表示されない場合は、本製品の名前をタップして[周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示]にしてから、[デバイスの検索]をタップしてください。

3 接続する機器をタップ

4 本製品とBluetooth®機器で、それぞれ画面の指示に従って操作

- ペア設定が終了すると、[ペアリングされたデバイス]リストに名前が表示されます。
- ・[ペアリングされたデバイス]リストの機器の[]をタップすると、名前を変更したり、Bluetooth®機器によってはその機器をインターネットアクセスに利用するかどうかを設定したりできます。

memo

- ◎ Bluetooth®機能のオン／オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- ◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では使用できません。

Bluetooth®機器との接続を解除する

1 ホーム画面で[]→[Bluetooth]

2 [ペアリングされたデバイス]リストの機器の[]→[ペアを解除]

Bluetooth®通信でデータを送受信する

Bluetooth®通信でデータを送信する

「ギャラリー」の画像をBluetooth®通信で送信する操作例を説明します。

- ・あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにしてください。また、相手機器とペア設定を行ってください。詳しくは、「Bluetooth®機器を登録する」(▶P.86)をご参照ください。

1 ホーム画面で[]→送信するアルバム／画像をロングタッチ

2 []

3 [Bluetooth]

4 Bluetooth®機器をタップ

- ・相手機器によっては、受信を許可するなどの操作が必要な場合があります。
- ・ステータスバーに[]が表示されたら、ステータスバーの通知アイコン表示エリアを下方向にスライドして送信が完了したことを確認します。

Bluetooth®通信で連絡先を送信する

登録されている連絡先をBluetooth®通信で送信します。

- ・あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにしてください。また、相手機器とペア設定を行ってください。詳しくは、「Bluetooth®機器を登録する」(▶P.86)をご参照ください。

1 ホーム画面で[]→[連絡帳]→送信する連絡先をlongタッチ→[連絡先のシェア]

2 送信する連絡先情報にチェックを付ける→[共有]

3 [Bluetooth]

4 Bluetooth®機器をタップ

- ・相手機器によっては、受信を許可するなどの操作が必要な場合があります。
- ・ステータスバーに[]が表示されたら、ステータスバーの通知アイコン表示エリアを下方向にスライドして送信が完了したことを確認します。

memo

- ◎ 連絡帳を全件送信する場合は、連絡先一覧で[]→[連絡先の管理]→[インポート/エクスポート]→[表示可能な連絡先を共有]→[Bluetooth]→[常時]/[1回のみ]→相手機器をタップします。

Bluetooth®通信でデータを受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにしてください。また、相手機器とペア設定を行ってください。詳しくは、「Bluetooth®機器を登録する」(▶P.86)をご参照ください。

1 相手のBluetooth®機器からデータを受信

本製品のステータスバーに[]が表示されます。

2 ステータスバーの通知アイコン表示エリアを下方向にスライド→[Bluetooth共有:ファイル着信]→[承諾]

データの受信が完了します。

受信したデータを確認するには、ステータスバーの通知アイコン表示エリアを下方向にスライド→[Bluetooth共有:受信したファイル]→受信したデータをタップします。

Bluetooth®通信の詳細を設定する

1 ホーム画面で[]→[Bluetooth]

2 []

3 必要な項目を設定

タブレットの名前を変更	周辺のBluetooth®機器に表示される本製品の名前を変更します。
表示のタイムアウト	周辺のBluetooth®機器に検出される時間を設定します。
受信済みファイルを表示	Bluetooth®通信で受信したファイルを表示します。

テザリング機能を利用する

テザリングとは、本製品のパケット通信を利用して、パソコンなど他の機器をインターネットに接続する機能です。

memo

◎テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをUSB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブル01(別売)で接続すると、本製品のパケット通信によるインターネット接続をパソコンから利用できます。

1 USB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブル01(別売)で本製品とパソコンを接続

- USB ACアダプタセット(付属品)のmicroUSBケーブルまたはmicroUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグは、プラグの向きを確認して本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込みます。

2 ホーム画面で[?]→[無線とネットワーク]の[その他...]→[テザリング]

3 [USBテザリング]にチェックを付ける

テザリング利用に関する確認画面が表示されます。内容を確認して[OK]をタップします。[再度表示しない]にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

- [USBテザリング]のチェックを外すと、USBテザリング機能がオフになります。

memo

◎Windows 7／Windows 8／Windows 8.1のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

Wi-Fi®対応機器を8台まで同時接続できます。

- Wi-Fi®アクセスポイントを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi®対応機器のブラウザやゲームなどのアプリが正常に動作しないことがあります。

1 ホーム画面で[?]→[無線とネットワーク]の[その他...]→[テザリング]

2 [Wi-Fiアクセスポイント]にチェックを付ける

テザリング利用に関する確認画面が表示されます。内容を確認して[OK]をタップします。[再度表示しない]にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

- [Wi-Fiアクセスポイント]のチェックを外すと、Wi-Fi®テザリング機能がオフになります。

memo

◎Wi-Fi®テザリング機能がオンのときに、無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにするとWi-Fi®テザリング機能がオフになります。

Wi-Fi®テザリングを設定する

1 ホーム画面で[?]→[無線とネットワーク]の[その他...]→[テザリング]

2 [Wi-Fiアクセスポイントをセットアップ]

3 必要な項目を設定

ネットワークSSID	クライアントから見えるルーター名(SSID)を設定します。
セキュリティ	無線LAN(Wi-Fi®)機能の暗号化方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none">[なし]に設定すると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。
パスワード	クライアントとの通信を暗号化するためのパスワードを設定します。ここで設定したパスワードをクライアント側でも入力する必要があります。 <ul style="list-style-type: none">[パスワードを表示する]にチェックを付けるとパスワードを表示します。
非アクティブのときWi-Fiホットスポットを無効にする	Wi-Fi®テザリング機能を利用しない時間が8分以上続いた場合にWi-Fi®テザリング機能を無効にするかどうかを設定します。

Bluetooth®テザリング機能を利用する

本製品とBluetooth®接続したBluetooth®機器から、本製品のパケット通信によるインターネット接続を利用できます。

- あらかじめ相手のBluetooth®機器とペア設定を行ってください。詳しくは、「Bluetooth®機器を登録する」(▶P.86)をご参照ください。

1 ホーム画面で[?]→[無線とネットワーク]の[その他...]→[テザリング]

2 [Bluetoothテザリング]にチェックを付ける

相手のBluetooth®機器で本製品のインターネットアクセスを有効に設定すると、本製品のBluetooth®テザリング機能が利用できます。テザリング利用に関する確認画面が表示されたら、内容を確認して[OK]をタップします。[再度表示しない]にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

- [Bluetoothテザリング]のチェックを外すと、Bluetooth®テザリング機能がオフになります。

VPN(仮想プライベートネットワーク)に接続する

VPN(Virtual Private Network: 仮想プライベートネットワーク)は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本製品にVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

1 ホーム画面で[?]→[無線とネットワーク]の[その他...]→[VPN]

VPN設定画面が表示されます。

- ・画面ロックのPINまたはパスワードを設定する必要がある旨のメッセージが表示された場合は、[OK]→ロック解除方法をタップ→画面の指示に従って操作してください。設定が終了したら操作②に進みます。
- ・認証画面が表示された場合は、設定したロック解除方法に従って、認証操作をしてください。

2 [VPNプロフィールの追加]

3 ネットワーク管理者の指示に従って、VPN設定の各項目を設定

4 [保存]

VPN設定画面に、新たなVPNが追加されます。

VPNに接続する

1 ホーム画面で[?]→[無線とネットワーク]の[その他...]→[VPN]

VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに[]が表示されます。

VPNを切断する

1 ステータスバーの通知アイコン表示エリアを下方向にスライド→VPN接続中を示す通知をタップ→[切断]

機能設定

設定メニューを表示する	90
データ使用の設定をする	90
モバイルネットワークの設定をする	90
音の設定をする	91
ディスプレイの設定をする	91
電池使用量を表示する	91
省電力設定の設定をする	91
アプリの設定をする	92
位置情報の設定をする	92
セキュリティの設定をする	93
ロック画面の設定をする	93
言語と文字入力の設定をする	94
バックアップとリセットの設定をする	94
アカウントと同期の設定をする	95
日付と時刻の設定をする	95
ユーザー補助の設定をする	95
印刷の設定をする	96
端末情報やバージョン情報を確認する	96

設定メニューを表示する

本製品の各種機能を設定、管理します。無線LAN(Wi-Fi®)機能やセキュリティなどの設定も、ここから操作します。

1 ホーム画面で[設定]

- ホーム画面で[設定]→[設定]と操作しても表示できます。

項目	設定内容																																										
Wi-Fi	無線LAN(Wi-Fi®)機能の設定を行います。 ▶P.84「無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する」																																										
Bluetooth	Bluetooth®機能の設定を行います。 ▶P.85「Bluetooth®機能を利用する」																																										
データ使用量	モバイルネットワーク経由のデータ通信(モバイルデータ)に関する設定を行います。また、各アプリのデータ使用量を確認できます。 ▶P.90「データ使用的設定をする」																																										
その他...	<table border="1"><tr><td>機内モード</td><td>機内モードのオン／オフを設定します。 ▶P.26「通信機能をオフにする(機内モード)」</td></tr><tr><td>デフォルトのSMSアプリ</td><td>デフォルトで使用するSMSアプリを設定します。</td></tr><tr><td>Reader/Writer,P2P</td><td>NFC機能のオン／オフを設定します。 ▶P.68「NFCを利用する」</td></tr><tr><td>Android Beam</td><td>Android Beam機能のオン／オフを設定します。NFCを利用して、データの送受信を行います。 ▶P.68「NFCを利用する」</td></tr><tr><td>テザリング</td><td>テザリングの設定を行います。 ▶P.87「テザリング機能を利用する」</td></tr><tr><td>VPN</td><td>VPNの設定を行います。 ▶P.88「VPN(仮想プライベートネットワーク)に接続する」</td></tr><tr><td>モバイルネットワーク</td><td>モバイルネットワーク経由のデータ通信のオン／オフや接続先ネットワークを設定します。また、データローミングのオン／オフを設定します。 ▶P.90「モバイルネットワークの設定をする」 ▶P.98「海外利用に関する設定を行う」</td></tr><tr><td>デジタルメディアサーバー</td><td>デジタルメディアサーバーの設定を行います。 ▶P.81「デジタルメディアサーバーを設定する」</td></tr><tr><td>PlayTo</td><td>無線LAN(Wi-Fi®)接続を使って外部機器と接続し、本製品の写真や動画などをその機器で再生できます。 ▶P.81「PlayToで外部機器に表示する」</td></tr><tr><td>データローミング</td><td>ローミングエリアの設定を行います。 ▶P.98「海外利用に関する設定を行う」</td></tr><tr><td>音</td><td>音量設定、通知音の選択、タッチ操作音・画面ロック音の設定などを行います。 ▶P.91「音の設定をする」</td></tr><tr><td>ディスプレイ</td><td>画面の明るさ、画面の自動回転、スリープ、壁紙など、ディスプレイ表示に関する設定を行います。 ▶P.91「ディスプレイの設定をする」</td></tr><tr><td>ストレージ</td><td>内部ストレージやmicroSDカードの空き容量などを確認できます。また、microSDカードのマウント／アンマウントを行います。 ▶P.15「microSDカードを取り付ける／取り外す」 ▶P.80「メモリの使用量を確認する」</td></tr><tr><td>電池</td><td>電池残量や電池使用項目を表示します。 ▶P.91「端末の電池使用量を表示する」</td></tr><tr><td>アプリ</td><td>アプリを管理します。 ▶P.92「アプリの設定をする」</td></tr><tr><td>電力管理</td><td>省電力設定を行います。また、電力使用状況を確認できます。 ▶P.91「省電力設定の設定をする」 ▶P.91「アプリごとの電池使用量を表示する」</td></tr><tr><td>ASUSカスタマイズ設定</td><td>デュアル画面、スクリーンショット、クイック設定、アプリのインストールに関する設定を行います。 ▶P.25「デュアル画面を使用する」 ▶P.26「スクリーンショットを撮る」 ▶P.23「クイック設定パネルを開く」 ▶P.92「アプリのインストール場所を設定する」</td></tr><tr><td>タップ&ペイ</td><td>NFC機能を利用した決済機能です。対応店舗にて本製品の画面をタッチして支払いができます。</td></tr><tr><td>位置情報</td><td>位置情報をに関する設定を行います。 ▶P.92「位置情報の設定をする」</td></tr><tr><td>セキュリティ</td><td>タブレットの暗号化、au Micro IC Card (LTE)のロック設定、アプリインストール時の設定、認証情報の管理など、セキュリティに関する設定を行います。 ▶P.93「セキュリティの設定をする」</td></tr><tr><td>ロックスクリーン</td><td>画面ロックのオン／オフおよび解除方法、ロック画面についての設定を行います。 ▶P.93「ロック画面の設定をする」</td></tr></table>	機内モード	機内モードのオン／オフを設定します。 ▶P.26「通信機能をオフにする(機内モード)」	デフォルトのSMSアプリ	デフォルトで使用するSMSアプリを設定します。	Reader/Writer,P2P	NFC機能のオン／オフを設定します。 ▶P.68「NFCを利用する」	Android Beam	Android Beam機能のオン／オフを設定します。NFCを利用して、データの送受信を行います。 ▶P.68「NFCを利用する」	テザリング	テザリングの設定を行います。 ▶P.87「テザリング機能を利用する」	VPN	VPNの設定を行います。 ▶P.88「VPN(仮想プライベートネットワーク)に接続する」	モバイルネットワーク	モバイルネットワーク経由のデータ通信のオン／オフや接続先ネットワークを設定します。また、データローミングのオン／オフを設定します。 ▶P.90「モバイルネットワークの設定をする」 ▶P.98「海外利用に関する設定を行う」	デジタルメディアサーバー	デジタルメディアサーバーの設定を行います。 ▶P.81「デジタルメディアサーバーを設定する」	PlayTo	無線LAN(Wi-Fi®)接続を使って外部機器と接続し、本製品の写真や動画などをその機器で再生できます。 ▶P.81「PlayToで外部機器に表示する」	データローミング	ローミングエリアの設定を行います。 ▶P.98「海外利用に関する設定を行う」	音	音量設定、通知音の選択、タッチ操作音・画面ロック音の設定などを行います。 ▶P.91「音の設定をする」	ディスプレイ	画面の明るさ、画面の自動回転、スリープ、壁紙など、ディスプレイ表示に関する設定を行います。 ▶P.91「ディスプレイの設定をする」	ストレージ	内部ストレージやmicroSDカードの空き容量などを確認できます。また、microSDカードのマウント／アンマウントを行います。 ▶P.15「microSDカードを取り付ける／取り外す」 ▶P.80「メモリの使用量を確認する」	電池	電池残量や電池使用項目を表示します。 ▶P.91「端末の電池使用量を表示する」	アプリ	アプリを管理します。 ▶P.92「アプリの設定をする」	電力管理	省電力設定を行います。また、電力使用状況を確認できます。 ▶P.91「省電力設定の設定をする」 ▶P.91「アプリごとの電池使用量を表示する」	ASUSカスタマイズ設定	デュアル画面、スクリーンショット、クイック設定、アプリのインストールに関する設定を行います。 ▶P.25「デュアル画面を使用する」 ▶P.26「スクリーンショットを撮る」 ▶P.23「クイック設定パネルを開く」 ▶P.92「アプリのインストール場所を設定する」	タップ&ペイ	NFC機能を利用した決済機能です。対応店舗にて本製品の画面をタッチして支払いができます。	位置情報	位置情報をに関する設定を行います。 ▶P.92「位置情報の設定をする」	セキュリティ	タブレットの暗号化、au Micro IC Card (LTE)のロック設定、アプリインストール時の設定、認証情報の管理など、セキュリティに関する設定を行います。 ▶P.93「セキュリティの設定をする」	ロックスクリーン	画面ロックのオン／オフおよび解除方法、ロック画面についての設定を行います。 ▶P.93「ロック画面の設定をする」
機内モード	機内モードのオン／オフを設定します。 ▶P.26「通信機能をオフにする(機内モード)」																																										
デフォルトのSMSアプリ	デフォルトで使用するSMSアプリを設定します。																																										
Reader/Writer,P2P	NFC機能のオン／オフを設定します。 ▶P.68「NFCを利用する」																																										
Android Beam	Android Beam機能のオン／オフを設定します。NFCを利用して、データの送受信を行います。 ▶P.68「NFCを利用する」																																										
テザリング	テザリングの設定を行います。 ▶P.87「テザリング機能を利用する」																																										
VPN	VPNの設定を行います。 ▶P.88「VPN(仮想プライベートネットワーク)に接続する」																																										
モバイルネットワーク	モバイルネットワーク経由のデータ通信のオン／オフや接続先ネットワークを設定します。また、データローミングのオン／オフを設定します。 ▶P.90「モバイルネットワークの設定をする」 ▶P.98「海外利用に関する設定を行う」																																										
デジタルメディアサーバー	デジタルメディアサーバーの設定を行います。 ▶P.81「デジタルメディアサーバーを設定する」																																										
PlayTo	無線LAN(Wi-Fi®)接続を使って外部機器と接続し、本製品の写真や動画などをその機器で再生できます。 ▶P.81「PlayToで外部機器に表示する」																																										
データローミング	ローミングエリアの設定を行います。 ▶P.98「海外利用に関する設定を行う」																																										
音	音量設定、通知音の選択、タッチ操作音・画面ロック音の設定などを行います。 ▶P.91「音の設定をする」																																										
ディスプレイ	画面の明るさ、画面の自動回転、スリープ、壁紙など、ディスプレイ表示に関する設定を行います。 ▶P.91「ディスプレイの設定をする」																																										
ストレージ	内部ストレージやmicroSDカードの空き容量などを確認できます。また、microSDカードのマウント／アンマウントを行います。 ▶P.15「microSDカードを取り付ける／取り外す」 ▶P.80「メモリの使用量を確認する」																																										
電池	電池残量や電池使用項目を表示します。 ▶P.91「端末の電池使用量を表示する」																																										
アプリ	アプリを管理します。 ▶P.92「アプリの設定をする」																																										
電力管理	省電力設定を行います。また、電力使用状況を確認できます。 ▶P.91「省電力設定の設定をする」 ▶P.91「アプリごとの電池使用量を表示する」																																										
ASUSカスタマイズ設定	デュアル画面、スクリーンショット、クイック設定、アプリのインストールに関する設定を行います。 ▶P.25「デュアル画面を使用する」 ▶P.26「スクリーンショットを撮る」 ▶P.23「クイック設定パネルを開く」 ▶P.92「アプリのインストール場所を設定する」																																										
タップ&ペイ	NFC機能を利用した決済機能です。対応店舗にて本製品の画面をタッチして支払いができます。																																										
位置情報	位置情報をに関する設定を行います。 ▶P.92「位置情報の設定をする」																																										
セキュリティ	タブレットの暗号化、au Micro IC Card (LTE)のロック設定、アプリインストール時の設定、認証情報の管理など、セキュリティに関する設定を行います。 ▶P.93「セキュリティの設定をする」																																										
ロックスクリーン	画面ロックのオン／オフおよび解除方法、ロック画面についての設定を行います。 ▶P.93「ロック画面の設定をする」																																										

項目	設定内容
言語と入力	表示言語の設定や文字入力関連の設定、音声検索やテキスト読み上げの設定を行います。 ▶P.94「言語と文字入力の設定をする」
バックアップとリセット	本製品の設定のバックアップについて設定したり、本製品を初期化したりできます。 ▶P.94「バックアップとリセットの設定をする」
アカウント	オンラインサービスのアカウント管理や同期に関する設定を行います。[アカウントを追加]からアカウントを追加することができます。 ▶P.95「アカウントと同期の設定をする」
日付と時刻	日付と時刻の表示形式やタイムゾーンを設定します。 ▶P.95「日付と時刻の設定をする」
ユーザー補助	ユーザーの操作に音で反応するサービスを有効にしたり、字幕や拡大操作などの設定を行います。 ▶P.95「ユーザー補助の設定をする」
印刷	クラウドプリントの設定を行います。 ▶P.96「印刷の設定をする」
端末情報	本製品の電池やネットワークなどの状態やバージョン情報を確認したり、ソフトウェアを更新します。 ▶P.96「端末情報やバージョン情報を確認する」 ▶P.103「ソフトウェアを更新する」

データ使用の設定をする

モバイルネットワーク経由のデータ通信(モバイルデータ)のオン／オフを設定します。

1 設定メニュー画面で[データ使用量]

2 [モバイルデータ]の[OFF]をタップして[ON]にする

モバイルデータの制限を設定する

1 設定メニュー画面で[データ使用量]

2 [モバイルデータの制限を設定する]にチェックを付ける →内容を確認→[OK]

3 グラフのバーをドラッグしてデータを使用する期間と制限する値を設定

バックグラウンドのデータ通信を制限する

1 設定メニュー画面で[データ使用量]

2 []→[バックグラウンドデータを制限する]にチェックを付ける→内容を確認→[OK]

- アプリをタップして個別に設定することもできます。

memo

◎バックグラウンドデータの制限を設定すると、ネットワークやアプリに影響を与え、一部の機能を停止させることができます。

モバイルネットワークの設定をする

1 設定メニュー画面で[無線とネットワーク]の[その他...]→[モバイルネットワーク]

2 必要な項目を設定

データ通信を有効にする	パケット通信のオン／オフを設定します。
データローミング	▶P.99「データローミングを設定する」
アクセスポイント名	接続するモバイルネットワークを選択します。 <ul style="list-style-type: none">CPAは法人のお客さま向けのサービスです。詳しくはauホームページをご参照ください。LTE NET/LTE NET for DATAについては、最新のau総合カタログおよびauホームページをご参照ください。

音の設定をする

1 設定メニュー画面で[音]

2 必要な項目を設定

音量	▶P.91「音量を調節する」
新着メッセージ	各種の通知音を設定します。
新着メール	・アプリの選択画面が表示された場合は、使用するアプリを選択します。
メール送信	
カレンダーの通知	
タッチ操作音	チェックを付けると、メニュー選択時に操作音が鳴ります。
画面ロックの音	チェックを付けると、画面ロック設定時および解除時に通知音が鳴ります。

音量を調節する

1 設定メニュー画面で[音]

2 [音量]

3 スライダーをドラッグして音量を調節→[OK]

memo

- [+]/[-] を押しても音量を調節できます。表示中の画面や実行中のアプリの動作によって調節される音量は異なります。また、□ [+]/[-] を押すと表示される音量調節画面の[+]をタップすると、メディア再生音、通知音、アラーム音のスライダーが表示され、各音量を調節できます。
- マナーモードについては、「マナーモードを設定する」(▶P.26)をご参照ください。

ディスプレイの設定をする

1 設定メニュー画面で[ディスプレイ]

2 必要な項目を設定

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。 ・[明るさを自動調整]にチェックを付けると、設定した明るさを自動的に補正します。
画面の自動回転	チェックを付けると、本製品の向きに合わせて縦横表示を切り替えます。 ・一部のアプリは[画面の自動回転]の設定に従いません。また、横画面表示固定のアプリがあります。
スリープ	ディスプレイの表示を消してスリープモードにするまでの時間を設定します。
スクリーンセーバー	[OFF]をタップして[ON]にすると、充電中にスリープモードになったときの動作を管理できます。
フォントサイズ	フォントサイズを変更します。
既定のテーマを使用する	壁紙の種類と色のオーバーレイの設定をお買い上げ時の設定に戻します。
壁紙	▶P.21「ホーム画面やロック画面の壁紙を変更する」
読書モード	[OFF]をタップして[ON]にすると、書籍の内容に合わせて読書に最適なモードを選択できます。

電池使用量を表示する

端末の電池使用量を表示する

本製品の電池使用量を表示します。

1 設定メニュー画面で[電池]

2 確認する項目をタップ、または必要な項目を設定

電池残量をパーセントで表示する	チェックを付けると、ステータスバーの電池レベルアイコン(□)の左側に電池残量をパーセントで表示します。
電池残量と充電状態	電池残量をパーセントで表示します。また、充電状態を表示します。
電池使用時間	本製品の電池の使用時間を表示します。タップすると詳細を表示します。
電池使用状況	本製品を構成するシステムごとの電池の使用状況を表示します。タップすると詳細を表示します。

アプリごとの電池使用量を表示する

アプリごとの電池使用量を表示します。

1 設定メニュー画面で[電力管理]→[電力使用状況]

- アプリごとの現在の電池使用量が表示されます。
- [アプリの電池使用量]をタップして表示を切り替えることができます。
 - [H]→[分析基準]と操作すると分析基準を選択できます。

省電力設定の設定をする

電池の消費を抑えた設定に切り替えることができます。あらかじめ設定された2つのモードと、設定を個別に変更できるカスタマイズモードから選択できます。

1 設定メニュー画面で[電力管理]→[省電力設定]

2 [OFF]をタップして[ON]にする

3 [超省電力モード]/[最適モード]/[カスタマイズモード]

カスタマイズモードを設定する

省電力設定を[カスタマイズモード]に設定すると、設定を個別に変更できます。

- あらかじめ[省電力設定]を[ON]にし、[カスタマイズモード]に設定してください。

1 設定メニュー画面で[電力管理]→[省電力設定]

2 [?]→各項目を設定

電子メールを読む	本製品で行う操作ごとに省電力設定のオン/オフを切り替えることができます。
書籍を読む	・[●]が表示されている項目は、タップすると現在の画面の明るさ設定より暗くする割合を設定できます。
ビデオを見る	
音楽を聞く	
ウェブサイトの参照	
IM(Skype)	
プッシュ通知を使用するIMとアプリ	プッシュ通知を使用するアプリのネットワーク接続を常に維持するかどうかを設定できます。

アプリの設定をする

アプリのメモリ使用状況を確認し、microSDカードへの移動やアンインストール、停止などの管理を行います。

インストール済みのアプリの情報を確認する

1 設定メニュー画面で[アプリ]

2 アプリ一覧を左右にフリックしてカテゴリーを選択

選択したカテゴリーのアプリの一覧が表示されます。

ストレージ使用状況が画面下部に表示されます。

- ・[H]→[サイズ順]／[名前順]をタップして、一覧に表示するアプリの並び順を変更することができます。

3 情報を確認するアプリをタップ

- ・[データを消去]や[キャッシュを消去]をタップすると、アプリのデータやキャッシュを消去できます。

アプリをmicroSDカードに移動する

内部ストレージの容量を確保したい場合などに、お買い上げ後にダウンロードしたアプリによってはmicroSDカードに移動できます。

1 設定メニュー画面で[アプリ]

2 アプリ一覧を左右にフリックして[移動可能なアプリ]を表示

3 microSDカードに移動するアプリをタップ

4 [SDカードに移動]→内容を確認→[OK]

memo

◎microSDカードに移動したアプリは、microSDカードを取り外すと利用できません。

アプリを削除する

Google Playからインストールしたアプリは、Google Play画面から削除してください(▶P.69)。

1 設定メニュー画面で[アプリ]

2 アプリ一覧を左右にフリックしてカテゴリーを選択

3 削除するアプリをタップ

4 [アンインストール]→内容を確認→[OK]

memo

◎あらかじめインストールされているアプリには、削除ができないものがあります。削除ができないアプリは、無効化するとすべてのアプリ画面やホーム画面に表示されず起動ができなくなります。無効化するには、設定メニュー画面で[アプリ]→アプリ一覧を左右にフリックしてカテゴリーを選択→無効にするアプリをタップ→[無効にする]→内容を確認→[OK]をタップします。

◎アプリを無効化すると、他のアプリに影響を与えて正常に動作しなくなる場合があります。正常に動作しない場合は、有効にします。

アプリを強制停止する

1 設定メニュー画面で[アプリ]

2 アプリ一覧を左右にフリックしてカテゴリーを選択

3 強制停止するアプリをタップ

4 [強制停止]→内容を確認→[OK]

memo

◎強制停止すると、アプリが正常に機能しなくなる場合があります。表示内容を確認のうえ、操作してください。

実行中のサービスを表示する

1 設定メニュー画面で[アプリ]

2 アプリ一覧を左右にフリックして[実行中]を表示

3 サービス名をタップし、必要に応じて[停止]や[レポート]などをタップ

アプリのインストール場所を設定する

アプリのインストール場所として、内部ストレージと外部ストレージ(microSDカード)のどちらを優先するか、または自動で決定するかを設定します。

1 設定メニュー画面で[ASUSカスタマイズ設定]→[アプリインストール設定]

2 [自動]／[内部ストレージを優先します]／[外部ストレージを優先します]

位置情報の設定をする

位置情報(現在地)の測位には、Wi-Fi®ネットワークやモバイルネットワークを使用する方法と、GPSを使用する方法があります。

位置情報をオンにする

1 設定メニュー画面で[位置情報]

2 [OFF]をタップして[ON]にする

位置情報の確認画面が表示されますので、内容を確認して[同意する]をタップしてください。

モードを設定する

Wi-Fi®ネットワークやモバイルネットワークを使っておおよその現在地を測位するか、人工衛星からの電波を利用して詳細な現在地を測位するかを設定します。

1 設定メニュー画面で[位置情報]→[モード]

2 [高精度]／[バッテリー節約]／[端末のみ]

memo

◎建物の中など空が見えない状況では電波を受信できない場合があります。

◎[高精度]／[端末のみ]に設定すると、電池の消耗が早くなります。電池の消耗を軽減する場合は、[バッテリー節約]に設定してください。

Googleの位置情報設定を行う

Googleアプリで位置情報を利用するための設定を、Googleアカウントごとに行います。

■ 現在地送信機能を設定する

1 設定メニュー画面で[位置情報]→[Google現在地送信機能]

Googleの位置情報設定画面が表示されます。

2 [現在地送信機能]→[OFF]をタップして[ON]にする

■ ロケーション履歴を設定する

1 Googleの位置情報設定画面で[ロケーション履歴]→[OFF]をタップして[ON]にする

現在地データの履歴を保存できるようになります。

セキュリティの設定をする

本製品のセキュリティ、認証ストレージなどに関する設定を行います。

- ・認証ストレージは、セキュリティ保護された無線LAN(Wi-Fi®)ネットワークやVPNに接続するための認証情報やその他の証明書を保管するための領域です。認証情報やその他の証明書は、ネットワーク管理者の指示に従って、Webサイトからダウンロードしたり、microSDカードからインストールします。

1 設定メニュー画面で[セキュリティ]

2 必要な項目を設定

タブレットの暗号化	本製品内のすべてのデータを暗号化します。データを暗号化した後は、電源を入れるたびにPINまたはパスワード入力によるデータの復元が必要です。
SIMカードロック設定	▶P.93「SIMカードロックを設定する」
パスワードを表示する	チェックを付けると、暗証番号やパスワードを入力するときに文字を表示します。
端末管理者	端末管理者を表示または無効にします。
提供元不明のアプリ	▶P.93「提供元不明のアプリのインストールを許可する」
アプリを確認する	チェックを付けると、損害をもたらす可能性があるアプリのインストールを禁止したり、インストール前に警告したりします。
ストレージのタイプ	認証ストレージのタイプを表示します。
信頼できる認証情報	インストールした認証情報や証明書を無効／有効にしたり、削除したりできます。 [システム]タブ/[ユーザー]タブをタップ→証明書をタップ→画面下部の[無効にする]/[削除]/[有効にする]→[OK]
SDカードからインストール	暗号化された証明書を内部ストレージやmicroSDカードからインストールします。
認証ストレージの消去	認証ストレージからすべての認証情報や証明書を消去して、ストレージのパスワードをリセットします。

SIMカードロックを設定する

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防止するために、au Micro IC Card (LTE)にPINコードを設定し、起動時にPINコードを入力するように設定します。

1 設定メニュー画面で[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]→[SIMカードをロック]にチェックを付ける

2 PINコードを入力→[OK]

■ PINコードを変更する

あらかじめ[SIMカードをロック]をオンに設定してください。

1 設定メニュー画面で[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]→[SIM PINの変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

memo

◎PINコードについては、「PINコードについて」(▶P.11)をご参照ください。

提供元不明のアプリのインストールを許可する

Google Play以外のサイトやメールなどから入手したアプリのインストールを許可します。

・本製品と個人データを保護するためには、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。

1 設定メニュー画面で[セキュリティ]

2 [提供元不明のアプリ]にチェックを付ける

3 注意文を確認→[OK]

ロック画面の設定をする

起動時やスリープモードを解除したときに画面ロックを設定することで、データを保護できます。

1 設定メニュー画面で[ロックスクリーン]

2 必要な項目を設定

画面のロック	▶P.94「画面ロックを設定する」
クリックアクセス	ロック画面にアプリのショートカットアイコンを表示するかを設定します。オンになると、ロック画面でアイコンを任意の方向にドラッグすると、画面ロックが解除されてアプリが起動します。
What's next	ロック画面にWhat's nextのウィジェットを表示するかどうかを設定します。
ウィジェットの有効化	▶P.21「ロック画面でウィジェットを有効化する」
インスタントカメラ	ロック画面を表示しているときに[+]/[-]を2度押してカメラを起動するかどうかを設定します。
スワイプして起動	ロック画面の右端から左にスワイプしてカメラを起動するかどうかを設定します。
所有者情報	ロック画面に所有者情報を表示するかを設定します。 [ロック画面に所有者情報を表示]にチェックを付けると表示するテキストを入力できます。

画面ロックを設定する

1 設定メニュー画面で[ロックスクリーン]→[画面のロック]

すでに認証操作を必要とする画面ロックを設定しているときは、認証操作をしてください。

2 項目をタップ

なし	画面ロックを設定しません。
スライド	画面を任意の方向にスライド(スワイプ)して画面ロックを解除します。
フェイスアンロック	画面の指示に従って、顔写真を撮影します。 <ul style="list-style-type: none">顔認証で画面ロックを解除できなかったときのために、ロック解除パターンまたはPINを入力してください。設定すると以下の項目が表示されます。顔認識の精度を改善:顔認識の精度を高めるためにいろいろな状態の顔を撮影できます。画面の指示に従って操作してください。生体検知:フェイスアンロックをする際に、まばたきが必要になります。パターンを表示する(パターンを設定した場合):チェックを付けると、ロック解除時にパターンを線で表示します。自動ロック:スリープモードに移行後、画面ロックが自動で設定されるまでの時間を設定します。電源ボタンですぐにロックする:チェックを付けると、電源ボタンを押してもロックをかけることができます。
パターン	画面の指示に従って、ロック解除パターンを設定します。 <ul style="list-style-type: none">垂直、水平、あるいは斜め方向に4つ以上の点を結びます。設定すると以下の項目が表示されます。パターンを表示する 自動ロック 電源ボタンですぐにロックする
PIN	画面の指示に従って、4~16桁の数字を入力します。 <ul style="list-style-type: none">設定すると以下の項目が表示されます。自動ロック 電源ボタンですぐにロックする
パスワード	画面の指示に従って、4~16文字の英数字を入力します。 <ul style="list-style-type: none">設定すると以下の項目が表示されます。自動ロック 電源ボタンですぐにロックする

言語と文字入力の設定をする

1 設定メニュー画面で[言語と入力]

2 必要な項目を設定

言語	日本語と英語の表示を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none">英語表示に切り替えても、日本語のみに対応しているアプリは日本語で表示されます。
デフォルト	文字入力の方法を切り替えます。 ►P.27「キーボードの入力方法を切り替える」
FSKAREN for ASUS	チェックを付けると、日本語入力のFSKARENが有効になります。
Googleキーボード	チェックを付けると、Googleキーボードが有効になります。[?]をタップすると詳細設定ができます。

Google音声入力

チェックを付けると、Google音声入力が有効になります。[?]をタップすると詳細設定ができます。

入力言語を選択

音声入力時に使用する言語を選択します。

不適切な語句をブロック

チェックを付けると、不適切な語句を表示しません。

PC Linkモード

チェックを付けると、PC LinkでパソコンとUSB接続したときに、Windows用の入力方式に切り替えます。

音声検索

音声検索時に入力する言語を設定します。

音声出力

音声出力について設定します。

不適切な語句をブロック

チェックを付けると、不適切な語句を表示しません。

Bluetoothヘッドセット

Bluetooth®ヘッドセット(市販品)で音声を録音します。

- Bluetooth®ヘッドセットの性能により録音できない場合があります。

テキスト読み上げの出力

►P.94「テキスト読み上げ機能を設定する」

ポインタの速度

スライドしてマウス／トラックパッド利用時のポインタの速度を設定します。

右クリック時の動作

マウス／トラックパッド利用時の右クリック時の動作を設定します。

三回クリック選択時の動作

マウス／トラックパッド利用時の三回クリック時の動作を設定します。

テキスト読み上げ機能を設定する

テキスト読み上げ機能に対応したアプリやプラグイン(TalkBackなど)で、テキスト読み上げ機能を利用する際に必要な設定です。

1 設定メニュー画面で[言語と入力]→[テキスト読み上げの出力]

2 必要な項目を設定

(テキスト読み上げエンジン名)

テキスト読み上げに使用するエンジンを設定します。[?]をタップしてエンジンの動作を設定できます。

• お買い上げ時に登録されている「Googleテキスト読み上げエンジン」は、日本語に対応していません。

音声の速度

テキストの読み上げ速度を設定します。

サンプルを再生

サンプル音声を再生して、設定を確認できます。

デフォルトの言語のステータス

テキスト読み上げエンジンで設定している言語の対応状況を表示します。

バックアップとリセットの設定をする

1 設定メニュー画面で[バックアップとリセット]

2 必要な項目を設定

データのバックアップ

アプリの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。

バックアップアカウント

Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。

自動復元

アプリの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するように設定します。

データの初期化

►P.95「本製品を初期化する」

【本製品を初期化する】

本製品をお買い上げ時の状態に戻します(リセット)。

この操作を行うと、ご購入後に本製品にお客様がインストールしたアプリや登録したデータはすべて削除されます。

① 設定メニュー画面で[バックアップとリセット]→[データの初期化]

② 内容を確認

- 内部ストレージに保存した音楽、画像などのデータは削除しない場合は[内部ストレージ内データの消去]のチェックを外してください。

③ [タブレットをリセット]

- 認証操作が必要とする画面ロックを設定しているときは、認証操作が必要です。

④ 表示された番号を入力→[すべて消去]

操作が完了してしばらくすると、本製品が再起動します。

【アカウントと同期の設定をする】

【オンラインサービスのアカウントを登録する】

① 設定メニュー画面で[アカウントを追加]

② 追加するアカウントの種類をタップ→画面の指示に従って操作

memo

◎ 本製品に複数のGoogleアカウントを追加することができます。

【アカウント設定を変更する】

同期頻度や同期する情報の種類、通知方法、アカウント情報の表示形式などの設定を変更することができます。

① 設定メニュー画面で設定を変更するアカウントの種類をタップ

② アカウント設定を変更

memo

◎ 設定できる情報はアカウントによって異なります。

【アカウントを削除する】

① 設定メニュー画面で削除するアカウントの種類をタップ

② 削除するアカウントをタップ

③ [■]→[アカウントを削除]→内容を確認→[アカウントを削除]

memo

◎ 一部のアカウントは、上記の操作では削除できません。削除するには本製品を初期化する必要があります(▶P.95)。

【自動同期するGoogleアプリを設定する】

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

① 設定メニュー画面で[Google]

② 設定するGoogleアカウントをタップ

③ 自動的に同期するGoogleアプリや項目にチェックを付ける

【手動で同期を開始する】

① 設定メニュー画面で同期するアカウントの種類をタップ

② 同期するアカウントをタップ

③ [■]→[今すぐ同期]

memo

◎ 同期を中止するには、同期中に[■]→[同期をキャンセル]をタップします。

【日付と時刻の設定をする】

① 設定メニュー画面で[日付と時刻]

② 必要な項目を設定

日付と時刻の自動設定	チェックを外すと、日付と時刻を手動で設定できます。
タイムゾーンの自動設定	チェックを外すと、タイムゾーンを手動で設定できます。
日付設定	日付を手動で設定します。
時刻設定	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示	チェックを付けると、24時間表示になります。
日付形式の選択	日付形式を選択します。

【ユーザー補助の設定をする】

① 設定メニュー画面で[ユーザー補助]

② 必要な項目を設定

TalkBack	[OFF]をタップして[ON]にすると、ユーザー補助サービス(TalkBack)をオンにします。
字幕	[OFF]をタップして[ON]にすると、字幕を表示します。また、字幕の言語や文字サイズ、スタイルを設定します。
拡大操作	[OFF]をタップして[ON]にすると、画面を3回タップして拡大／縮小が行えるようになります。
大きい文字サイズ	チェックを付けると、フォントサイズを[最大]に設定します。
画面の自動回転	チェックを付けると、本製品の向きに合わせて縦横表示を切り替えます。 ・一部のアプリは[画面の自動回転]の設定に従いません。また、横画面表示固定のアプリがあります。
パスワードの音声出力	チェックを付けると、入力したパスワードを音声化します。
ユーザー補助のショートカット	[OFF]をタップして[ON]にすると、ユーザー補助機能をショートカット操作で利用できるようになります。
テキスト読み上げの出力	音声読み上げ時の詳細設定をします。 ▶P.94「テキスト読み上げ機能を設定する」
押し続ける時間	ロングタッチを感じるまでの時間を設定します。

memo

TalkBackのタッチガイド機能について

◎ TalkBackをオンにするとタッチガイド機能もオンになります。

タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示することができる機能です。

◎ タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本製品の操作ができます。項目を選択する場合は一度タップしてからダブルタップし、スライドをかける場合は2本の指で画面上を目的の方向へなぞります。

◎ タッチガイド機能のみをオフにする場合は、設定メニュー画面で[ユーザー補助]→[TalkBack]→[設定]と操作し、[タッチガイド]のチェックを外します。

印刷の設定をする

- 本製品からインターネットに接続しているクラウド対応のプリンタに、画像やドキュメントなどを印刷できるように設定します。
- クラウドプリントに接続されているどのプリンタからも印刷できますが、クラウド対応のプリンタを接続すれば、パソコンを使わずにクラウドプリントから直接印刷することができます。
- 利用方法の詳細については、クラウドプリント起動中に[H]→[設定]→[概要]と操作してご確認ください。

クラウドプリントをオンにする

- 1 設定メニュー画面で[H]→[クラウドプリント]

- 2 [OFF]→内容を確認→[OK]

プリンタの検索が行われ、検出されたプリンタが一覧表示されます。

- 3 接続するプリンタを選択→画面の指示に従って操作

プリンタを追加する

- 1 プリンター一覧画面で[H]→[プリンタを追加]→画面の指示に従って操作

印刷する

- 1 プリンター一覧画面で[H]→[設定]

- 2 [アカウント]→アカウントを選択→[OK]

- 3 [印刷ジョブ]→ファイルを選択

選択可能なプリンタが一覧表示されます。

- 4 プリンタを選択→各項目を設定

- 5 [▶]

選択したプリンタからファイルが印刷されます。

端末情報やバージョン情報を確認する

- 1 設定メニュー画面で[端末情報]

- 2 必要な項目を確認

システム更新	▶P.103「ソフトウェアを更新する」
端末の状態	電池の状態、電池残量、ネットワークの状態、MDN(自局電話番号)、IMEI、IPアドレス、無線LAN(Wi-Fi®)への接続に必要なMACアドレス、Bluetooth®機器を識別するためのBluetooth®アドレス、シリアル番号、稼働時間などを確認できます。
法的情報	オープンソースライセンスやGoogle規約などを確認できます。
認証	技術基準適合証明に関する情報やBluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能の周波数帯などを確認できます。
モデル番号	バージョンや各番号を確認できます。
Androidバージョン	
ハードウェア情報	
ソフトウェア情報	

海外利用

GLOBAL PASSPORT(グローバルパスポート)について	98
海外でご利用になるときは	98
海外で安心してご利用いただくために	98
海外利用に関する設定を行う	98
お問い合わせ方法	99
パケットサービス・メッセージサービスの通信料	100
国際アクセス番号＆国番号一覧	100
グローバルパスポートに関するご利用上のご注意	100

GLOBAL PASSPORT(グローバルパスポート)について

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM／UMTS／LTEネットワークのいずれでもご利用いただけます。

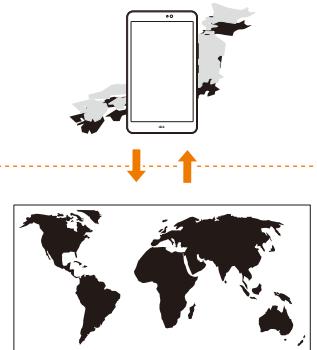
特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、パケット通信料は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客様センターにてご確認ください。

memo

◎国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいてご利用いただけるサービスです。

■ご利用イメージ

- 1 日本国内では、auのネットワークでご利用になります
- 2 海外で電源をオンすると、海外の事業者のネットワークでSMSがご利用いただけます
- 3 パケット通信を行う場合は[データローミング]（▶P.99）をオンに設定します
- 4 帰国後は、再びauのネットワークでご利用になります。渡航先で[エリア設定]（▶P.99）の[LTEをオフにする]にチェックを付けた場合、帰国後にチェックを外してください



■海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.98）、「ネットワークモードを設定する」（▶P.99）に従い、各種設定を行ってください。

- ・新規ご契約ご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

■海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。

http://www.au.kddi.com/information/notice_mobile/global/

■本製品を盗難・紛失したら

速やかにauへご連絡ください

- ・海外で本製品もしくはau Micro IC Card (LTE)を盗難・紛失された場合は、お客様センターまで速やかにご連絡いただき、パケット通信停止の手続きをおとりください（▶P.99「海外からのお問い合わせ」）。盗難・紛失されたあとに発生した通話料・パケット通信料もお客様負担になりますのでご注意ください。
- ・本製品に挿入されているau Micro IC Card (LTE)を盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され不正利用される可能性がありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。（▶P.93「SIMカードロックを設定する」）

■海外での通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ・ご利用料金は国・地域によって異なります。
- ・海外におけるパケット通信料は、日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。

■海外利用に関する設定を行う

海外で本製品を利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。

■PRL(ローミングエリア情報)を取得する

PRL(ローミングエリア情報)とは、KDDI(au)と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。

古いPRLデータのまま利用し続けていると、海外のエリアによっては通信ができなくなることがありますので、渡航前に、必ず日本国内で最新のPRLを取得してください。

- 1 ホーム画面で[?]→[無線とネットワーク]の[その他...]→[データローミング]→[PRL更新]

auお客様サポートのPRL更新ページにログインします。更新には10分程度時間がかかることがあります。

- ・アプリの選択画面が表示された場合は、使用するアプリを選択してください。

memo

◎PRLの更新にかかる通信料は無料です。

◎エリアによっては更新できない場合があります。

■ ネットワークモードを設定する

本製品を使用するネットワークモードを設定します。

- 1 ホーム画面で[]→[無線とネットワーク]の[その他...]→[データローミング]→[エリア設定]

2 必要な項目を設定

日本/海外(自動)	日本国内/海外でご利用可能なネットワークを自動設定します。
LTEをオフにする	チェックを付けると、LTEネットワークの使用を無効にします。

■ データローミングを設定する

海外ローミング中にパケット通信を利用できるように設定します。

- 1 ホーム画面で[]→[無線とネットワーク]の[その他...]→[モバイルネットワーク]→[データローミング]にチェックを付ける→注意画面の内容を確認→[OK]

memo

◎ LTE NET またはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、ローミング中にパケット通信を利用できません。

■ 現在地時刻を設定する

- 1 ホーム画面で[]→[日付と時刻]→[日付と時刻の自動設定]と[タイムゾーンの自動設定]にチェックを付ける

[日付と時刻の自動設定]と[タイムゾーンの自動設定]にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本製品の時計の時刻や時差が補正されます。

memo

◎ 海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。
◎ 捕正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
◎ サマータイムがある国は、現地時間と本製品の表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

お問い合わせ方法

■ 海外からのお問い合わせ

- au電話からのお問い合わせ方法(通話料無料)

+([0]をロングタッチ) + + + +

受付時間: 24 時間

- 一般電話からのお問い合わせ方法1(渡航先別電話番号)

国・地域名		お問い合わせ番号
北米／中南米	アメリカ・カナダ	1-877-532-6223
	メキシコ	01-800-123-3426
アジア	インド	000800-810-1134
	インドネシア	001-803-81-0235
	韓国	002-800-00777113
	シンガポール・タイ・香港	001-800-00777113
	台湾・中国・フィリピン・マカオ・マレーシア	00-800-00777113
ヨーロッパ	ベトナム	120-81-003
	イギリス・イタリア・オランダ・スイス・スペイン・ドイツ	00-800-00777113
	フランス	0800-90-0209
	ロシア	810-800-20201081
オセアニア	オーストラリア	0011-800-00777113
	グアム	1-888-891-3297
	ニュージーランド	00-800-00777113
	ハワイ	1-877-532-6223
中東	アラブ首長国連邦	800-081-0-0102

受付時間: 24 時間(通話料無料)

memo

◎ ホテル客室からご利用の場合は手数料などかかる場合があります。
◎ 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
◎ 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金がかかる場合がありますのでご了承ください。
◎ 記載のない国・地域、および最新情報についてはauホームページをご参照ください。
<http://www.001.kddi.com/accessnumber/index.html>

■ 一般電話からのお問い合わせ方法2(通話料有料)

「一般電話からのお問い合わせ方法1」でかけられない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

渡航先の国際アクセス番号 + + + +

受付時間: 24 時間

memo

◎ 国際アクセス番号については、「国際アクセス番号」([▶P.100](#))をご参照ください。

■ 日本国内からのお問い合わせ

au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)

一般電話から (通話料無料)

受付時間: 9:00~20:00(年中無休)

パケットサービス・メッセージサービスの通信料

■ パケットサービス・メッセージサービスの通信料(免税)

パケット通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通	無料

■ 海外ダブル定額(免税)

対象の国・地域にてご利用いただいた場合、1日あたり約24.4MB(割引前通信料が40,000円分)まで最大1,980円、どれだけご利用いただいても1日あたり最大2,980円のご利用料金となります。

海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参考ください。

memo

- ◎ 海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したパケット量に応じて課金されます。
- ◎ 渡航先でのパケット通信料は、国内各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- ◎ 1日あたりの上限額は渡航先の現地時間ではなく日本時間の1日(0:00～23:59)の通信に対する金額です。月額の定額制ではありません。

国際アクセス番号＆国番号一覧

■ 国際アクセス番号

国・地域名	番号
アメリカ・ハワイ・カナダ・グアム・サイパン	011
ニュージーランド・中国・ベトナム・メキシコ・インド・フィリピン・マレーシア・イギリス・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン・スイス	00
韓国	00700, 002, 001
香港・タイ・インドネシア	001
台湾	002
ブラジル	0021, 0014, 0015, 0023
オーストラリア	0011

■ 国番号(カントリーコード)

国・地域名	番号	国・地域名	番号
アメリカ合衆国(USA)	1	台湾(TWN)	886
アラブ首長国連邦(ARE)	971	中国(CHN)	86
イギリス(GBR)	44	ドイツ(DEU)	49
イタリア(ITA)	39	日本(JPN)	81
インド(IND)	91	ニュージーランド(NZL)	64
インドネシア(IDN)	62	フィリピン(PHL)	63
オーストラリア(AUS)	61	ブラジル(BRA)	55
オランダ(NLD)	31	フランス(FRA)	33
カナダ(CAN)	1	ベトナム(VIE)	84
韓国(KOR)	82	香港(HKG)	852
シンガポール(SGP)	65	マカオ(MAC)	853
スイス(CHE)	41	マレーシア(MYS)	60
スペイン(ESP)	34	メキシコ(MEX)	52
タイ(THA)	66	ロシア(RUS)	7

*ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国(USA)「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上のご注意

■ 渡航先でのパケット通信料に関するご注意

- 渡航先でのご利用料金は、日本国内でのご利用分に合算して翌月に(渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります)請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。

- 日本国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■ 渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、ローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。ローミング中アイコンが表示されていない場合、ご利用の地域によってはSMSがご利用になれます。

- SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。

- SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することができます。

- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■ その他ご利用上のご注意

- 渡航先でのパケット通信料は、日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象なりません。

- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。

- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。

- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。

- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。

- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、通信端末の電源は必ずお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、各種サービスがご利用いただけない場合があります。

- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象なりません。

- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超えた場合、渡航先ではそのままご利用になますが、帰国後の日本国内通話は発信規制となります。また日本国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。

- 渡航先でご利用いただけない場合、本製品の電源をオフ／オン(再起動)することでご利用可能となる場合があります。

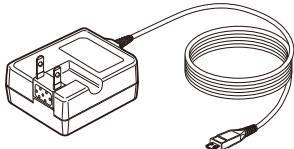
付録／索引

付録.....	102
周辺機器のご紹介	102
故障とお考えになる前に	102
再起動する	102
ソフトウェアを更新する	103
アフターサービスについて	103
利用できるデータの種類	104
主な仕様	104
データ通信端末の比吸収率(SAR)について	104
FCC Notice	105
FCC RF Exposure Information	105
EC Declaration of Conformity	105
CE Mark Warning	105
CE RF Exposure Information	105
輸出管理規制	105
電波障害自主規制について	105
知的財産権について	105
『au Wi-Fi SPOT』利用規約	106
索引.....	108

付録

周辺機器のご紹介

- 共通ACアダプタ03(0301PQA)(別売)
- 共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA)(別売)
- 共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA)(別売)
- 共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA)(別売)
- 共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA)(別売)
- 共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)



共通ACアダプタ05

*お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

- 共通DCアダプタ03(0301PEA)(別売)

- ポータブル充電器02(0301PFA)(別売)

- microUSBケーブル01(0301HVA)(別売)

memo

- ◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(<http://www.au.kddi.com/>)にてご確認いただくか、お客様センターにお問い合わせください。
- ◎ 本製品は、ASYNC／FAX通信は非対応です。
- ◎ 上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。
<http://auonlineshop.kddi.com/>

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

症状	チェックする箇所	参照先
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵電池は充電されていますか？ [電源]を2秒以上押していますか？ 	P.16 P.17
電源が勝手に切れる	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵電池は充電されていますか？ 	P.16
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> 指定の充電用機器は正しく取り付けられていますか？ 	P.16
電池を利用する時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> 十分に充電されていますか？ 内蔵電池が寿命となっていますか？ 使用していないアプリや機能が起動しているませんか？ [Wi-Fi] (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？ 	P.16 P.8 P.25
タッチパネルで意図した通りに操作できない	<ul style="list-style-type: none"> 手袋などをしたまま操作していませんか？ 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼っていますか？ 	P.20
キー／タッチパネルの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画面ロックが設定されていませんか？ 本製品を再起動してみてください。 	P.18 P.102
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> 本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。 	—
[SIMカードが挿入されません]と表示される	<ul style="list-style-type: none"> au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？ 	P.14
画面照明が暗い	<ul style="list-style-type: none"> [画面の明るさ]が暗く設定されていませんか？ [省電力設定]を[カスタマイズモード]に設定している場合、画面の明るさが暗く設定されていますか？ 	P.91 P.91
microSDカードを認識しない	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードは正しく取り付けられていますか？ microSDカードのマウントが解除されていますか？ 	P.15
ディスプレイの照明がすぐに消える	<ul style="list-style-type: none"> 一定時間操作しなかったときは、電池残量を節約するために自動的に画面の表示が消えます(スリープモード)。 	P.18
着信音や通知音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> マナーモードを設定していませんか？ 着信音や通知音の設定がオフになっていますか？ 	P.26 P.91

症状	チェックする箇所	参照先
電波の状態は悪くないのにメール／SMSの送信または受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> 本製品を再起動するか、au Micro IC Card (LTE)を取り付け直してください。 電波の性質により、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態([■])でも、メール／SMSの送信や受信ができない場合があります。場所を移動して操作し直してください。 回線の混雑によりつながりにくい場合があります。しばらくしてから操作してください。 	P.102 P.14
新着メールを知らせる通知アイコンが表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> Eメール、PCメール、Gmail、SMSの通知設定がオフになっていませんか？ 	P.40 P.47 P.50 P.47
圏外アイコン([■])が表示される	<ul style="list-style-type: none"> サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？ 内蔵アンテナ部付近を指などでおおっていませんか？ 	P.14
Wi-Fi®がつながらない	<ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？ Wi-Fi®機能をオンにしていますか？ Wi-Fi®の設定をしましたか？ 	P.84
パケット通信がつながらない	<ul style="list-style-type: none"> サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？ モバイルデータ通信をオンにしていますか？ 	P.90
NFCが使えない	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵電池は充電されていますか？ 本製品のNFCマークがある位置をNFCタグまたはNFC対応端末のNFCマークにかざしていませんか？ NFC機能をオンにしていますか？ 	P.16 P.14 P.69
GPS情報が取得できません	<ul style="list-style-type: none"> 地下やトンネル内など見晴らしの悪い場所にいませんか？ 位置情報をオンにしていますか？ 	P.92
カメラが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵電池は充電されていますか？ 本体の温度が高くなっていますか？ 	P.16 P.59

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客様サポートでご案内しております。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair>

再起動する

データが正常に表示されなかったり、タップやキー操作が正しく動作しない場合は、再起動してみてください。

1 [電源]を1秒以上押す

タブレットオプションメニューが表示されます。

2 【再起動】→【OK】

ソフトウェアを更新する

本製品で最新のソフトウェアをダウンロードして更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

■ ご利用上の注意

- ・ソフトウェア更新時のデータのダウンロードには、無線LAN (Wi-Fi®)機能、およびパケット通信が使用できます。
- ・パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ・ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157／通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ・ソフトウェア更新には、時間がかかる場合があります。更新が完了するまで、本製品は使用できません。
- ・ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ・ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- ・必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします(一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合があります)。ソフトウェア更新前に本製品に登録されたデータはそのまま残りますが、本製品の状態(故障など)により、データが失われる可能性がありますのであらかじめご了承願います。
- ・ソフトウェア更新中は絶対に電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
- ・ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行してください。
- ・ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアを更新する

1 ホーム画面で[?]→[端末情報]

2 [システム更新]

3 [アップデートを確認]

システム更新を促すメッセージが表示された場合は、操作④に進んでください。

4 メッセージの内容を確認→[はい]

システム更新のダウンロードが始まり、完了するとメッセージが表示されます。

5 メッセージの内容を確認→[インストール]

システム更新のインストールが始まり、成功するとメッセージが表示されます。

6 [OK]

memo

○無線LAN(Wi-Fi®)接続時に自動的に更新をダウンロードする場合は、[システム更新]画面で[?]→[Wi-Fiから自動ダウンロード]にチェックを付けます。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

○メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

○修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することができます。
○交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのauの端末は、再修理した上で交換用端末として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

○ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
○ご退会された場合は、次回のauの端末のご購入時まで再入会はできません。
○機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。
○auの端末を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
○機種変更・端末増設などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のauの端末に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
○サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて)

一般電話からは **0077-7-113**(通話料無料)

au電話からは 局番なしの **113**(通話料無料)

受付時間 24時間(年中無休)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話／au電話からは **0120-925-919**(通話料無料)

受付時間 9:00～21:00(年中無休)

オンライン修理受付(24時間受付)

※パソコン、スマートフォンからのみ受付可能

https://cs.kddi.com/support/n_login.html



memo

○インターネット受付でのお申し込みは、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障(破損、水濡れなどの原因ではないが電源が入らない、画面が動かないなど)の場合は、問診が必要なためお電話での受付となります。
○インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。

■ auアフターサービスの内容について

■ 交換用携帯電話機お届けサービス

サービス内容		安心ケータイサポートプラスLTE	
		会員	非会員
自然故障	1年目	無料	補償なし
	2年目以降	お客様負担額 1回目:5,000円 2回目:8,000円	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失		

※金額はすべて税抜

■ 預かり修理

サービス内容		安心ケータイサポートプラスLTE	
		会員	非会員
自然故障	1年目	無料	無料
	2年目以降	無料(3年保証)	
部分破損		お客様負担額 上限5,000円	実費負担
水濡れ、全損		お客様負担額 10,000円	
盗難、紛失		補償なし	補償なし (機種変更対応)

※金額はすべて税抜

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

- ◎auの端末がトラブルにあわれた際、お電話いただいくことでご指定の送付先に交換用端末(同一機種・同一色)をお届けします。故障した今までお使いのauの端末は、交換用端末がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
- ◎本サービスをご利用された日を起算日として、1年内に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時ににおいて過去1年内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※詳細はauホームページをご確認ください。

預かり修理

- ◎お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合には補償の対象となりません。
- ◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

本製品は、次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

データ	ファイル形式
音	AAC LC(.3gp,.mp4,.m4a,.aac,.ts), HE-AACv1(AAC+)(.3gp,.mp4,.m4a,.aac,.ts), HE-AACv2(enhanced AAC+)(.3gp,.mp4,.m4a,.aac,.ts), AAC ELD(Enhanced Low Delay AAC)(.3gp,.mp4,.m4a,.aac,.ts), AMR-NB (.3gp), AMR-WB(.3gp), FLAC(.flac), MIDI(.mid,.xmf,.xmxf,.rtttl,.rtx,.ota,.imy), MP3(.mp3), PCM/WAVE (.wav), Vorbis(.ogg,.MKV)
静止画	JPEG(.jpg), GIF(.gif), PNG(.png), BMP(.bmp), WEBP (.webp)
動画	H.263(.3gp,.mp4), H.264 AVC(.3gp,.mp4,.ts), MPEG-4(.3gp), VP8(.webm,.mkv)

主な仕様

■ 本体

ディスプレイ	約8インチ、最大約1,677万色、IPS 1,920×1,200ドット(WUXGA)
質量	約301g
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約123mm×213mm×7.7mm(最厚部 約8.2mm)
連続待受時間	約590時間(4G(LTE)使用時)
	約470時間(3G使用時) 約420時間(4G(LTE)使用時)
連続テザリング時間 ^{※1}	約470分(WAN側4G(LTE))
Wi-Fi [®] テザリング最大接続数	8台
充電時間	ACアダプタ(付属品)使用時 約240分
	共通DCアダプタ O3(別売)使用時 約480分

カメラ	撮像素子	CMOS
	有効画素数	メインカメラ:約500万画素 インカメラ:約120万画素
無線LAN(Wi-Fi [®])機能		IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz/ 5GHz)/ac準拠
Bluetooth [®] 機能	通信方式	Bluetooth [®] 標準規格Ver.4.0準拠
	出力	Bluetooth [®] 標準規格Power Class 1
	通信距離 ^{※2}	見通しの良い状態で10m以内
対応Bluetooth [®] プロファイル ^{※3}	SPP(Serial Port Profile) Ver.1.1	
	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) Ver.1.2	
	AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) Ver.1.3	
HID(Human Interface Device Profile) Ver.1.1	PAN(Personal Area Networking Profile) Ver.1	
	HSP(Headset Profile) Ver.1.2	
	OPP(Object Push Profile) Ver.1.1	
PAN(Personal Area Networking Profile) Ver.1.1	PAB(Phone Book Access Profile) Ver.1.1	
	使用周波数帯	2.4GHz帯

※1連続テザリング時間は、無線LAN(Wi-Fi[®])機能対応のクライアント(パソコンなど)を1台接続している場合です。

※2通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※3Bluetooth[®]機器同士の使用目的に応じた仕様のことと、Bluetooth[®]標準規格で定められています。

memo

- 連続待受時間は、電波を正常に受信できる静止状態での目安です。充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ USB ACアダプタセット(付属品)

ACアダプタ	入力	AC100~240V, 50/60Hz
	出力	DC5.2V, 1.35A
サイズ(幅×高さ×奥行き)		約27.5mm×38mm×38mm
micro USBケー ブル	使用コネクタ	USB Aタイプ/microUSB Bタイプ
	ケーブル長さ	約0.9m(コネクタ差込部分含まず)

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

■ データ通信端末の比吸収率(SAR)について

この機種AST21は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合のSARの最大値は0.511W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることがありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- ・ 総務省のホームページ:
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>
- ・ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
<http://www.arib-emf.org/index02.html>
- ・ auのホームページ:
<http://www.au.kddi.com/>

*技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

FCC Notice

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment causes harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by doing one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

The antenna(s) used for this transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

FCC RF Exposure Information

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves. This device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The exposure standard employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the EUT transmitting at the specified power level in different channels. The highest SAR value for the device as reported to the FCC is 1.23 W/kg when placed next to the body.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of www.fcc.gov/oet/ea/fccid after searching on FCC ID: MSQAST21.

EC Declaration of Conformity

This product is compliant with the regulations of the R&TTE Directive 1999/5/EC. The Declaration of Conformity can be downloaded from <http://support.asus.com>.

CE Mark Warning

CE2200①

■ CE marking for devices with wireless LAN/Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

The highest CE SAR value for the device is 0.582 W/kg.

This equipment may be operated in:

AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK
EE	ES	FI	FR	GB	GR	HU	IE
IT	IS	LI	LT	LU	LV	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SE	SI	SK	TR

CE RF Exposure Information

This device meets the EU requirements (1999/519/EC) on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields by way of health protection.

The limits are part of extensive recommendations for the protection of the general public. These recommendations have been developed and checked by independent scientific organizations through regular and thorough evaluations of scientific studies. The unit of measurement for the European Council's recommended limit for mobile devices is the "Specific Absorption Rate" (SAR), and the SAR limit is 2.0 W/kg averaged over 10 gram of body tissue. It meets the requirements of the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP).

For next-to-body operation, this device has been tested and meets the ICNIRP exposure guidelines and the European Standard EN 62209-2 and EN 50566. SAR is measured with the device directly contacted to the body while transmitting at the highest certified output power level in all frequency bands of the mobile device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLC の商標です。



- microSD™はSD Card Associationの商標です。
- BluetoothはBluetooth SIG, Inc. USAの登録商標です。
- Bluetooth® smart readyワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ASUSTeK Computer Inc.は、これら商標を使用する許可を受けています。



- Wi-Fi®、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi Protected Setupロゴ、Wi-Fi Direct®およびMiracast®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™およびWi-Fi Protected Setup™は、Wi-Fi Alliance®の商標です。



- Microsoft®、Windows®、PowerPoint®およびWindows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- TwitterはTwitter, Inc.の登録商標です。
- FacebookはFacebook, Inc.の登録商標です。
- Google、Google ロゴ、Google 検索、Google 検索 ロゴ、Google 検索 ボックス、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Google Play ゲーム、Google Play ゲーム ロゴ、Google Play ニューススタンド、Google Play ニューススタンド ロゴ、Google Play ストア、Google Play ストア ロゴ、Google Play ブックス、Google Play ブックス ロゴ、Google Play ミュージック、Google Play ミュージック ロゴ、Google Play ムービー&TV、Google Play ムービー&TV ロゴ、Google 設定、Google 設定 ロゴ、Google+、Google+ ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、ハングアウト、ハングアウト ロゴ、Chrome、Chrome ロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google Now、写真、写真 ロゴ、Facelock、Google テキスト読み上げエンジン、YouTube、YouTube ロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- FSKARENは、富士ソフトの登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS

SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows® 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
- Windows® 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- Windows® 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に從事する消費者によって記録された MPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供された MPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に從事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。

<http://www.mpeglallc.com>をご参照ください。

- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に從事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。

<http://www.mpeglallc.com>をご参照ください。

『au Wi-Fi SPOT』利用規約

『au Wi-Fi SPOT』のご利用にあたっては、以下の利用契約の内容を承諾の上、ご利用ください。

株式会社ワイヤ・アンド・ワイアレス(以下「当社」といいます。)は、この利用規約(以下「本規約」といいます。)に従って、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI・沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者(以下「KDDI等」といいます。)の通信サービスの契約者(以下の(3)項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。)に対して、『au Wi-Fi SPOT』(以下「本サービス」といいます)を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとします。

(1)当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。

また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの(以下「お客さま」といいます。)はこれを遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。

(2)当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。

(3)本サービスの提供対象者と利用可能エリアは、KDDI等の本サービス用のWeb等で掲載します。

(4)本サービスの提供は(3)項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。

(5)本サービスは、KDDI等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載したWi-Fi搭載機器で利用できます。

お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するためには必要なWi-Fi搭載機器を保持管理するものとします。

(6)国際ローミングサービスの取扱いは次によります。

- ① お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令、提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお、日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。
- ② お客さまは、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。
- ③ 当社は、国際ローミングサービスについて、その正確性、完全性、有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。
- ④ お客さまは、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等(知的財産権その他の権利の侵害等をいう。)の紛争等の請求を受け、または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。
- ⑤ お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとします。

(7)国際ローミングサービスの利用可能エリアと通信料金等は、次によります。なお、ご契約のプランによっては国際ローミングサービスをご利用になれませんので、Web等でご確認ください。

1. 利用可能エリア(国、地域等)はWeb等に掲載します。
2. 通信料金は、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通信料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時にはWi-Fi接続中にアプリによりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。

(8)本サービスの利用により生じた債権は当社がKDDI等に譲渡し、その債権額をKDDI等から請求します。

(9)本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。

(10)お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。

(11)本サービスの利用にあたり、当社がKDDI等からお客さまの氏名・契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。

(12)当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報は、次の目的の為に利用させていただきます。

- ・サービスの紹介、提案、および申込受付のため
- ・サービスの申込に基づくご本人さまの確認等のため
- ・サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
- ・サービスの提供に関する妥当性の判断のため
- ・他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
- ・お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
- ・市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
- ・ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
- ・サービスの終了後の管理のため
- ・その他お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため

(13)本サービス又は本規約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則 本改訂規約は、2013年10月31日から実施します。

索引

数字／アルファベット

10キー(キーボード).....	27, 28
50音(キーボード).....	27, 28
Android Beam.....	69
Androidアプリ.....	69
au ID.....	18
au Micro IC Card (LTE).....	14
PINコード.....	11
取り付け.....	15
取り外し.....	15
auお客様サポート.....	74
auかんたん設定.....	17
au災害対策アプリ.....	76
緊急速報メール.....	76
災害情報／義援金サイト.....	77
災害用音声お届けサービス.....	77
災害用伝言板.....	76
auスマートサポート.....	75
auスマートバス.....	70
Bluetooth®.....	85
受信.....	86
送信.....	86
ペア設定.....	86
Bluetooth®テザリング.....	87
Eメール(@ezweb.ne.jp).....	30
D絵文字.....	34
Eメールアドレスの変更.....	43
確認.....	36, 37
切替.....	30
検索.....	36
自動転送先.....	43
受信.....	35
初期設定.....	18
新着問合せ.....	36
設定.....	40
装飾.....	34
送信.....	33
送信予約.....	33
デコレーションメール.....	34
添付.....	34
バックアップ.....	43
フォルダ作成.....	39
フォルダロック.....	40
振分け条件.....	39
迷惑メールフィルター.....	44
Facebook.....	58
Friends Note.....	58
GLOBAL PASSPORT.....	98
Gmail.....	30, 49
更新.....	49
受信.....	49
受信トレイ.....	49
新着問合せ.....	49
設定.....	50
送信.....	49
返信／転送.....	49
Google Play.....	69
Googleアカウント.....	17
Googleカレンダー.....	70
Googleキーボード.....	28
Google検索.....	24
音声検索.....	24
設定.....	25
Googleの現在地送信機能.....	92
Googleマップ.....	73
GPS.....	92
LISMO.....	65
LTE.....	90

microSDカード.....	15
使用量の確認.....	80
取り付け.....	15
取り外し.....	15
パソコンから操作.....	80
USB接続.....	80
NFC.....	68
Android Beam.....	69
NFCタグリーダー.....	69
PC Link.....	67
PCメール.....	30, 47
削除.....	48
受信.....	48
送信.....	48
返信／転送.....	48
PINコード.....	11
PINロック解除コード.....	11
PlayTo.....	81
Playストア.....	69
PRL(ローミングエリア情報).....	98
QWERTYキーボード.....	27, 28
Remote Link.....	66
Share Link.....	66
SIMカードロック.....	93
SMS.....	30, 45
SMS安心ブロック機能.....	47
検索.....	46
削除.....	46
受信.....	46
設定.....	47
送信.....	45
返信／転送.....	46
Splendid.....	65
USB接続.....	80
USBテザリング.....	87
USBホスト機能.....	80
VPN.....	88
What's Next.....	71
Wi-Fi Direct.....	85
Wi-Fi®.....	84
Wi-Fi®ネットワークを追加.....	84
Wi-Fi®テザリング.....	87
YouTube.....	65

か

海外利用.....	98
お問い合わせ.....	99
国番号.....	100
現在地時刻の設定.....	99
国際アクセス番号.....	100
注意.....	100
パケットサービス通信料.....	100
メッセージサービス通信料.....	100
顔文字入力.....	27
カスタマイズエリア.....	20
仮想プライベートネットワーク(VPN).....	88
壁紙.....	21, 64
カメラ.....	59
起動.....	60
再生.....	64
静止画.....	60
設定.....	62
注意.....	59
動画.....	60
画面の明るさ.....	91
画面の自動回転.....	91
画面表示切り替え.....	20
画面ロック.....	94
解除.....	18
カレンダー.....	70
キーボード.....	27
記号入力.....	27
機内モード.....	26
ギャラリー.....	64
緊急速報メール.....	76
クイック設定パネル.....	23
クラウドプリント.....	96
グローバルパスポート.....	98
言語.....	94
検索.....	24
Bluetooth®機器.....	86
Eメール(@ezweb.ne.jp).....	36
SMS.....	46
Webページ.....	24
Wi-Fi®ネットワーク.....	84
アプリ.....	24
音楽情報.....	65
音声検索.....	24
連絡先.....	58
国際ローミングサービス.....	98

あ

アイコン.....	22
アカウント設定.....	95
Googleアカウント.....	17
PCメール.....	47
アフターサービス.....	103
アプリ.....	12
Androidアプリ.....	69
アンインストール.....	24, 69, 92
移動.....	92
インストール許可.....	93
インストール場所.....	92
起動.....	20, 23, 25
強制停止.....	92
最近使用したアプリ.....	25
削除.....	24, 69, 92
終了.....	25
情報.....	92
電池使用量.....	91
非表示.....	24
無効化.....	24, 92
ロック.....	23
アプリ一覧.....	56
アンインストール.....	69, 92
暗証番号.....	11
安心アクセス.....	77, 78
管理者登録.....	78
フィルタリング設定.....	78
安心セキュリティパック.....	74
安全上のご注意.....	6
位置情報.....	92

さ

災害情報／義援金サイト.....	77
災害用音声お届けサービス.....	77
災害用伝言板.....	76
再起動.....	102
再生	
音楽.....	65
静止画.....	64
動画.....	64
削除.....	69, 92

撮影

静止画	60	同期	95
動画	60	同梱品一覧	1
時刻設定	95	ドック	20
システム通知パネル	22	ドライブ	73
システムバー	20	ドラッグ	20
実行中のサービス	92	取り扱い上のお願い	9
充電	16	取扱説明書アプリケーション	ii
周辺機器	102		
仕様	104		
省電力	18		
省電力設定	91		
カスタマイズモード	91		
初期化	95		
初期設定	17		
au ID	18		
auかんたん設定	17		
Eメール(@ezweb.ne.jp)	18		
Googleアカウント	17		
スクリーンショット	26		
スクリーンショットシェア	72		
スクリーンセーバー	91		
ステータスアイコン	22		
ステータスバー	22		
ストリートビュー	73		
すべてのアプリ画面	23		
スマートフォン自動診断	75		
スライド	20		
スライドショー	64		
スリープモード	91		
解除	18		
スワイプ	20		
静止画			
再生	64		
撮影	60		
セキュリティ	93		
SIMカードロック	93		
画面ロック	94		
ブラウザの設定	53		
設定メニュー	90		
ソフトウェア更新	103		

な

内部ストレージ	80
使用量の確認	80
パソコンから操作	80
日本語表示	94
入力方法	27
認証情報	93

は

バージョン情報	96
パケット通信	52
バックアップ	94
Eメール(@ezweb.ne.jp)	43
連絡先	58
バックグラウンドデータ	90
ハングアウト	70
日付設定	95
ピンチ	20
ファイル形式	104
ファイルマネージャー	59
フォントサイズ	91
ブックマーク	52
ブラウザ	52
設定	53
プライバシーとセキュリティ	53
フリック	20
ホーム画面	20
カスタマイズ	21
編集	21

ま

マナーモード	26
無線LAN	84
メール	30
メディア再生音量	91
メニュー	24
文字入力	27
編集	94
モバイルネットワーク	90

や

やることリスト	71
ユーザー補助	95
予定	70

ら

リセット	94
リモートサポート	74, 75
連絡帳	57
インポート／エクスポート	58
確認	58
グループ	57
登録	57
編集	57
ローミングエリア情報	98
ロック解除用暗証番号	11
ロック画面	
ウィジェット	21
解除	18
設定	93
ロングタッチ	20

た

タイムゾーンの選択	95
タッチパネル	20
タップ	20
ダブルタップ	20
端末情報	96
着信音	40, 48, 50
Eメール(@ezweb.ne.jp)	40, 42
Gmail	50
PCメール	48
SMS	47

通知

Eメール(@ezweb.ne.jp)	40, 42
Gmail	50
PCメール	48
SMS	47
通知アイコン	22
通知音量	91
データ使用	90
データローミング	99
ディスプレイ	20
設定	91
手書きキーボード	27, 28
テザリング	87
デジタルメディアサーバー	81
デュアル画面	25
電源キー	14
電源を入れる	17
電源を切る	17
電卓	74
動画	
再生	64
撮影	60

MEMO

MEMO

MEMO

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、
一人ひとりができること。

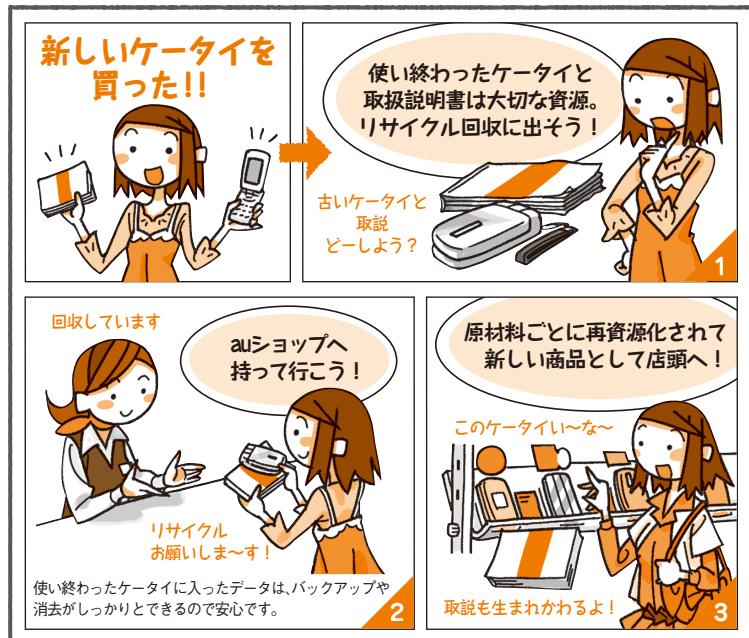
それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。

取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。

みなさまのご協力をお願いいたします。



ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

<http://www.au.kddi.com/mobile/recycle>

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について (通話料無料)

受付時間 9:00 ~ 20:00(年中無休)

一般電話からは

フリーコール 0077-7-111

au電話からは

局番なしの**157**番

Pressing "zero" will connect you to an operator,
after calling "157" on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて (通話料無料)

受付時間 24時間(年中無休)

一般電話からは

フリーコール 0077-7-113

au電話からは

局番なしの**113**番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

フリーコール 0120-977-033 (沖縄を除く地域)

フリーコール 0120-977-699 (沖縄)

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について (通話料無料)

受付時間 9:00 ~ 21:00(年中無休)

一般電話／au電話から

フリーコール 0120-925-919



有害サイトから
子供を守る!



取扱説明書リサイクルにご協力ください。

KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した紙資源を、
製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。

2014年8月第1版

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

輸入元:ASUS JAPAN株式会社

製造元:ASUSTeK Computer Inc.



携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用する
ためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、
ブランド・メーカーを問わず④マークのあるお店で回収し、リサ
イクルを行っています。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

ASUS®